

大
173
8
221
函架號册

法規
藥舖賣藥家心得

猪飼史郎校訂
横田孝史編述

明治十八年
九月刊行

精々藥館藏

038413-000-1

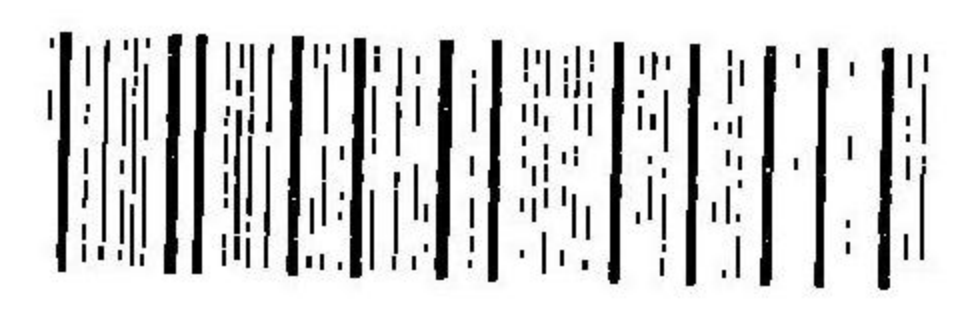
特15-631

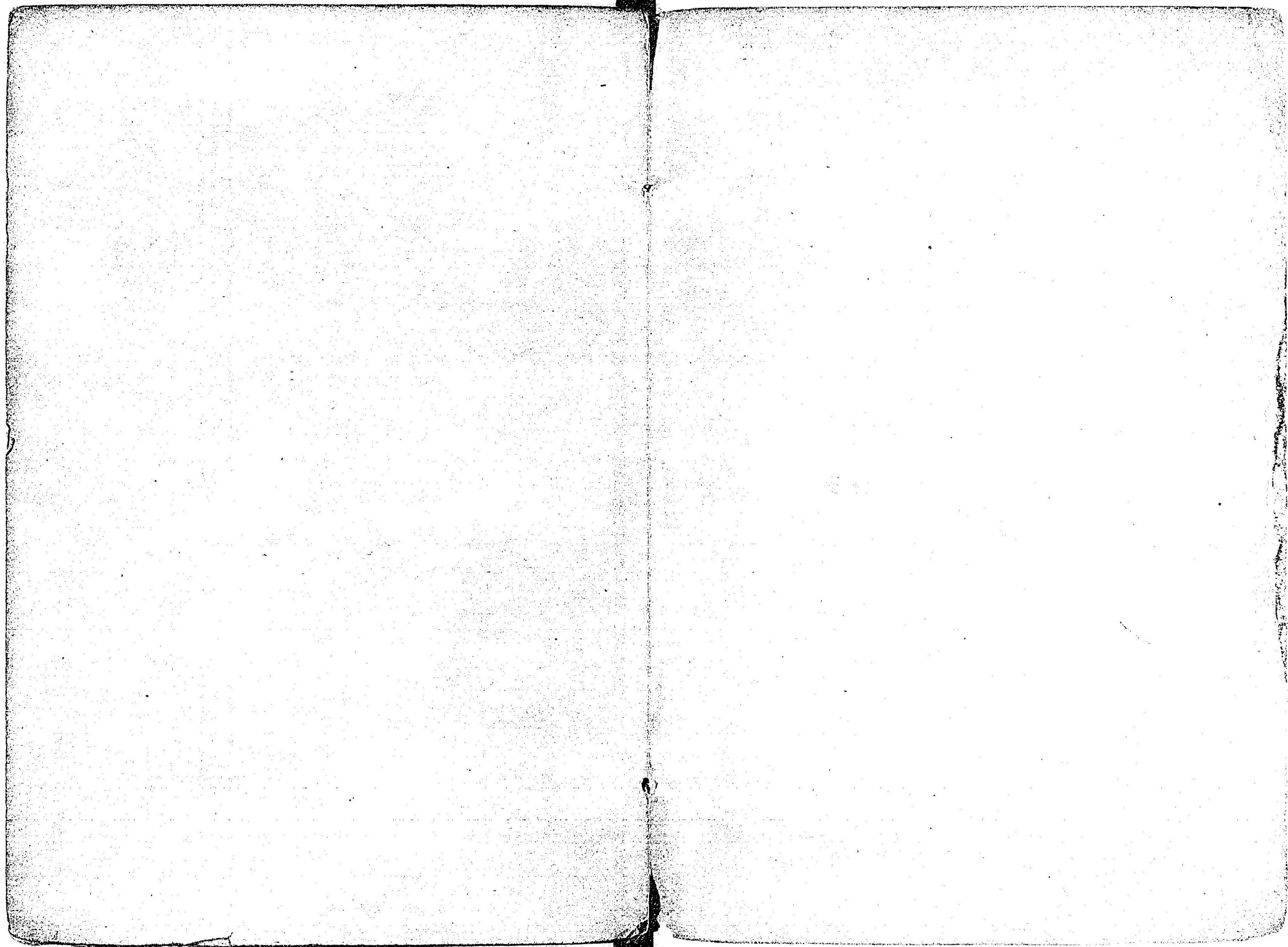
藥舖売藥家心得

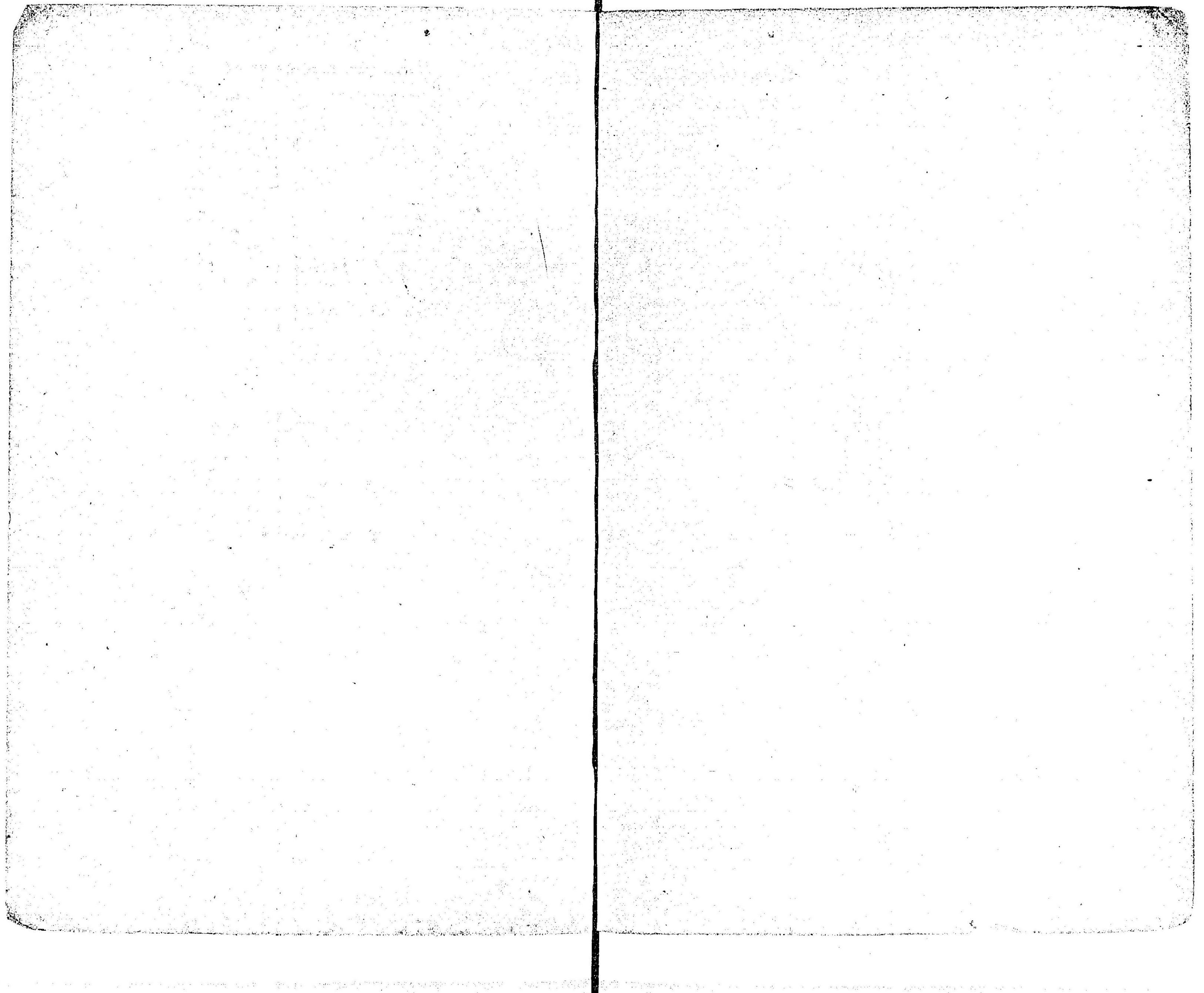
横田 孝史/著

M18

BBZ-0214







明治十九年三月十八日内務省贈付

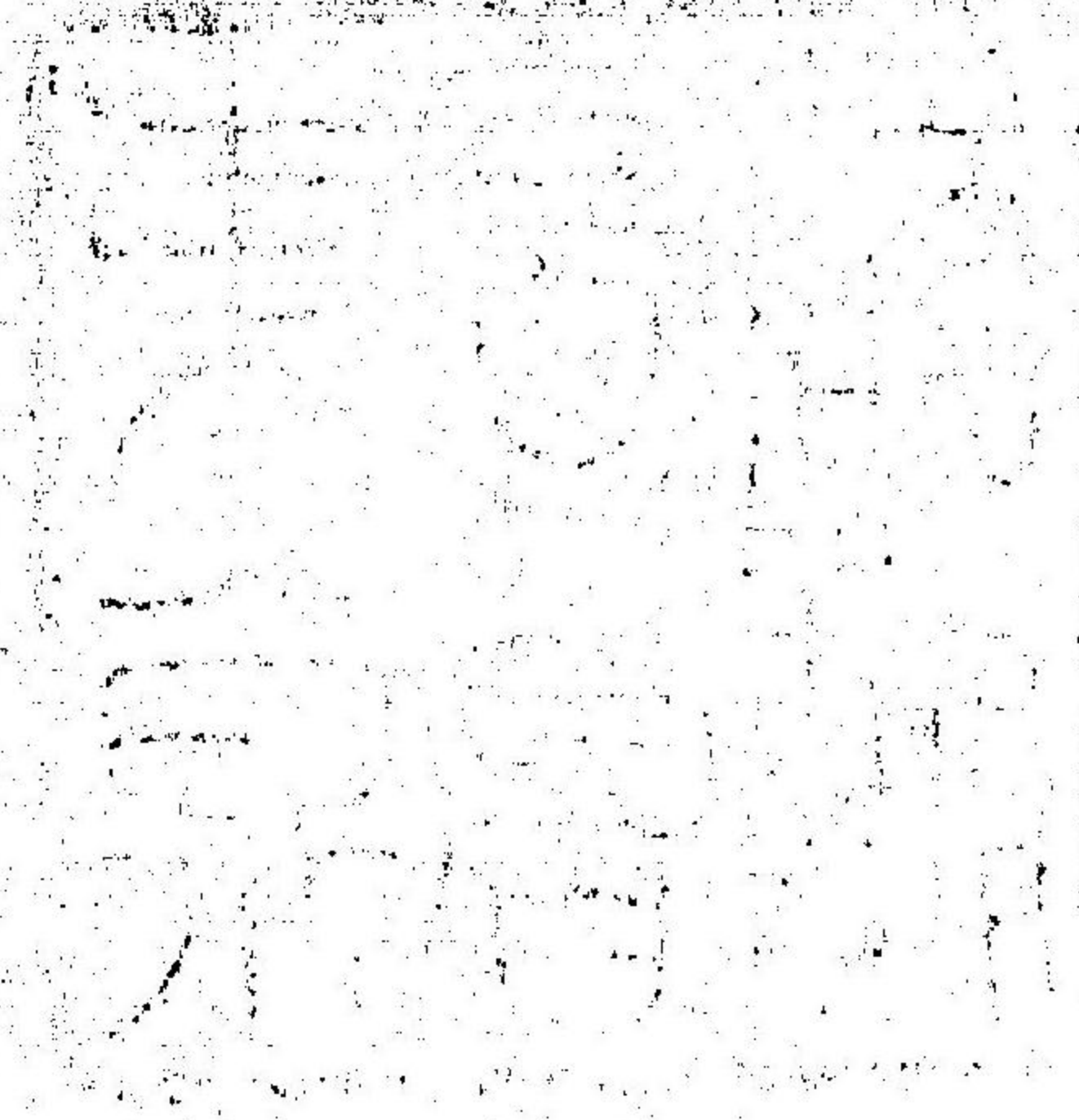
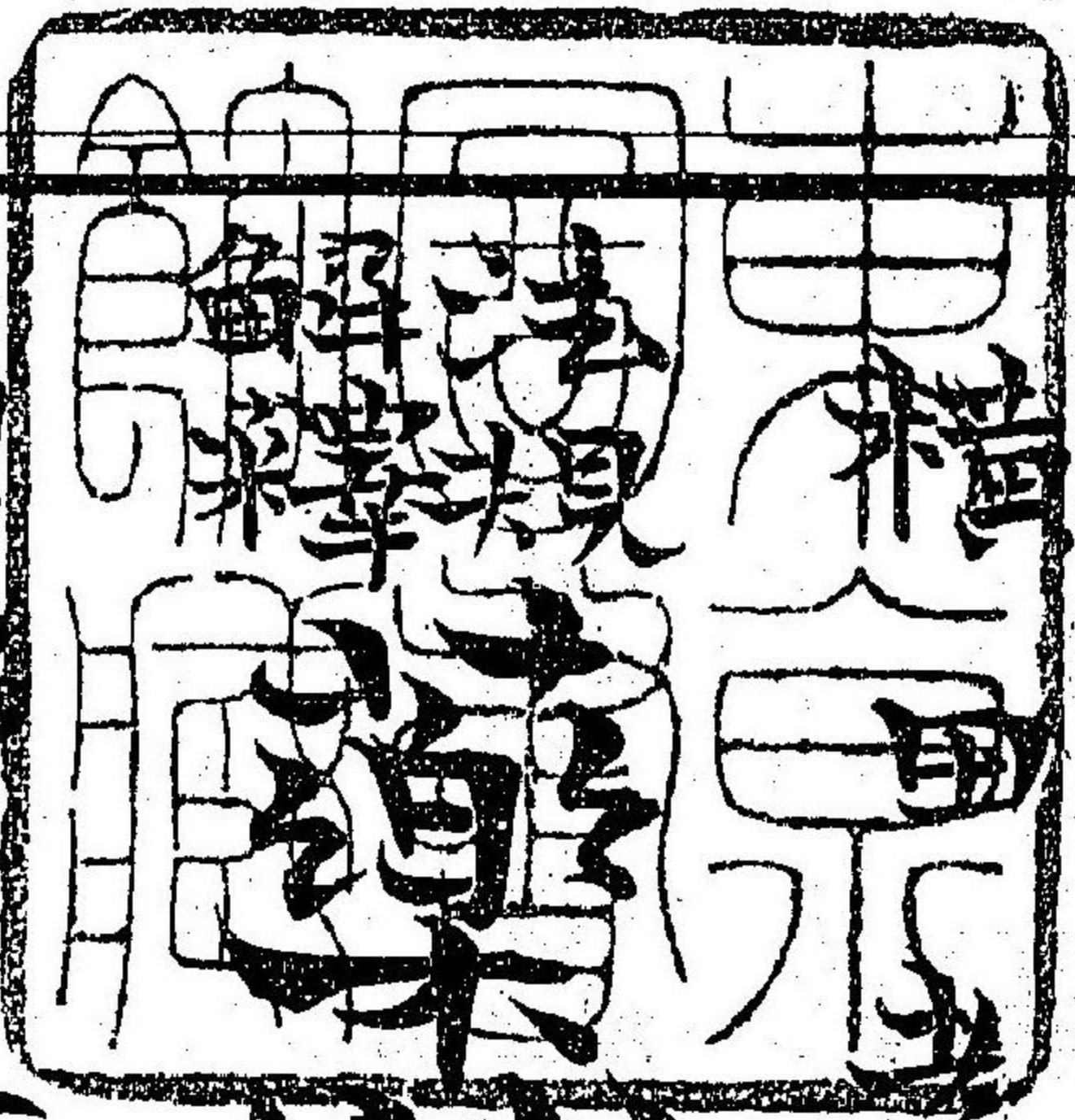
持15
631
貸校會

楷
飼
史
郎
校
訂
精
田
孝
史
編
述

法
規
解
釋
藥
師
實
驗
家
心
得

明
治
十
八
年
九
月
刊
行

精
二
藥
館
藏

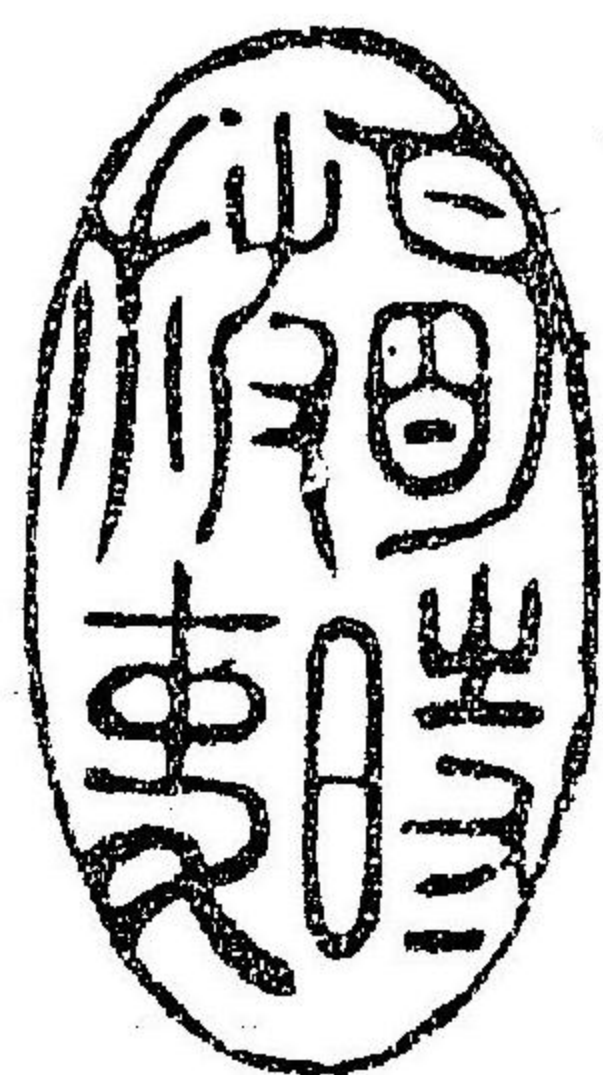




福之

卷五上

甲子年



野茶鋪香茶家心得
七

香茶規則見叢書
一、香茶之製法
二、香茶之品質
三、香茶之包裝
四、香茶之銷售
五、香茶之改良

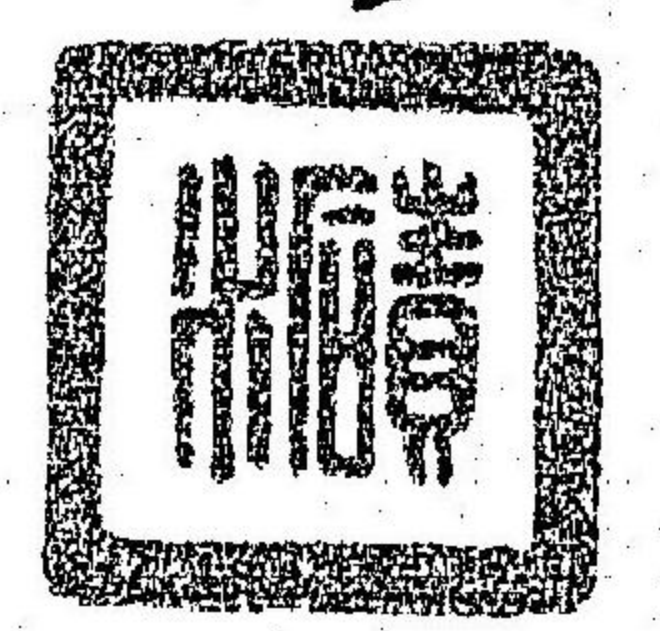
應就新方之志
也為出於聖復保
人氏以久矣札
之聖世文代之
亦源我頃自橫
田矣

編纂卷出得之
本時予且求序
因見之在公
可得垂教於
且彼書固老
之書也

為在甲新出之
字為易有存者
法而為民老亦
情矣因序

明正十年六月

積水先生字甲好後并書



緒言

一本書ハ藥舖賣藥業等ニ關スル法令成規ニ就キ篇ヲ追ヒ款ヲ分チ
悉ク之ヲ網羅シ逐條解釋ヲ施シ以テ聊カ當局者ノ便ニ供ス故ニ
題シテ藥舖賣藥家心得ト云フ

一本書ハ大政維新明治元年以降延ヒテ今十八年七月ニ至ル發令中
專パテ現行ノ者ヲ編纂シ且ツ其條項中改正追加削除ニ係ル者ハ
乃チ其事由ヲ註記シ以テ之ガ沿革ヲ詳ニス

一法令成規ヲ基本トシ運用施行ノ爲メ關係ノ布達々告示并ニ書式
雛形ハ勿論其他伺指令等ニ至ル迄之ヲ抄録シ各條ノ參照トナス
又縱法令成規外ニ涉ルモノト雖モ採テ參考ニ供スヘキモノハ各
款次ニ之レヲ附記ス

一凡ソ法律文ノ章句タル簡ニシテ意深ク乃チ讀ミ易クシテ解シ難

○緒言

キモノ動モスレハ之ヲ誤解シ識ラス知ラス犯則ニ陥リ不慮ノ危
難ヲ蒙ル者蓋シ抄シトセス故ニ其解釋ニ於ケル敢テ文ヲ飾ラ
ス勉メテ意義ノ通曉シ易カラソフチ主トス然レモ亦或ハ誤謬ナ
キヲ保スヘカラス看官請フ之ヲ諒セヨ
一書中單ニ布告布達ト記スルモノハ乃チ太政官ノ發令ニ係ルモノ
トス

明治十八年八月

孝史識

法規 藥舖賣藥家心得目次

○第一編 賣藥

○第一款 賣藥規則

○第一章 總則

○第二章 營業稅則

○第三章 罰則

○(又)賣藥取扱手續書及書式雛形 本則關係ノ條下ニ分載ス

○第二款 賣藥印紙稅規則

○附記 二件

○第三款 賣藥區域外劑藥ノ事

○第二編 醫藥

○第一款 藥品取扱規則並注意藥毒藥劇藥表

○目次

- 附記 七件
- 第二款 藥用阿片賣買並製造規則
- 附記 二件
- 第三款 傳染病消毒藥販賣特許
- 附記 二件
- 第三編 製藥
- 第一款 製藥免許手續
- 第二款 藥品配伍ノ酒類
- 第三款 藥品試驗及印紙貼付
- 第四款 檢查手數料
- 第四編 藥舖
- 第一款 藥舖主試驗ノ順叙

- 第二款 藥學校通則
- 第五編 繪具染料
- 第一款 繪具染料取扱方
- 附記 二件
- 追加編 法規沿革

目次畢

索引

第一編 賣藥

第一款 賣藥規則

第一章 總則

○賣藥ノ品類性質	一	○改正願手續	一三
○藥湯	二	○改正願書式	一四
○外國製賣藥販賣方	全	○請賣手續	一六
○施藥	三	○請賣願書式	一七
○營業出願手續	五	○請賣約定書式	一八
○二ヶ所以上營業	全	○請賣及行商鑑札費	一九
○營業願書式	七	○請賣及行商ニ地方稅ヲ課ス	二〇
○營業鑑札雛形	九	○請賣鑑札料紙	全

- 請賣鑑札雛形 二二
- 請賣及行商鑑札方數記載方 二二
- 營業及請賣看板雛形 二三
- 行商手續 二五
- 行商鑑札雛形 二六
- 營業請賣行商諸鑑札免許期限 二八
- 鑑札書換手續 三〇
- 全願書式 三一
- 滿期後營業者處分 三三
- 滿期鑑札書換料及税金徵收方 全
- 滿期繼續節其請賣行商者處分 三五
- 改正發賣ノ者營業期限 全

- 方名改正 三六
- 發賣禁止 全
- 營業者廢業又ハ禁止ノ節其請賣及賣子等處分 三七
- 營業人廢業ノ節其請賣或ハ行商人殘藥販賣方 三八
- 諸鑑札遺失毀失ノ節書換手續 全
- 全願書式 三九
- 鑑札書換裏書記入方 四一
- 免許鑑札讓渡手續 全
- 全願書式 四二
- 營業鑑札讓渡ノ節其請賣行商共鑑札書換ノ一 全

- 營業請賣代替讓渡 四四
- 右出願中無鑑札營業 四五
- 廢業或ハ禁止ニ依リ鑑札返納 全
- 第二章 營業稅及鑑札料收納法
- 營業稅并ニ鑑札料 四七
- 鑑札料半高ヲ納ムル事故 四八
- 税金收納期限 四九
- 税金不納者處分 五〇
- 税金徵收方區別 全
- 税金還付ノ事故 五一
- 第三章 違犯者ノ罰則
- 行商ニ關スル罰例 五二

- 無鑑札ノ解 五三
- 雇主ノ命ヲ受ケ賣子タル者處分 五四
- 請賣ニ關スル罰例 全
- 無鑑札ニテ賣藥ヲ買入者處分 五五
- 私ニ賣藥ヲ改更スル者處分 五六
- 處罰ハ改更ノ利害ニ關セス 五七
- 鑑札取上ケ方 五八
- 無鑑札ニテ營業スル者處分 全
- 鑑札ノ貸借 五九
- 鑑札書換ヲ怠タル者處分 六〇
- 請賣行商者賣藥ヲ製スル處分 六一
- 鑑札ノ偽造 六二

○賣藥ノ贗造	六二	○告發者ノ罰金半額下付方	七一
○刑法摘要	六三	第二款 賣藥印紙稅則	
○贗造ノ解	六四	○印紙稅ノ割合	七三
○私ニ有毒藥ヲ配伍スル者處分	六五	○賣藥定價ノ増加	七五
○本則ト刑法ノ關係	六六	○施藥ノ印稅	全
○有毒藥配伍ノ故意ト誤失ノ別	六七	○定價壹錢以下賣藥印紙	全
○有毒藥ヲ配伍シ死ニ至 ラシメタル者處分法	六九	○煉藥分器印紙貼用方	全
○刑法摘要	全	○藥湯ト印紙ノ關係	七六
○禁止ノ賣藥ト同名ノモ ノハ再ヒ營業ヲ許サス	七〇	○印紙種目	七七
○告發者ノ賞與	全	○印紙貼用方	七八
		○全圖式ノ甲	七九
		○全上 乙	八〇

○印紙消印方	八一
○印紙賣捌	全
○無印紙或ハ不足印紙 ノ賣藥販賣者處分	八三
○刑法摘要	八五
○無印紙又ハ不足印紙ニ 關スル請賣行商者罰例	八七
○請賣行商者ノ貼 用セシ印紙ノ効	八八
○營業者行商中印紙ニ係ル犯則	九一
○印紙ニ消印セサル者處分	全
○消印ノ解	九二

○印紙ヲ賣捌所外ニ 於テ賣買スル者處分	九三
附記	
○賣藥印紙稅檢査方	九四
○賣藥營業並ニ請賣營 業者諸帳簿記載方	九六
第三款 賣藥區域外劑藥ノ事	
○區域外ニ屬スヘキ事項	一〇八
○礬石調合及燐製ノ 蠅取鼠取藥ヲ禁ス	一一一
○防腐藥等ノ許否ハ府縣限處分	一二二
○耕作物害蟲驅除ノ賣藥處分	全

第二編 醫藥

第一款 藥品取扱規則

- 注意藥毒藥劇藥三類ノ區別 一一三
- 新藥取扱方 一一四
- 注意藥取扱方 一一五
- 注意藥中粗製品販賣方 一一六
- 毒藥劇藥取扱方 一一七
- 黃燐ノ禁 一二〇
- 劇毒藥販賣方 一二一
- 罰例 一二三
- 本則ト刑法ノ關係 一二三
- 法律規則中罰例ニ係ル處分法 一二七

○刑法摘要

一一八

○大審院宣告

一二九

○再犯加重法

一三三

○第壹類注意藥表(異名製劑詳錄)

一三六

○第二類毒藥表(異名製劑詳錄)

一四二

○第三類劇藥表(異名製劑詳錄)

一四三

附記

○毒藥劇藥服量及極量表

一五二

○全上(補欠)及(追加)

一六一

○(舊量(瓦)新量(瓦))

一六二

○(並和量厘)比較表

○瓦蘭謨及用量名目表

一六四

○用量種類區別

一六五

○阿片買上方

一八三

○諸秤量表

一六六

○阿片一器ノ量

一八四

○年齡用量比例表

一六七

○阿片賣捌人撰定法

一八五

○藥品貯藏法

一六八

○特許藥舖報告及看板

一八六

○全上實例

一七〇

○阿片拂下方

一八七

第二款

藥用阿片賣買
並製造規則

○總則

一七九

○阿片賣捌明細表及明細簿記

一九〇

○阿片烟ノ說

一八〇

○阿片製造出願方

一九三

○本則ノ原由

一八一

○阿片相場

一九四

○阿片烟草ノ禁

一八二

○モルヒネ含量制限

一九六

○規則施行期日

全

○阿片栽培並製煉說ノ一

一九九

附記

○全二	二〇一	○藥品製造規則(兵庫縣)	二二四
傳染病消毒		第一款 藥品配伍ノ酒類	
第三款 藥販賣特許		○藥品配伍ノ酒類課稅區別	二二八
傳染病流行ノ際ハ石炭酸其他		○精劑	二二八
劇藥ヲ配伍シ藥舖ニ販賣ヲ許ス	二〇五	○丁幾	二三〇
附記		○酒劑	二三六
○消毒法大意	二七〇	○酒劑(アルコール)ト燒酎ノ關係	二三九
○消毒藥十二方	二〇九	第三款 藥品試驗及印紙貼付	
第三款 製藥		○藥品檢查及印紙	二四一
第一款 製藥免許手續		○司藥場(內務省試驗所)沿革	二四三
製藥免許手續	二一五	第四款 藥品其他檢查手數料	
製藥取締規則(大坂府)	二二〇	○檢查手數料	二四五

第四編 藥舖

第一款 藥舖主試驗ノ順叙

○藥舖試驗	二五一
○試驗科目	二五三
○內國藥舖ノ員數	二五四
○藥舖並藥種商取締規則(大坂府)	二五五
○衛生事務條項	二六四
○藥舖醫師兼業	二六五
第二款 藥學校通則	
總則	二六六
○學科目(甲種)	全
○修業年限日數及時數(全)	二六七

○入學生徒ノ資格(全) 全

○教員ノ資格員數(全) 二六八

○學科目(乙種) 全

○修業年限及時數(乙種) 二六九

○入學生徒ノ資格(全) 全

○教員資格員數(全) 二七〇

○職員同定並履歷書式 全

第五編 繪具染料

第一款 繪具染料取扱方

○有害無害ノ區別	二七五
○有毒性ノ染料ヲ以テ	
飲食物ニ着色取締	二七三

○劇毒性繪具ハ藥品	二七六	○全。酒類用。黃色	二八六
○取扱規則ニ據シム		○全。橙黃。青色	二八七
記附		○全。紫色。綠色	二八八
○顏料藥物試驗成迹告示	二七七	○全。褐色。黑色	二八九
○戲弄并飲食物染料有害無害表	二七八	○全。鑲色	二九〇
○第一表(有害色質)。白色	二七九	○着色禁物	全
○全。赤色。黃色	二八〇	追加編 法規沿革	
○全。橙黃。青色。紫色	二八一	○此編ハ明治元年ニ初リ	(自二九三
○全。綠色	二八二	(當十八年七月ニ終ル	至三〇〇
○全。褐色。黑色。鑲色	二八三		
○第二表(無害色質)。白色。赤色	二八四		
○全。漆用	二八五		
		索引 畢	



法規藥師賣藥家心得

阪府 神港

猪飼史郎校訂
横田孝史編述

賣藥規則

明治十年一月廿日
第七号布告

賣藥規則別冊之通相定候條此旨布告候事

第一章 總則

第一條 此規則ニ稱スル處ノ賣藥トハ丸藥膏藥煉藥水藥浴劑散藥煎藥等ヲ調製シ效能書ヲ附シ販賣スルモノヲ云フ
 明治十年十二月廿八日
 第八十九号布告改正
 (解)○本條ハ賣藥ト稱シテ販賣ナル製劑ノ品類ヲ制定シタルモノナリ凡ソ賣藥ト稱スベキモノハ大醫ノ處方又ハ局法ト唱ヘ醫師

○賣藥規則 ●賣藥ノ品類性質

○賣藥規則

ノ毎ニ習用セル方ニ依ルカ若クハ自己ノ發明ニシテ人類畜類ノ疾病ヲ治スルノ目的ヲ以テ調劑シ而シ其藥名ヲ題シ之レニ効能書用法用量主治効能等ヲ詳録セルモノヲ附シ官許ヲ受ケテ販賣スルモノヲ云フ

○其他免許藥舖ニ於テ醫師ノ處方箋ニ據リ調劑スルノ外ハ仮令從來ノ習慣ニヨリ葛根湯或ハ沸騰散ノ調合ヲ需ムル者アリト雖妄リニ合劑ヲナシ又販賣ヲ爲スヘカラス

○藥湯ヲ營マント欲スル者又ハ外國人ノ製造シタル賣藥ヲ內國人ニシテ之レヲ請賣セント欲スル者ハ何レモ本條ニ依テ賣藥營業免許ヲ得タル上ニアラサレハ營業或ハ販賣ヲ爲スヲ得ヘカラス若シ浴劑(浴湯ニ混和スヘキ藥劑)ヲ其官許ヲ得タル營業者ヨリ買受ケ藥湯ヲ營業セント欲スルモノハ乃チ賣藥ノ請賣ニ準ス

ヘキモノナレバ本則第五條ノ手續ニヨルベシ且ツ夫レ內國人ノ製造セル賣藥ハ一旦吾ガ政府ノ認可シタルモノナレハ外國人ノ製造ニ係ルモノハ然ラス故ニ若シ之レヲ取次販賣セントスルハ更ニ賣藥營業人ト見做シ其製劑ノ檢査ヲ要スルモノナリ

○賣藥ハ施藥ノ目的ヲ以テ發行スルヲ得ザレハ第二條ノ手續ニヨリ一旦官許ヲ受ケタルモノニシテ仮ニ代價ヲ定メ之ニ相當ノ賣藥印紙ヲ貼用セル以上ハ仮令無代價ニテ施與スルモ敢テ差支ナカルベシ

〔參照〕

○福島縣伺 藥湯營業免許ヲ得タルモノヨリ其調製品ヲ買受ケ温度及ヒ水量等該營業者ノ方法ニ倣ヒ藥湯營業スルモノ、如キハ賣藥請賣同様ノ手續ヲ以テ鑑札下附シ可然哉○內務省指令 明

○賣藥規則 ●藥湯○外國製賣藥○施藥

十六年九月何之通

(官報抄錄)

○山口縣伺 爰ニ支那人ノ製藥ニ係ル俗ニ唐人膏藥ト稱スル賣藥ヲ請賣致度願出候モノ有之右等モ都テ賣藥規則ニ依リ差許可然哉○內務省指令 明治十六年八月八日 外國ノ賣藥ノ請賣スルモノハ營業者ト看做シ更ニ檢査ノ上營業鑑札ヲ下附スヘシ (官報抄錄)

○岡山縣伺 賣藥規則ニ準シ方名製法用法功能等ヲ詳記シ而シテ無代價施與致度旨出願候者ハ鑑札附與徵稅方等一般賣藥同様取扱可然哉將々右等ノ義ハ不聞屆義ニ候乎○內務省指令 明治十六年八月 後段伺之通 (官報抄錄)

○山梨縣伺 丸藥散藥等ノ藥劑ニ功能書ヲ附セス單ニ方名及用法代價ノミヲ附記シテ販賣スル者有之右ハ功能書ヲ附セサル以上ハ賣藥規則外ノモノト見做サトルヲ得サル義ナルヤ○內務省

指令 明治十六年 治病ノ目的ヲ以テ販賣スルモノハ總テ賣藥規則ニ準據セシムヘキ義ト心得ヘシ

第二條 此賣藥營業者ハ藥味分量用法服量功能ヲ詳記シタル書ニ族籍氏名ヲ記シ其管轄廳ニ願出免許鑑札ヲ受クヘシ 明治十一年九月十九日 第二十七号布告改正

但免許ヲ受ケタル者ニ於テ之ヲ調製スルトキハ其個所毎ニ免許鑑札ヲ受クヘシ 此但書ハ 年十月廿七日第五十 二號布告ヲ以テ追加

[解]○本條ハ賣藥營業免許鑑札ヲ願受クヘキ手續ヲ示シタルモノナリ凡ソ賣藥ヲ營業セント欲スル者ハ其方名ヲ定メ左ニ掲クル內務省達ノ雛形ニ依リ藥味分量用法服量功能等ヲ精密ニ記載シ其製劑ヲ添付シ檢査ヲ出願シ免許鑑札ヲ受クヘキモノトス

○賣藥ハ民間誤用ノ虞ノナキ様最モ注意ヲ加ヘ有効無害ノ方劑ヲ撰ミ其効能書ニ於ケルモ病理ニ基ツキ藥性ニ因リ須ラク記事ヲ確實ニシ且ツ其用量用法等ハ可及的明瞭ニ記載スベシ

○免許鑑札ハ當人ノ居宅ニ限リ營業ノ權アルモノナレバ若シ本條但書ニ依リ免許ヲ得タル他ノ個所乃チ別戶支店等ニ於テ製劑セント欲スルキハ其個所毎ニ居住人ヲ定メ甲某代理人ノ名義ヲ以テ更ニ免許鑑札ヲ願ヒ受クベシ然シ仮令支店或ハ分店ノ名義ナルモ管販賣ノミニ止ルモノハ本則第五條ノ手續ニヨルベシ

〔參照〕

○內務省乙第三十六號達報錄

明治十年三月十二日

賣藥營業願書式ハ明治八年當省乙第九十八號達報錄ニ照準スベシ

其雛形ハ左ノ如シ

賣藥檢查願

一方名

一劑ノ量

何藥 量目何程 何藥 量目何程 何藥 量目何程

以上幾味調合或ハ丸藥トシ幾貼ニ分チ或ハ幾粒トナシ幾粒チ一包トナシ一度或ハ一日ノ用量大人小兒ノ區別等其

用法詳細

一主治功能詳細

右ハ此度新ニ調製發賣仕度奉存候間御檢查ノ上御差支モ無御座候ハ、免許鑑札御下ケ渡被下度依テ製劑相添此段奉願候也

府 縣 華士族或ハ平民

大小區町名番号

○賣藥規則

醫務取締或ハ區戶長

姓名印

府縣長官姓名宛

○內務省乙第七十號達撮錄 明治十一年十一月八日

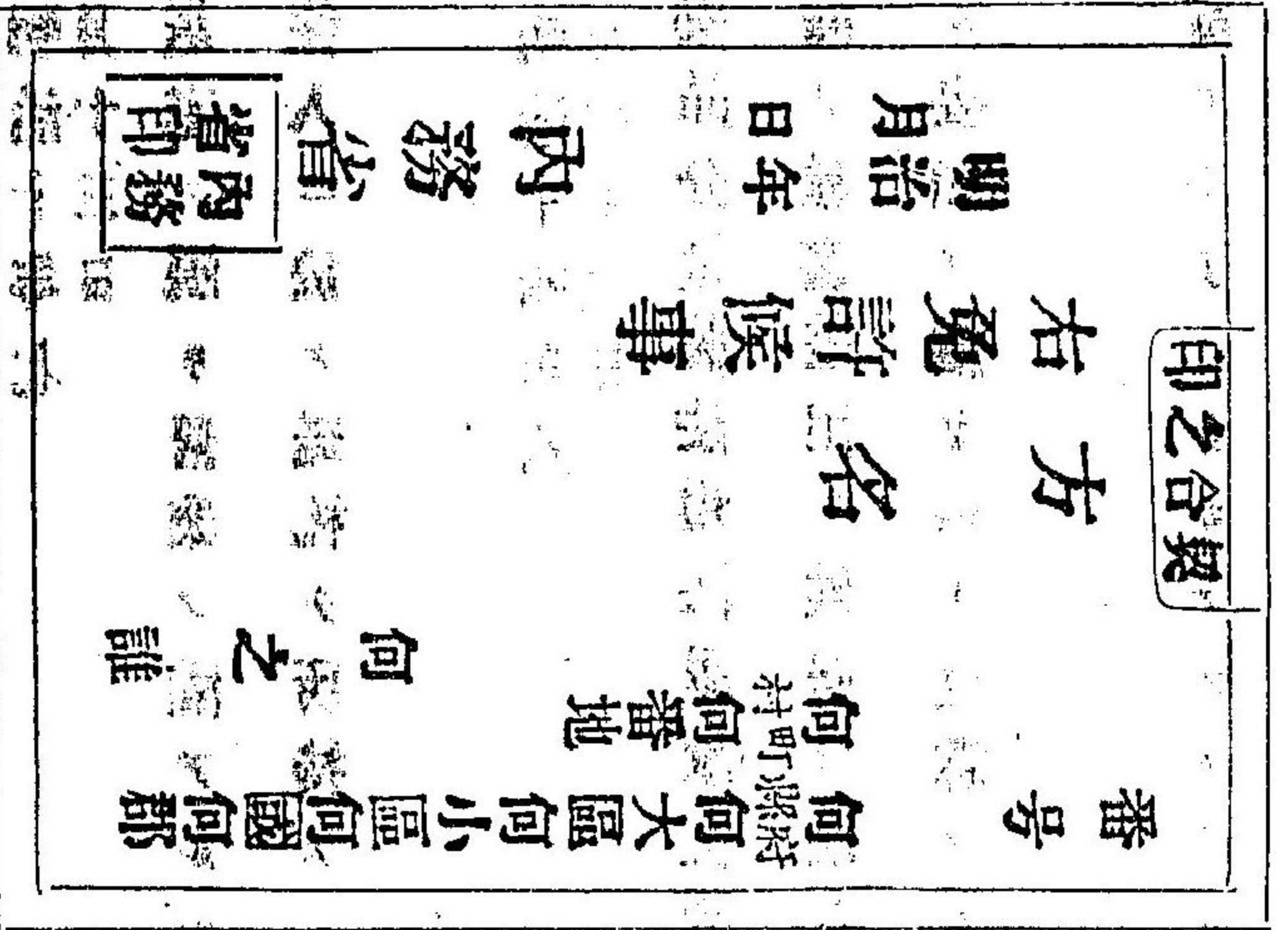
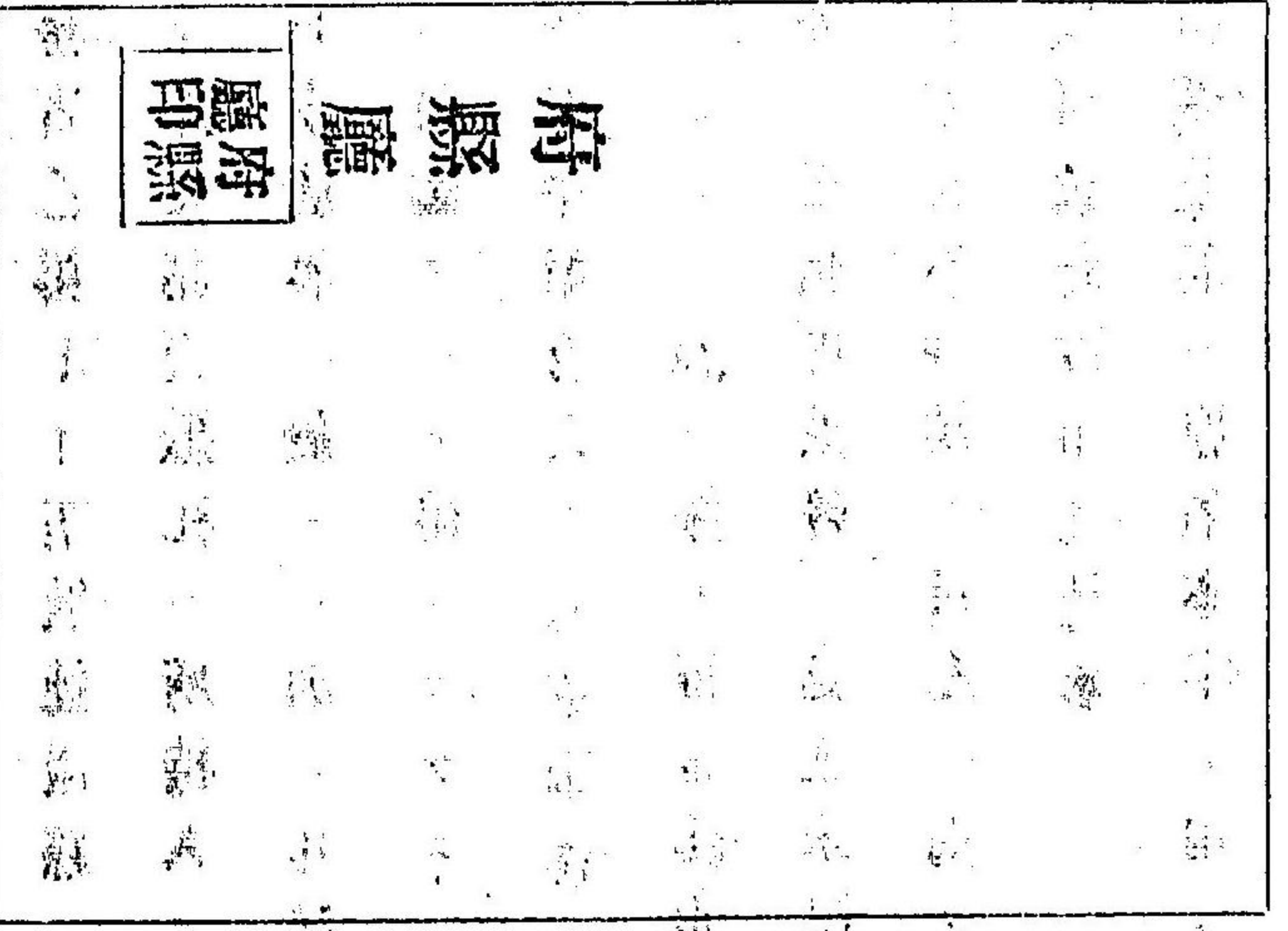
本年九月太政官第二十七號ヲ以テ賣藥規則改正公布相成候ニ付
テハ左ノ手續并ニ雛形ニ照準シ取扱可申此旨相達候事

- 一 鑑札料紙ハ別紙雛形ノ通相製シ當省ヨリ相渡スヘシ
- 一 右料紙ハ凡積ヲ以テ毎年半期分宛一月七月兩度ニ受取方當省へ申立ヘシ

一 管廳ニ於テ鑑札ニ記スヘキ方名姓名番号等雛形ノ通記入押印ノ上下渡スヘシ

一家畜牛馬等ニ用ニル賣藥鑑札ハ赤輪廓ノ分チ用ニル
面 裏 面 表

〔右鑑札面番号ノ文字并ニ契合其他ノ印共總テ采〕



鑑札雛形

唐草

○賣藥規則 ●營業鑑札

○賣藥規則

○內務省乙第七十五號達撮錄 明治十年七月十三日

一營業鑑札請賣鑑札ハ所持人ノ居住ニ限リ營業ノ權アルモノニ付別戶支店等ニ於テハ別ニ其居住人ニ於テ鑑札ヲ所持スルニ非サレハ營業スルヲ得ベカラズ

○大坂府甲第六十七號布達 明治十四年八月二十二日

賣藥營業願ノ義ハ豫テ布達候通藥品分量製法用法服量主治功能等詳細ニ記載可致等ノ處近來粗漏ノ願書差出シ候向モ往々有之檢査上差支不抄候ニ付左ニ掲クル要領ノ處々篤ト注意ノ上相認メ候様可致此旨布達候事

一和漢藥名ハ原名本字ヲ用ヒ當テ誤字ノナカラシメノコトヲ要ス

一製法ハ丸藥膏藥水藥浴劑散藥煎藥等其調劑ノ方法ヲ明記ス

ルヲ要ス

一用法ハ其内外ヲ問ハス詳細ヲ要ス

一服量ハ頓服及ヒ一日ノ用量ヲ分配スルヲ要ス

一主治効能ハ病名ヲ一點打ニ記載スルヲ要ス

○京都府伺 第一條 賣藥營業者ニシテ免許鑑札面ノ方名ヲ上包ニ書シ又能書等ニ記入セサルモノ有之候令ハ方名山田藥ヲ許可スルニ其包ニ紙ヘハ特ニ振出藥トノニ記載スル類右ハ方名變換ニ係リ鑑札面ト齟齬シ調査不都合ニ付今後ハ素ヨリ已往ノ分ト雖モ右等發顯候ハ、直ニ鑑札面ト同一ノ方名ニ訂正爲致可然哉 第二條 甲乙營業人有之調劑ノ藥品分量主治ハ異ナルト雖モ同方名ニテ其賣藥ノ包ニ紙ニハ同シ單ニ方名ノニ記載シ別ニ其營業者ノ姓名ヲ記入無之候ハ買得者ニ於テ甲乙識別シ難ク他

○賣藥規則 ●鑑札ノ權方名并ニ姓名記入ノ

日其配藥中不正ノ所業發願スルハ其証跡ヲ舉グルニ因テ
 取締上差支不抄候間効能書ノ表面ハ是又同上必ス營業者ノ姓
 名ヲ詳記シ甲乙共一目瞭然タラシムル様爲致可然哉○内務省指
 令明治十六年 何之通 官報抄録

第三條 管轄廳ニ於テハ願書ヲ檢査シ其製藥配伍ノ藥

品劇毒微毒ニ拘ラス取扱上失誤ヲ生シ易キモノ及ヒ

毒藥劇藥取締ニ關係スルモノハ之ヲ許サズルベシ

明治十一年九月十九日
 ○第二十七號布告改正

〔解〕○賣藥營業免許ヲ願ヒ出ルルハ其府縣廳衛生課ニ於テ願書ヲ
 取調ヘ其配伍シタル所ノ藥品タトヒ劇毒藥ニアラサルモ民間誤
 用ノ恐レアリト認ムルモノ及ヒ毒藥劇藥取締規則ニ關係スルモ
 ノハ之ヲ許可セサルナリ但シ當時(本則發願ノ頃)現行ノ毒藥劇藥

取扱規則ハ明治十年二月第廿號布告ニ係リ全十三年一月第一號
 布告ヲ以テ藥品取扱規則ヲ定メタルト同時ニ廢セラレタリ尙ホ
 本書第二編第一款中第二類及ビ第三類表ヲ參觀スベシ
 ○第二類ノ藥品ハ著毒ナルヲ以テ之ヲ配伍スルヲ得ベカラズ
 ト雖モ第三類ノ藥品ハ其性能稍緩ナルニ因リ分量宜シキヲ得レ
 ハ或ハ許可スルコトアルベシト云フ蓋シ他日吾國ノ開明彼歐米ノ
 如キニ至ラハ仮令「コロ、ダイン」(モルヒネ)青酸等ノ毒藥ヲ配伍ス
 ノ如キ者ト雖賣藥ト爲スコトヲ許可スルニ至ルモ又知ルベカラズ
 第四條 第八條ニ記シタル期限中藥味分量用法服量能
 書ヲ改正セント欲スル者其由ヲ届出舊鑑札ヲ返納シ
 更ニ新鑑札ヲ願受クベシ

〔解〕○第八條ニ記載シタル期限トハ其免許鑑札ニ記載ノ月ヨリ滿

五ヶ年間ヲ云フナリ其期限中ニ在テ營業者都合ニ由リ藥味分量
 或ハ用法分量等ヲ改正シ又ハ能書ノ全部若クハ仮令一部分ト雖
 凡之レヲ更正セント欲スルトキハ乃チ左ノ雛形ニ倣ヒ事由ヲ具
 シテ届山舊鑑札ヲ返納シテ更ニ新鑑札ヲ願受クヘシ蓋シ藥味分
 量等ヲ隨意ニ改正シ或ハ効能書中ニ妄誕信スベカラサルノ虚説
 ナ記載シ世人ヲ惑シ健康ヲ害スル等ノコトナカラシメンガタメ
 本條ノ設ケアル所以ナリ若シ本條ニ違背スル者ハ本則第二十二
 條ニ依ツテ處罰スベキモノナレバ決シテ懈怠ノ所爲アルベカラ
 ズ

〔参照〕

○賣藥改正願書式(用紙美濃紙)

明治十年三月十二日
○内務省乙第三十二號達

○賣藥改正願

府大小區國郡町番地族籍

營業人 氏 名

一方名

藥品 (分量)

製法

用法服量

功能

右ハ何年何月日御検査濟鑑札御下渡相成營業仕候處今般何々
 ノ麻左ノ通改正仕度御差支無之候ハ、鑑札御書換被下度此段
 奉願候也

一改正ノ麻ヲ詳記スヘシ

年 月 日

願 人 氏 名 印

區長或ハ醫務取締

氏名印

管轄廳長官氏名宛

第五條 賣藥ヲ請賣セシト欲シ其營業者ノ許諾ヲ得タ

ルモノハ族籍氏名ヲ記シタル願書ニ營業者所持ノ免

許鑑札寫及ヒ營業者ト取結ヒタル約定書トヲ添ヘ其

管轄廳ヘ願出免許鑑札ヲ受クベシ 明治十年十二月二十

日○第二十七號布告改正

〔解〕○賣藥請賣ヲ爲ント欲スルモノハ其營業者ト示談ヲ遂ケ左ノ

乙符少如ク約定書ヲ取結ヒ營業者ノ所持スル免許鑑札ノ寫ト共

ニ左ノ甲符雛形ノ願書ニ添付シ其管轄或ハ郡區役所ヘ願出請賣

鑑札ヲ受クベキモノナリ若シ本條以手續キキ爲サズ無鑑札又ハ

期限(第八條ノ解ニ詳ナリ參看ス)過キタル鑑札ヲ以テ私ニ請

賣ヲ爲ス片ハ本則第廿一條ノ處罰ヲ受クベシ

○賣藥請賣鑑札モ又營業鑑札少如ク所持人ノ居宅ニ限リ營業權

アルモノナレバ仮令同一ノ賣藥ト雖他ノ個所ニ於テ之ヲ販賣

セント欲スル片ハ更ニ出願スヘキモノトス

〔參照〕

○內務省乙第三十二號達報錄 明治十年三月十二日

賣藥請賣願書式 (用紙美濃紙)

〔甲符〕

賣藥請賣願書式

一 方名 一同上 一同上 一同上 一同上

府 縣 郡 區 國 郡 町 村 番 地

右營業人 族籍 氏名

○賣藥規則 ●請賣手續。請賣願書式

但營業者異ナレハ依令一方ヲリトモ必ス各營業者ノ族籍住所氏名ヲ上例ニ倣ヒ之ヲ區別シテ書記スヘシ
右之賣藥幾方今般請賣仕度依テ別紙營業者へ御免許ノ御指令
寫并ニ約定書相添此段奉願候也

年 月 日

府 大小區國郡 村番地
縣 町番地

請賣願人

族籍

氏

名 印

管轄廳長官氏名宛

〔乙符〕

賣藥請賣約定書

一方名 一同上 一同上 一同上 一同上

右ハ何某ノ官許ヲ得タル賣藥ニシテ今般何某請賣可致示談相
整ヒ候ニ付請賣者ニ於テ請賣鑑札ヲ願受ケ營業者ノ製調シタ
ル賣藥ヲ取次販賣致スヘシ然ル上ハ營業者鑑札免許期限内ハ
總テ賣藥ニ關スル御規則及ヒ御達ノ趣旨ヲ確守シ不正ノ所業

致ス間敷候依テ約定書如件

府 大小區國郡 村番地族籍

賣藥營業人

氏

名 印

同

賣藥請賣人

氏

名 印

○第三十二號達撮錄 明治十四年 四月廿六日

賣藥請賣并行商鑑札製造費ノ義ハ自今明治十三年 四月第十六號布
告第三條第七項ノ内ヲ以テ支辨スヘシ此旨相達候事

○第十六號布告撮錄 明治十三年 四月八日

明治十一年 七月第十九號布告地方稅規則左ノ通改正候條此旨布告
候事

第三條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ

○賣藥規則

第七項 郡區吏員給料旅費及廳中諸費

○內務省乙第二十五號達報錄 明治十四年 四月三十日

本年四月太政官第三十二號公布相成候付テ 明治十年三月當省乙

第三十二號達賣藥取扱手續中請賣鑑札料及行商鑑札ノ廉并ニ行

商鑑札製作費云々ノ一項削除候條更ニ左ノ條項ニ照準シ取扱可

申此旨相達候事

一賣藥請賣及ヒ行商ニ地方稅ヲ賦課スルトキハ本年府縣會ニ

於テ其稅額ヲ議定シ十四年度ヨリ徵收スベシ

一請賣鑑札料紙ハ自今大藏省ヨリ配賦不致候條各管廳ニ於テ

從前雛形ノ通製造スベシ

但大藏省ヨリ下付セシ鑑札所持ノモノハ別段引替ニ及ハ

ズ且本年分豫算ヲ以テ受取候料紙未用ノ分ハ同省へ返納

スベシ

○內務省乙第四號(內務大藏)兩卿連署(達ニ屬スル雛形) 明治十一年 一月廿一日

賣藥請賣鑑札雛形

用紙西洋紙銅版摺

鑑札表面番號並ニ表裏ノ印共總テ朱ヲ用フ

「雷紋」 「唐草」 「雷紋」 豎五寸一分

、番

賣藥請賣許可之證

表

割一方名 一同
印一同 一同

右請賣營業聞届候事

明治年 月 日

何 府 廳

印

分六寸三橫

○賣藥規則 ●取扱手續の請賣鑑札

「雷紋」



(參照)

○福井縣伺 賣藥請賣及行商鑑札方數記載方ノ義御達ニ據リ五方迄ヲ限リ記載致シ來候處十四年第三十二號公達ヲ以テ自今郡區吏員給料旅費及廳中費ノ内ヲ以テ支辨可致様相成候ニ付テハ其方數ノ如キハ縣限リ適宜記載シ可然哉○内務省指令 明治十八年九月十八

九伺之趣五方ニ限リ候義ト可心得事

(官報抄錄)

第六條 賣藥營業者及ヒ請賣營業者共必ス免許ノ看板ヲ掲クヘシ

[解]○看板ハ左ノ雛形ニ據リ木製シ之ヲ店頭ニ掲クヘキモノトス [參照]

○内務省乙第三十二號達撮錄 明治十年三月十二日

賣藥營業及請賣營業看板雛形

一賣藥營業者並ニ請賣者免許看板ハ左式ノ通製セシムヘシ 豎三尺



分五寸七幅

○賣藥規則 ●請賣及行商鑑札方數記載方。看板雛形

寸法同上

免 許 賣 藥 請 賣 業

第七條 賣藥營業者及ヒ請賣者ニ於テ自ラ行商シ又ハ賣子ヲ派出シテ行商ヲ爲サシメント欲スルトキハ其由ヲ管轄廳へ届出行商鑑札ヲ願受ケ行商スルキハ必ス之ヲ所持スヘシ

〔解〕○本條ノ行商トハ營業者ノ製劑シタル賣藥ヲ携帶シ何レノ地方ヲ問ハス旅行シ需用ニ應シテ販賣スルモノヲ云フ其行商ヲ爲スコトヲ得ルモノハ營業者又ハ請賣者等ノ家族及ヒ其代理人乃チ賣子等ニテ行商鑑札ヲ持參スルモノニ限ルヘシ行商鑑札ハ左

ノ雛形ノ如キモノヲ管轄廳ヨリ願受クヘシ此鑑札ノ有効期限ハ本則第五條請賣鑑札ト等シク營業鑑札ニ記載ノ年月ヨリ滿五ケ年間トス若シ營業者ニ於テ繼續營業ノ免許ヲ得タルトキハ行商鑑札記載ノ年月ヨリ通算シテ五ケ年ニ滿ツルコトヲ得ヘシ右年期中タリトモ其相續人ニ於テ之ヲ相續セントスルトキハ更ニ鑑札書換ヲ出願スヘシ又自分ノ鑑札ヲ以テ妄リニ他人ニ行商セシムルガ如キ義ハ相ナラサルコトナリ

○營業者ニ非ラス請賣者ニ非ラスシテ更ニ營業者又ハ請賣者ヨリ藥劑ヲ買受ケ自ラ行商セント欲スル者ハ更ニ請賣免許ヲ得テ後行商鑑札ヲ願受クヘキ等ナリ之レニ依テ無鑑札若クハ鑑札ヲ貸借シ又ハ期限過タル鑑札等ヲ以テ自ラ行商シ或ハ他人ヲシテ行商セシムルモノハ本則第二十條ニ依リ罰金ヲ科セラル、モノ

○賣藥規則

ナレハ慎マサルヘカラス

○營業者自ラ行商ヲ爲ストキト雖モ其行商先キニ於テハ製劑ヲ爲スコトヲ得ヘカラス

(參照)

○內務省乙第三十二號達據錄 明治十年三月十二日

一行商鑑札ハ各廳ニ於テ雛形ノ通之ヲ製シ願人ニ下附スヘシ尤行商スル藥劑ハ其方名ヲ一々鑑札ニ記載スヘシ

但一人ニシテ數人ノ藥劑ヲ行商スルキハ方數ニ拘ラス營業者ノ異ナル毎ニ鑑札ヲ別製シテ之ヲ渡スベシ

一行商鑑札ヲ下附シタル分ハ其都度明細簿ニ登記シ置每半年分宛別ニ一本ヲ調製シ一月七月ノ兩度ニ內務省ヘ開申スベシ

○賣藥行商鑑札雛形

用材繪

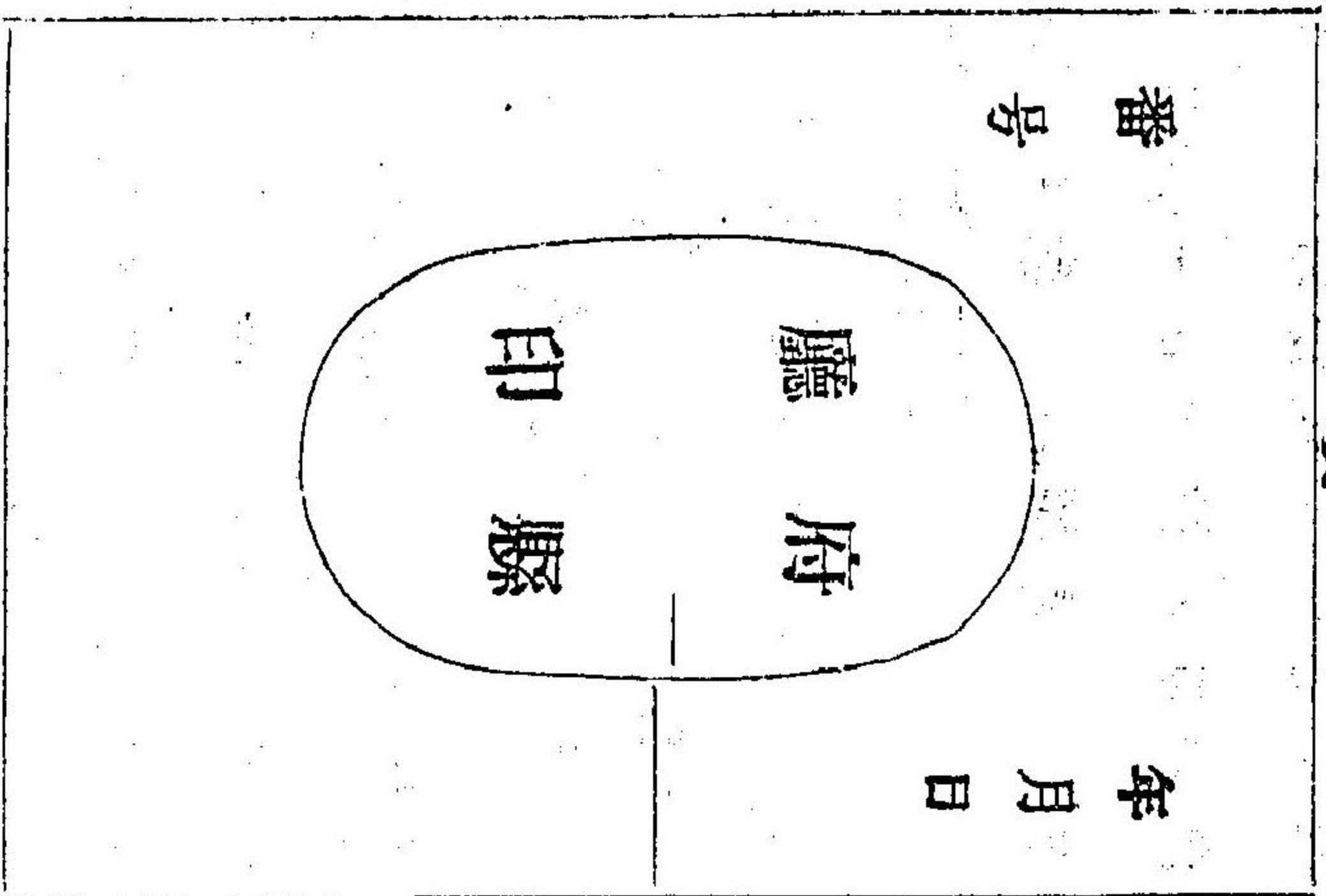
鑿三寸五分

厚三分

賣藥行商許可之證
府縣換籍
賣藥營業何誰賣子
苗字名
一何湯 一何丸 一何膏
一何丹 一何散
右行商開題候事

表

分五寸二橫



「烙印」

○賣藥規則 ●行商鑑札

○埼玉縣伺 賣藥營業者ニシテ甲地ニ居住シ乙地ニ一定ノ床見世ヲ設ケ日々出張製劑ヲ販賣スルモノ有之右ノ如キハ行商鑑札ヲ附與シ可然哉又ハ請賣鑑札ヲ付與可致哉○内務省指令 明治十七年五月九日 前段伺之通 (官報抄錄)

第八條 營業鑑札請賣鑑札行商鑑札ハ其鑑札記載ノ月ヨリ滿五ケ年ヲ以テ免許ノ期限トス此期限ヲ過キ尙免許ヲ得ント欲スルモノハ舊鑑札ヲ返納シ更ニ新鑑札ヲ願受クヘシ

(解)○本條ハ免許鑑札ノ期限ヲ定メタルモノニシテ營業請賣行商ノ三業トモ其鑑札面記載ノ月ヨリ起算シ五ケ年ニ滿ツルノ間ハ何レモ營業或ハ販賣ノ權アルモノ、如シト雖モ或ル場合ニ於テハ請賣及ヒ行商ノ免許權ハ五年未滿ニシテ消滅スルコトアリ一例

ヲ設ケテ説明スヘシ曰ク明治十六年一月ニ於テ營業者ガ免許ヲ得タル賣藥ヲ明治十八年三月ニ至リ出願シ請賣免許ヲ得タルモノハ來ル明治二十年十二月ニ至レハ乃チ營業免許滿期トナルヲ以テ尙請賣者ニ於テハ免許後僅ニ三年ニ滿タスト雖モ既ニ營業者免許期限ヲ經過シタル以上ハ即チ請賣免許ノ効ハ自ラナキモノトス然レモ營業者ニ於テ更ニ後期繼續營業免許ヲ得タル片ハ(免許期限中ニ於テ營業鑑札ノ書換又ハ滿期繼キ願ニテ書換スルモ敢テ請賣期限ニ拘ハラズ)其前後年限ヲ通算シ全ク五ケ年間ノ効用ヲ有スヘシ此場合ニ於テハ新規營業ト見做サ、ルヲ以テ仮令ハ前期ノ年期今年ノ五月ニ至リ滿五ケ年トナリ舊鑑札ヲ返納シ直ク翌六月ニ後期ノ營業ヲ出願シ新鑑札ヲ願受ルトキハ僅ニ一ケ月間ト雖モ前半季分ノ營業稅ト鑑札料ヲ徵收セラレヘシ但

シ滿期ニ至ルトキハ速ニ繼續營業ノ免許ヲ受クヘシ若シ之レヲ
怠ルトキハ本則二十一條ニ據テ處分スヘキモノトス

○賣藥營業免許期限ヲ五ヶ年ト定メタル所以ハ蓋シ將來ニ至リ
之レニ改良ヲ加フルノ便ニ供シタルモノナラン夫レ賣藥營業人
爲ルモノ醫學日進ノ今日ニ當リ徒ラニ舊方劑ヲ墨守スルガ如キ
ニ安ンゼス須ラク前途ニ着眼セサレハ我ハ噬臍ノ悔ナキヲ保ス
ベカラス

○賣藥營業并ニ請賣行商者共免許期限中改姓名スルモノハ速ニ
鑑札書換ヲ願出ツヘシ又同管内ニ於テ轉居スルモノハ鑑札相添
其由願出レバ管轄廳ニ於テ月日地名ヲ鑑札裏面ニ朱記シ主任官
吏之レニ檢印シテ下付スベキモノナレバ該鑑札ハ一期限其儘所
持スルヲ得ヘシ若シ管外(他府縣)へ轉居スルモノハ其ノ所在ノ管

廳ニテ鑑札書換ヲ願受ケ其旨元管廳へ直チニ届ケ出ツヘシ此場
合ニ於テハ其營業稅ハ納金期月所在ノ管廳へ上納スヘシ又請賣
行商者ノ他管内ニ轉居スルトキハ其所持ノ鑑札ハ元管廳へ返納
シ更ニ轉居セシ地ノ管廳へ願出鑑札ヲ受クヘキモノトス

○期限中營業者ニシテ公權ヲ剝奪セラレタル場合(假令ハ重罪ヲ
犯シ禁治産ノ刑ヲ附加セラレタルトキ)ニハ管財人ヲ定メ繼續營
業ヲ出願スルヲ得但シ出願書ハ本犯人ノ姓名ヲ肩書シ其管財
人何ノ誰ト記載スヘシ但此場合ト雖モ請賣者ノ免許期限ニ拘ハ
ルモノニアラザルベシ

(參照)

○內務省乙第三十二號達撮錄

明治十年三
月十二日

賣藥營業鑑札滿期書換願書式

(用紙美濃紙)

○賣藥規則 ●鑑札書換手續并ニ願書式

賣藥營業鑑札滿期御書換願

府 縣 大小區國郡村町番地

營業人 族籍

氏名

一方名

藥品 分量

製法

用法 服量

功能

(但藥方數種アルトキハ上ノ例ニ從テ一々連書スベシ)

右ハ何年月日御檢査齊鑑札御下渡營業仕候処來ル何月滿期相成尙引續營業仕度別紙鑑札幾枚返納仕候間御詮議ノ上御差支無之候ハ、御書換被下度此段奉願候也

年月日

願人

氏名印

區長或ハ醫務取締

氏名印

管轄廳長官氏名宛

○新瀉縣伺 賣藥請賣行商ノモノ期限過キタル鑑札ヲ以テ營業ヲシタル者ハ賣藥規則第二十條第二十一條ニ於テ其罰例ノ明記有之候へ共營業者ニシテ同上ノ場合ニ於テハ準據スヘキ明文無之彼是ノ輕重不權衡ヲ免レサル様被考候條第二十三條無鑑札營業スルモノトナシ可及告發儀ト相心得可然哉○內務省指令明治十六年八月三日 伺之通 (官報抄錄)

○山形縣伺 賣藥營業者免許鑑札記載ノ月ヨリ滿五年ヲ過キ尙鑑札ヲ得ント欲スル者ハ舊鑑札ヲ返納シ更ニ新鑑札ヲ願受クヘ

○賣藥規則 期限過キタル鑑札ヲ以テ營業者ノ者處分方。營業者免許期限過鑑札書換及税金徵收方

シト規則上ノ正條ニ付免許期限ニ至リ新鑑札願受クル者ハ鑑札書換手數料ヲ徴シ引續營業トシ亦期限過ル際迄新鑑札願受ケサル者ハ管ニ取調舊鑑札返納可爲致順序ノ處若シ免許期限經過新鑑札願受ケノ者ハ營業中絶セシ儀ニ付一旦廢業届出サセタル上更ニ營業出願セシノ新規鑑札料及ヒ營業稅トモ徴收シ可然哉或ハ是等ノ者ト雖モ引續キ營業者ト同視シ鑑札書換手數料ノミ徴收可然哉且免許期限過キノ鑑札ヲ以テ賣藥營業セシ者有之トキハ規則第二十三條ノ無鑑札營業者ニ照準スヘキヤ○內務省指令明治十六年九月八日 同之趣前段免許期限ニ至リ引續キ營業鑑札下附候者ハ新規營業ト見做シ鑑札料營業稅トモ徴收可致事後段同之通

(官報抄錄)

○山形縣同 賣藥營業者滿期繼願ヒシタルモ其請賣行商者鑑札

ハ規則第八條ノ年限迄書換ヘス可然哉○內務省指令 明治十七年四月廿二日 同之通 (官報抄錄)

第九條 第八條ニ記シタル期限中第四條ノ改正發賣ヲ願出之ヲ免許スルトキハ新鑑札記載ノ月ヲ以テ一期ノ初月トナスヘシ

(解)○第八條ニ記タル期限中トハ鑑札面記載ノ月ヨリ滿五ケ年間ヲ云フ又其第四條ノ改正トハ右年期中ニ藥味分量用法服用能書等ノ改正ヲ爲ルヲ云フ而シテ此改正發賣ノ免許ヲ得タル時ハ其新鑑札ニ書載ノ月ヲ以テ一期ノ初月トナルモノナリ仮令ハ前期三ケ年ヲ經過シ改正ノ免許ヲ得タル時ハ其残り二ケ年ハ消滅シ更ニ改正免許ノ月ヨリ尙五ケ年營業權ヲ有スルモノナリ(但シ第八條ノ滿期後引續キ營業ヲ爲スモノ同様該半季分ノ營業稅ハ

賣藥規則 滿期繼續ノ節其請賣及行商者處分。改正發賣ノ者營業期限

新舊トモニ上納セサルヲ得ス但シ一月或ハ七月ニ出願スルハ一方ノ上納ニ止マルヘシ新規鑑札料ノ上納モ又前條ニ同シ

○本條ノ場合ニ於テ方名ヲ改正スルトキハ其賣藥請賣者及ヒ行商者ハ所持ノ鑑札ヲ更ニ書換ノ義ヲ管廳ニ願受クヘシ但第四條ノ改正ニ止マルキハ請賣及ヒ行商鑑札トモ書換ヲ出願スルニ及ハス又年期ニ關スルコトナシ前條滿期引續ノ例ニ據ルヘシ

第十條 免許期限内ト雖モ其製藥第三條ニ掲クル所ノ

有害品ナルヲ更ニ發見スル時或ハ營業者製藥ヲ粗惡

ニスル等ノコトアル時ハ直ニ鑑札ヲ取上ケ發賣ヲ禁

止スルコトアルヘシ 本條中有毒トアリシヲ明治十一年九

月十九日第二十七號布告ヲ以テ有害
ト改正以下十九
條但書モ亦同シ

(解)○本條ハ一旦免許ヲ得タルモノト雖モ其製藥本則第三條ニ掲

クル所ノ有害品(其配伍ノ藥品劇毒微毒ニ拘ハラズ取扱上失誤ヲ生シ易スキモノ及ヒ毒藥劇藥取締ニ關係スルモノ)ナルコトヲ後日ニ至リ發見シタルトキ若クハ營業者ニ於テ當初ノ藥味ノ検査ニ際シ純良ノ原藥ヲ以テシ後チ自己ノ利得ヲ圖ルカ爲メ或ハ疎漏ニ依テ下等ノ藥品若クハ腐敗ニ屬セルモノヲ合劑シテ販賣スル如キハ賣藥ノ疾病ヲ治スルノ目的ニ反シ却テ世人ノ健康ヲ害スルニ至ルヘシ斯ノ如キ不正ノ所業アルトキハ實ニ衛生上ノ妨害物タルヲ免カレサルヲ以テ直チニ鑑札ヲ取上ケ營業發賣禁止ノ命アルベシ宜シク誠心スヘシ

第十一條 營業者廢業フルカ又ハ禁止セララル、時ハ其

請賣者及ヒ賣子トモ其販賣ヲ許サス

(解)○營業者自己ノ都合ニ依リ營業ヲ止メルカ若クハ前條ノ場合

○賣藥規則 方名改正。發賣禁止。營業者廢業又ハ禁止ノ管其請賣及賣子等處分

又ハ犯則ニ由テ禁止セラレタルハ其賣藥ヲ請賣並ニ行商スル
モノハ營業者ト共ニ販賣權ヲ失ナヒタルモノナレハ仮令賣リ殘
リノ藥劑ヲ所持スルモ決シテ販賣或ハ授與スルコトヲ得ヘカラス
尙ホ其理由ハ前條ノ解ニ依テ明ナリ

○或説ニ營業人自ラ廢業シタル場合ニ在テ其請賣人又ハ行商人
ニ於テ該藥劑販賣殘餘有之損失ヲ免レンガ爲メ其殘藥ニ限り賣
捌ノ義ヲ出願スルモハ事實取調ノ上之レヲ差許スコトアルヘシト
云ヘリ然レモ規則ニ明示スル所アラザルヲ以テ余ハ果シテ然ル
ヤ否ヲ確言スルコト能ハザルナリ

第十二條 諸鑑札ヲ遺失シ又ハ水火盜難ニ因テ毀失シ
タルトキハ其仔細ヲ詳記シ管轄廳ヘ届出再ヒ之ヲ願
受クベシ

(解)○諸鑑札トハ賣藥營業同請賣同行商ノ免許鑑札ヲ云フ若シ之
レヲ遺失シ又ハ水難火災ニ罹リ若クハ盜難等ニ因テ失ナヒタル
時ハ決シテ等閑ニ付スルコトナク速ニ其事由ヲ左ノ雛形ニ依リ
悉シク書認メ管轄廳ヘ鑑札ノ再渡ヲ願受クヘシ乃チ管轄廳ニ於
テハ其事由並ニ書換ヘタル年月日ヲ新鑑札ノ裏面ヘ記入シテ下
渡スヘキ筈ニシテ敢テ營業年期等ニ關スルコトナシ但シ此場合
ニ於テハ本則第十七條ニ記載ノ如ク普通鑑札料(營業鑑札ニ限)ノ
半高(金十錢)ヲ上納スヘシ

〔參照〕

○内務省乙第三十二號達撮錄 明治十年三月十一日 賣藥營業鑑札并ニ請賣
鑑札 遺失之節書換願書式

賣藥營業鑑札ハ或賣藥請賣鑑札 遺失ニ付御書換願 (用紙美濃紙)

一方名

府 大小區國郡 町 村
番地
賣藥營業人 族 籍 氏 名

(賣藥請賣鑑札ナレハ左ノ通認ムヘシ)

府 大小區國郡 町 村
番地

賣藥營業人 族 籍 氏 名

一方名

同

族 籍 氏 名

右請賣人

右ハ何年月(確ト記憶セサレハ概略ヲ記スヘシ) 御下渡被下候賣藥營業鑑札

或ハ請賣鑑札何月日何々ノ事故ニテ遺失毀失仕候間更ニ御下渡被下度此段奉願候也

年 月 日

賣藥營業人 或ハ請賣人

氏 名 印

管轄廳長官氏名宛

區長 或 醫務取締 氏 名 印

○內務省乙第七十號達撮錄 明治十一年十一月八日

一 免許期限內ニ於テ鑑札書換ヲ要スル分ハ其事由并ニ書換タル年月日ヲ鑑札裏面ニ記入下附スヘシ

第十三條 免許鑑札ヲ他人ニ讓渡サント欲スル者ハ雙方連印ノ願書ヲ管轄廳ニ差出シ名前書換ヲ請フヘシ

[解] ○本條ノ免許鑑札トハ賣藥營業鑑札ヲノミ指稱シタルモノニシテ其免許鑑札ヲ營業者組合ニ依リ他人(相續人讓渡ノ外一般ノ人ニ讓リ渡ヲ云フ)ニ讓リ渡サント欲スル者ハ左ニ掲クル讓渡鑑札書換願書式ニ據リ双方連印ノ上願書ヲ管轄廳ニ差出シ名前書換ヲ願フヘシ但シ營業年期ハ最初免許ヲ得タル年月ヨリ起算ス

○賣藥規則 ●鑑札書換裏書記入方。免許鑑札讓渡手續

へキ筈ニシテ書換ノ爲メ異動スルコトナシ又管轄ヲ異ニスル時ハ
 讓受人ノ管轄廳へ出願シ讓渡人ノ管轄廳へハ其趣ヲ届出へシ
 ○本條ノ手續キヲ爲シタル場合ニ於テハ其請賣人並ニ行商人共
 速ニ鑑札書換ヲ出願セシムベシ尙ホ第十四條ノ解ヲ參觀セヨ
 (参照)

○内務省乙第三十二號達撮録 明治十年三月十二日

賣藥營業鑑札讓渡願書式 (用紙美濃紙)

賣藥營業鑑札讓渡願

府 大小區國郡 村 番地
 縣 大小區國郡 町 番地
 營業人 族籍 氏 名

一方名

藥品 (分量)

製法
 用法服量
 功能
 但賣藥數種アルトキハ上ノ例ニ從テ連書スヘシ
 右ハ何年月御檢査濟鑑札御下渡營業仕候處今般府族籍何某へ
 示談ノ上讓渡申度依テ所持ノ鑑札返納仕候間御書換被下度此
 段奉願候也

府 大小區國郡 町 番地
 縣 大小區國郡 村 番地
 賣藥鑑札主 族籍 氏 名 印
 同
 右讓受人 族籍 氏 名 印
 (鑑札主)區長或醫務取締 氏 名 印
 (所在ノ)戸

○賣藥規則 鑑札讓渡ノ節請賣行商其鑑札
 書換ノ。鑑札讓渡願書式

(讓受人)區長或
所在ノ戸長ハ醫務取締 氏 名 印

管轄廳長官氏名宛

但讓受人ノ管轄廳ニ出願シ鑑札主ノ管轄ハ其旨ヲ届出
ツヘシ

第十四條

賣藥營業者及ヒ請賣者免許期限中其相續人

ニ於テ之ヲ相續スルトキハ其由ヲ記シ管轄廳ヘ鑑札

名前書換ヲ請フヘシ

明治十年十二月二十八日

○第八十九號布告改正

[解]○本條賣藥營業者免許期限内ニ其相續人ヘ營業ヲ讓リ渡スト

キハ速ニ鑑札名前書換ヲ其管轄廳ヘ願出新鑑札ヲ受クヘシ此場

合ニ於テハ其賣藥ヲ請賣スル者ハ悉ク鑑札名前書換ヲ出願スヘ

キ等ニ付豫テ約定濟ノ請賣者ヘハ其趣ヲ通報シ約定書ヲ更正シ

請賣鑑札ノ名前書換ヲ出願セシムヘシ又請賣者ニ於テモ之ヲ相

續人ヘ讓リ渡ス時ハ速ニ營業人ト約定ヲ改正シ鑑札ノ名前書換

ヲ出願シテ其更正鑑札ヲ受クヘシ又行商ヲナス者モ請賣者ニ準

シ行商鑑札ノ名前書換ヲ出願スヘシ最モ營業鑑札書換料ハ本則

第十六條ニ依リ一方劑ニ付金二十錢ヲ上納スヘキモノトス但シ

鑑札書換出願中ハ乃チ鑑札ヲ所持セサルモ固ヨリ期限中ナレハ

乃チ營業スルトチ得ヘシ

[參照]

○朽木縣伺 賣藥規則第十四條ニ據リ免許期限中其相續人ニ於

テ之ヲ相續スルトキハ免許鑑札書換出願中鑑札所持不致ト雖モ

營業不苦哉○內務省指令 明治十七年 五月十六日 伺之通

第十五條

賣藥營業者廢業シ若クハ禁止セラレタル時

ハ營業者ハ勿論其請賣者ニ於テモ總テ諸鑑札ヲ返納

○賣藥規則 ●營業請賣相續ノリ。鑑札返納

スヘシ

(解)○營業者自己ノ都合ニ依リ廢業スルカ又ハ本則第十條ニ違犯シ發賣ヲ禁止セラレタルトキハ第十一條ニ掲載ノ如ク其請賣者及ヒ行商人トモニ販賣スルコトヲ得ヘカラサルヲ以此場合ニ於テハ營業者ハ速ニ鑑札ヲ返納シ直チニ各地ノ請賣者及ヒ行商人へ通報シテ販賣ヲ差シ止メ直チニ鑑札返納ノ手續ヲ爲サシムヘシ

若シ本條ノ場合ニ於テ營業ノ賣藥數方ナルキハ其廢業或ハ禁止ノ賣藥ノミ免許鑑札ヲ返納スヘシ本條中諸鑑札ヲ返納スヘシトアルハ其廢業セシ賣藥ノ營業請賣行商ノ三鑑札ヲ指稱シタルモノナリ仮令ハ鑑札面五方ノ記載アルキニ於テハ其内ノ一方或ハ二方乃チ廢業禁止ニ關ル方名ヲ願書ニ詳記シ鑑札面訂正ヲ出願スレハ管廳ニ於テハ其方名ヲ消印シテ鑑札ノ裏面ニ年月日ヲ朱

書シテ下附スヘシ

○第二章 營業稅及ヒ鑑札料收納法

第十六條 賣藥營業者ハ左ノ通稅金並ニ鑑札料ヲ上納

スヘシ

(明治十四年四月二十六日) ○第二十六號布告改正

但第二條但書ニ依リ免許鑑札ヲ受クル者ハ其個所

毎ニ本文ノ稅金並ニ鑑札料ヲ納ムヘシ 明治十五年十月二十七日

日○第五十二號布告追加

賣藥營業稅 藥劑一方ニ付一ケ年 金貳圓

右鑑札料 藥劑一方ニ付一枚 金貳十錢

(解)○賣藥營業者ハ藥劑一方ニ付一ケ年ノ稅金二圓ヲ上納スヘシ其上納期月及ヒ收納方ハ載セテ本則第十八條及ヒ第九條ニアリ參觀スヘシ又營業鑑札料ハ其鑑札下附ノ都度必上納スヘシ但シ

第十七條ノ場合(水火盜難ニ因リ鑑札ヲ毀損シタル者)若シクハ營業免許中他管ヨリ轉籍シ鑑札書換ヲ請フ時ハ其半額金十錢收ムヘシ其他鑑札ノ書換料ハ渾テ本條ノ如シ又營業者ハ都合ニヨリ休業ヲ爲ルコトヲ得ト雖モ廢業ヲ届出サル以上ハ成規ノ通り其營業稅ハ上納スヘキモノトス

第十七條 水火盜難ニ因リ鑑札ヲ毀失シ更ニ新鑑札ヲ願受クル時ハ其鑑札料ノ半高ヲ納ムヘシ

[解]○水害或ハ火災又ハ盜難ニ罹リ鑑札ヲ毀失シタルモノハ直チニ新鑑札ヲ願受クヘシ但シ其鑑札料ハ第十六條ニ記載ノ半高ヲ上納スヘシ蓋シ此場合ニ在テハ不虞ノ災難事止ヲ得サルニ出タルモノナレハ固ヨリ營業人ノ都合ニ依リ書換ヲ出願スルト自カラ其事情ノ異ナルカ故ニ斯ク半額ヲ減スルモノナリ

第十八條 税金ハ毎年兩度ニ區分シ前半年分ハ一月三十一日限リ後半年分ハ七月三十一日限リ鑑札料ハ其都度並ニ管轄廳へ上納スヘシ

明治十一年二月十五日
○第四号布告改正

[解]○本條ハ營業稅及ヒ鑑札料ノ上納期限ヲ定メタルモノナリ乃チ營業稅ハ會計年度ニ依ラス其前半年トハ一月ヨリ六月迄ヲ云ヒ後半年トハ七月ヨリ十二月マテヲ云フ而シテ每期モ其初月ノ三十一日ニ半ケ年分宛前納スヘキ筈ナリ又鑑札料ハ其鑑札下附ノ都度直チニ其管轄廳へ上納スヘシ仮令ハ營業者甲地ニ於テ免許ヲ得テ後チ乙地へ行商ヲ爲シ止宿中營業稅怠納アルニ因リ税金徴収方チ甲地管轄廳ヨリ乙地管轄廳へ照會ニ及ブキハ一時ノ止宿者ナリト雖モ乙管轄廳ヨリ怠納處分ノ沙汰アルヘシ故ニ行商又ハ旅行チ爲シ納稅期月ニ至リ本住所ニ不在ノモノハ豫テ納稅ノ代

○賣藥規則 ●天災ニ罹リ新鑑札ヲ願受クル者。
税金収納期限

人ヲ定メ其旨戸長役場へ届出置キ納期ヲ怠ルヘカラス又本籍居住ノ營業人ニ於テハ納期ヲ怠ル等ノ所爲在ルマシキ筈ナレトモ若シ之レヲ怠ルトキハ明治十年第七十九號公布第二條ニ據リ其營業ヲ停止シ製藥及ヒ製造器械ヲ公賣ニ附シ以テ納稅ニ充ツヘキモノナレハ決シテ稅金ハ納期ヲ怠ルヘカラス

〔參照〕

○第七十九號布告撮錄 明治十年十一月廿一日

第二條營業稅上納セサル時ハ其營業ヲ停止ス其製造品アルモノハ之ヲ公賣シ次ニ其器物ニ及ホスヘシ (但書略ス)

第十九條 稅金ハ六月以前免許ノ者ハ全年分七月以後ハ半年分廢業ノ者ハ七月以後ハ全年分六月以前ハ半年分ヲ納ムヘシ

但第十條ノ有害品ナルヲ更ニ發見セシキニ限リ月割ヲ以テ稅金ヲ納メシムヘシ 有毒品トアリシト一年第二十七號布告改正

〔解〕○第十六條ニ定メタル稅金ハ前後半年分宛區別シテ徵収スヘシ仮令ハ新規營業ヲ出願シ六月三十日以前ニ免許鑑札ヲ得タル者ハ全年分ヲ上納スヘキ筈ニシテ其鑑札ヲ受クルト同時ニ半年分ヲ納メ又七月ヨリ十二月ニ至ル半年分ハ乃チ七月三十一日限リ上納スヘシ又廢業スルモノハ之ニ反シ其鑑札七月以後ニ返納スル者ハ全年分六月以前ニ返納スレハ半年分ナリ但シ此半年分ハ已ニ一月中納稅濟ノ筈ナレバ鑑札ヲ返納スルニ止ルヘシ ○又本則第十條ニ掲ル處ノ有害品ナルコトヲ更ニ發見シテ其鑑札ヲ取上ケ營業ヲ禁止シタルトハ其營業稅ニ限リ月割ヲ以テ徵

○賣藥規則 ●稅金不納者處分方。稅金收納方區分。稅金割戻シ

収スヘシ此場合ニ於テハ第十八條ニヨリ既ニ前納セシ税金ノ内
ヲ以テ其經過セシ月ノ分ヲ引去リ殘金ハ返付スヘキモノトス

○第三章 違犯者ノ罰例

第二十條 無鑑札又ハ鑑札ヲ借受ケ自ラ行商シ又ハ行
商セシムル者及ヒ之ヲ貸ス者又ハ期限過キタル鑑札
ヲ以自ラ行商シ又ハ行商セシムル者ハ其鑑札取上ケ
藥劑一方ニ付五圓ノ罰金ヲ科スヘシ

〔解〕○本條ハ無鑑札行商者ヲ罰スルコトヲ令シタルモノナリ凡ソ賣
藥ノ行商ヲ爲ント欲スルモノハ必ス充ツ本則第七條ニ依ルヘキ
モノナリ然ルニ行商鑑札ヲ所持セス又ハ他人ノ請ケタル鑑札ヲ
借り受ケ自ラ行商シ或ハ他人ヲシテ行商ヲ爲サシメタル者及ヒ
其鑑札ヲ貸與ヘタル者又ハ其鑑札ノ期限既ニ過キ去リ無効ニ屬

シタル行商鑑札ヲ以テ自ラ行商シ又ハ他人ヲシテ行商セシムル
者ハ其所持スル鑑札ヲ取上ケ藥劑一方ニ付五圓ツ、ノ罰金ヲ科
スヘシ故ニ二方劑ヲ行商シタル時ハ十圓五方劑ナルハ二十五
圓ニ處スヘキモノトス

○本條ニ鑑札ヲ取上ケ云々トアルハ他人ノ鑑札ヲ借受タル時及
ヒ期限ヲ過キタル鑑札ヲ所持シテ行商シタル時ニ限ルヘシ無鑑
札ニテ行商シタルモノハ其取上ヘキ鑑札ナキヲ以テ之ヲ取上サ
ルコトハ勿論ナリトス若シ鑑札ハ願受ケ居ルモ現ニ行商ノ節所
持セサル者ハ均シク本條ニ依テ罰スヘシ然ルニ無鑑札トハ更ニ
鑑札ヲ願受ケサル者ヲ云フ之ヲ願受ケテ携帶セサル者ハ無鑑札
ニ非スシテ鑑札ヲ携帶セサルモノナリト云フノ說アリト雖本
則第七條ニ於テ行商ヲナサント欲スルトキハ云々行商スルトキ

○賣藥規則 ●行商ニ關スル罰例 無鑑札トハ如何

ハ必ス之ヲ所持スヘシト命スル所以ノモノハ何ソヤ寔トニ行商
 鑑札ノ必要タル之ヲ携帶シテ免許商人タルヲ証明スルニアリ
 仮令鑑札ヲ願受クルモ携帶セサルトキハ更ニ其用ヲ爲スナシ
 之レ願受ケサルモノト何ソ異ナランヤ故ニ其願受クルト否トナ
 問ハス携帶セサルモノハ斷シテ罰スベキモノト信スルナリ
 ○又本條中行商セシムル者ノ罪ヲ罰スルノ明文アリテ賣子等ノ
 如キ行商セシメラル者ヲ罰スルノ明文ナキ所以ハ恰モ酒造或
 煙草稅則ノ如ク家族雇人ノ營業上ニ對シ犯シタル罪ハ悉ク營
 業人自ラ之ヲ犯セリト見做シ處分スルト一般本則ノ如キモ賣子
 ハ雇主ノ命ニ依リ行商ヲ爲スニ止マリ更ニ其利害ニ相關係スヘ
 キ者ニ在ラサレハ之ヲ罰スルノ理ナカルヘシ

第二十一條 無鑑札又ハ鑑札ヲ借受ケ又ハ期限過キタ

ル鑑札ヲ以テ請賣スル者及ヒ無鑑札者ヲシテ請賣
 セシメ又ハ鑑札ヲ貸ス者ハ其鑑札ヲ取上ケ製藥ヲ沒
 入シ藥劑一方ニ付十圓ノ罰金ヲ科スヘシ

〔解〕○本條ハ請賣ニ對スル制裁ヲ定メタル者ニテ乃チ本則第五條
 ニ掲載ノ如ク賣藥請賣ヲ爲サント欲スル者ハ其手續ヲ爲シ免許
 鑑札ヲ願受サルヘカラス然ルニ其鑑札ヲ受スシテ請賣ヲ爲シ或
 ハ他人ノ請賣鑑札ヲ借り受ケ又ハ期限過キタル鑑札ヲ以テ依然
 ト請賣ヲ爲ス者及ヒ無鑑札ノ者ニ請賣ヲ爲サシメタル營業者又
 ハ請賣鑑札ヲ貸ス者ハ其所持スル鑑札ヲ取上ケタル上製藥ヲ沒
 収シ尙一方劑ニ付拾圓宛ノ罰金ヲ科スベキナリ尙ホ鑑札ヲ取上
 グル場合ハ前條ノ解ニ同シケレハ茲ニ略ス
 ○若シ無鑑札ニテ賣藥ヲ買入レ竊ニ之ヲ所持スル者ハ果シテ販

○賣藥規則
 ●雇主ノ命ヲ受ケ賣子タル者處分。
 請請ニ關スル罰例。無鑑札ニテ賣藥ヲ買入ル者

賣スルノ目的ナルカ又自用ニ供セントスルノ意ナルヤ他ヨリ之ヲ付度スル能ハス仮令ヒ現況ニ依リ之レヲ推測シ得ルモ未タ豫備ノ所爲ニ止マリ販賣ニ着手セサルヲ以テ罰スルコトヲ得サルモノナレトモ若シ販賣セサルモ公ケニ之ヲ店頭ニ陳列シ購買者ヲ待ツテ直チニ販賣セントスル者ノ如キハ已ニ販賣セシト否トナ問ハス請賣スル者トシテ論スルコトヲ得ベキナリ

第二十二條 免許ヲ受ケスシテ私ニ藥味分量用法服量能書等ヲ改更シ又ハ許可ヲ經スシテ無稽ノ妄說ヲ記載シ世人ヲ術惑スル者ハ其鑑札ヲ取上ケ製藥ヲ没入シ藥劑一方ニ付十圓以上二十五圓以下ノ罰金ヲ科スベシ

〔解〕本條ハ藥味分量用法服量能書等ヲ免許ヲ受ケスシテ改正シ

タル者ノ制裁ヲ定メタルモノニシテ乃チ本則第八條ノ期限内ニ於テ第四條ニ掲載アル改正ヲ爲サント欲スル時ハ其事由ヲ届出舊鑑札ヲ返納シ新鑑札ヲ願受シヘキ筈ナリ抑モ賣藥ナルモノハ用法服量主治效能等ノ記載アルヲ以テ凡ソ之ヲ服用スルモノハ治病ノ目的ヲ得ントスルニアリ然ルニ官ノ許可ヲ受ケスシテ私ニ藥味分量用法服量及ヒ能書等ヲ變更シ又ハ妄誕虛說ヲ記載シ以テ世人ヲ惑ス者ハ營業鑑札ヲ取上ケ製藥ヲ没収シ藥劑一方ニ付拾圓以上貳拾五圓以下ノ罰金ヲ科スルモノナリ

○或問テ曰ク仮令藥味分量用法等ヲ改更シタルモ毫モ服用者ニ害ヲ與ヘザルニ於テ之ヲ罰スルノ當否如何ント曰ク本條ハ固ヨリ世人ヲ害スルヲ以テ處罰スル者ナレトモ若シ之ヲ營業者ノ自由ニ放任セバ皆世人ヲ益シ害ナキヲ以テ口實トナシ隨意ニ藥味分

○賣藥規則 〇私ニ藥味能書等ヲ改ムル者ニ處罰ハ改更ノ利害ニ關セズ

量用法等ヲ改更シ又事ヲ改正ニ托シテ新賣藥ヲ製出スル者アル
 ベシ勢ヒ茲ニ至ラバ此法律モ終ニ其用ヲ失フニ至ラン故ニ其改
 更ノ利害ニ拘ハラズ苟クモ免許ヲ得サル者ハ必ス之ヲ罰スベシ
 ○本條ニ鑑札ヲ取上ケルトアルハ營業者所持ノ總テノ鑑札ニハ
 非ス其違犯ニ關スル賣藥ノ鑑札ノミヲ云フナリ

第二十三條 無鑑札ニテ營業スル者又ハ營業者ニシテ
 私ニ請賣者ニ藥劑ヲ調製セシムル者又ハ請賣者自ラ
 之ヲ調製スル者ハ其製藥及ヒ賣得金ヲ沒入シ藥劑一
 方ニ付二十五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ科ス可シ

(明治十四年四月廿六日)
 ○第二十六號布告改正)

〔解〕○本條ハ無鑑札ニテ私ニ營業スル者又ハ營業者ニシテ請賣者
 ニ藥劑ヲ調製セシメ或ハ請賣者自ラ賣藥ヲ調製スル者ノ罪ヲ定

メタルモノナリ凡ソ賣藥ヲ營業セント欲スル者ハ本則第貳條ノ
 明文ニ從ヒ管轄廳ニ願出シ免許鑑札ヲ受ケサルヘカラス然ルニ
 無鑑札ニテ營業ヲ爲シ又ハ請賣者ニ賣藥ヲ調製セシメ若クハ私
 ニ請賣者自カラ之ヲ調製スル者ハ其調製シテ所持スル賣藥ヲ沒
 収シ又賣捌タル者ハ其賣得金ヲ沒入シ尙ホ賣藥一方劑ニ付二
 十五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ科スヘキモノトス其處罰スルノ
 理由ハ前條ノ解釋ト其意義ヲ同フスルヲ以テ茲ニ略ス
 ○又營業鑑札ヲ借り受ケ製劑スル者及ヒ之レヲ貸ス者ヲ罰スル
 ノ明文本則ニナシト雖モ貸ス者ハ之ヲ罰スルコトヲ得サルモ借
 ル者ハ之ヲ罰セサルヘカラスナリ夫レ營業鑑札ハ特ニ營業者
 ニ向テ下附セラレタル者ナレハ若シ之ヲ他人ニ讓渡サント欲ス
 ルハ必ス本則第拾三條ノ手續ニ依リ双方連署ノ書類ヲ以テ管

○賣藥規則 ●鑑札取上ケ方 無鑑札ノ營業 鑑札ノ貸借

轉廳へ鑑札面名前書換ヲ請フヘキ筈ナリ然ラサレハ決シテ讓渡ノ効ナキモノトス况ンヤ私ニ鑑札ヲ貸借シタル者ニ於テハ其効ナキコト更ニ疑ヲ容レサルナリ既ニ其効ナシトセハ無鑑札ニテ營業シタル者ト云ハサルヲ得ス而シテ其鑑札ヲ貸與シタル者ハ之レヲ以テ犯罪ヲ容易ナラシメタル從犯トモ云フヘカラス何トナレハ鑑札ハ調劑上必要ノ器具ニ非ス仮令ヒ之レナシト雖モ調劑スルヲ得レハナリ依テ法律上他ニ罰スヘキ明文ナキ以上ハ無罪タルヘシ

○本則第十四條ノ鑑札名前書換ヲ怠リ其相續人ニ於テ賣藥調劑販賣シタル者ノ如キモ乃チ無鑑札ニテ營業スル者トシ本條ニ據テ處罰スヘキモノトス

○營業者ノ囑托ニ依リ請賣人賣藥ヲ調製シタルトキハ營業者ハ

請賣人ヲ教唆シテ罪ヲ犯サシメタル者ナレハ單ニ其營業者ノミテ處罰シ請賣人自ラ私ニ調劑シタル時ハ其請賣人ノミテ罰セサルヲ得ス又營業者ノ賣子ニシテ賣藥ヲ行商先ニ於テ無免許製劑セシムル者ハ是又其雇主ヲ本條ニ依テ處罰シ其賣子私ニ調劑スル者又請賣者ノ賣子ニシテ前同様ノ所爲ヲナスモノハ等シク本條ニ依リ處罰シ若シ贗造ニ係ルノ所爲ヲナスモノハ本則第二十四條ニ依リテ處罰スヘキモノナリ

〔参照〕

○内務省乙第二十五号達撮録

明治十四年
四月三十日

一請賣者ニシテ其藥ヲ調製候義ハ無之筈ニハ候得共或ハ營業者ノ藥方分量ヲ傳ハリ調製候向モ有之候ハ、改正規則第二十三條ノ罰則ニ相當ルヘキモノニ付速ニ調製相止メ更ニ賣藥營業爲願

○賣藥規則●鑑札書換ヲ怠ル者請賣行商ニシテ賣藥ヲ製アル者

出候様取計フヘシ

○新瀉縣伺 營業者ニシテ期限過キタル鑑札ヲ以テ營業ヲ爲シタル者ハ賣藥規則第二十三條無鑑札營業スルモノトナシ告發スヘキ義ト相心得可然哉○内務省指令 明治十六年 八月三日 伺之通 (官報抄錄)

第二十四條

諸鑑札ヲ偽造シ又ハ他人ノ賣藥ヲ贋造シテ發賣スル者ハ其製藥及ヒ其賣得金ヲ沒入シ藥劑一方ニ付五十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

(解) 諸鑑札トハ賣藥營業鑑札同請賣鑑札同行商鑑札等ヲ云フ本條ハ之レヲ偽造シ若クハ他人ノ賣藥ヲ贋造シテ販賣スル者ノ罪ヲ定ムルモノナリ但シ本條中鑑札偽造ノ件ハ刑法頒布ニ由リ自ラ消滅ニ歸シタルモノ、如シト雖其實改正シタルニ外ナラス然リト雖モ刑法及ヒ他ノ法律規則トモニ明文アルニ當リ特別法ヲ

棄テ、刑法ニ從フモノハ其特別法乃チ罰則ノ刑法頒布以前ニ係ル者ニ限ルヘシ若シ刑法頒布后ニ設ケラレタル法律規則ニ於テ刑名ヲ定メタルトキハ乃チ刑法ニ據ラスシテ必ス其法律規則ニ依ラサルヘカラス此賣藥規則ノ如キハ明治十年ノ布告ニシテ刑法頒布ノ數年前ニアレハ刑法ト賣藥規則ト共ニ刑名アルニ會ハ、之レ刑法ニ依ルヘキハ固ヨリ論ヲ俟サルモノト信ス

〔參照〕

○第七十二號布告撮錄 明治十四年十月二十八日

明治十五年一月一日ヨリ刑法施行候ニ付法律規則中罰例ニ係ルモノハ左ノ例ニ照シ處斷スヘシ 一法律規則中罰例アリト雖モ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依テ處斷ス

○刑法第貳百拾三條 官ノ免狀及ハ鑑札ヲ偽造シ行使シタル者

ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

○同第二百十四條 族籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

○同第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使タル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

〔解〕二〇又贋造ノ罪タル故ラニ眞正品ニ類似ノモノヲ造リ衆人ヲシテ之ヲ眞正品ナリト信用セシメントスルモノヲ云フ凡ソ贋造ノ罪ハ其贋造品ノ眞正品ニ類似シテ何人モ 見シテ之レカ眞偽

ヲ判定スル能ハサル場合特ニ他人ノ名義ヲ犯シタル片ニ於テ其罪ノ成立スル者ナレバ若シ之ヲ贋造スルモ衆人眞正品ト信用セサル時又ハ偶然他人ノ賣藥ト類似ノモノヲ調製シタル之ヲ以テ贋造ノ罪ヲ形成スルニ至ラサルナリ故ニ斯ノ如キ所爲ヲ爲ス者ハ本則第二十三條ニ依リテ罰スベク本條ニ依ルベキ限リニアラズ

第二十五條 私ニ有毒藥ヲ配伍スル者ハ其鑑札ヲ取上ゲ製藥及ヒ其賣得金ヲ没入シ藥劑一方ニ付百圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

〔解〕○本條ハ營業ノ賣藥中へ私ニ人身ノ健康ヲ害スベキ有毒藥ヲ調和シタルモノ、罪ヲ定ムルモノナリ凡ソ劇藥或ハ毒藥ト稱フルモノト雖適宜ノ少量ヲ用フル片ハ即チ疾病ヲ醫スルノ目的ニ

副フベシト雖誤ルキハ其性能ノ峻烈ナルガ爲メ忽チ不測ノ危害ヲ醸ス之レ本則第三條ノ設ケアル所以ナリ然ルニ恣マ、ニ賣藥中へ之ヲ配伍スルルハ乃チ規則ニ違犯シ危險ノ行ヒヲ爲スモノナルヲ以テ直ニ鑑札ヲ取上ケ營業ヲ禁止シ其調製セル賣藥及ヒ賣得金ヲ取上ケ且其賣藥一方ニ付百圓ヨリ五百圓ニ至ルノ罰金ヲ科スヘキモノトス

○刑法ノ頒布ニヨリ或ハ本條存否ノ如何ヲ論スルモノアレモ刑法第二百五十四條ハ劇毒藥取扱ノ規則ニ違フタル懈怠ノ罪ヲ罰シ賣藥規則ハ劇毒藥ヲ配伍シテ販賣シタル罪ヲ罰スル者ナレバ刑法頒布アリシ爲メ敢テ本條ハ消滅ニ歸シタルモノニアラザルヲ信ス

〔參照〕

○刑法第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔解〕二○本條ニ於テハ私ニ有毒藥ヲ配伍スル者トアリ故ニ一旦之ヲ配伍シタル以上ハ未ダ販賣セザルモ本條中販賣ノ明文ナキニ依リ之ヲ罰スルヲ得ベキガ如シト雖本條ノ罪ハ世人ニ危害ヲ及ボサンコトヲ恐レ以テ之ヲ罰スルモノナレバ毫モ社會ニ危害ヲ及ボサルニ先チ之ヲ罰スルノ理ナカルベシ假令ヒ有毒藥ヲ配伍シタルモ未ダ販賣セサル者ハ何ヲ以テ世人ヲ害セリト云フヤ只之レ未遂犯ト云フベキノミ

○本條ハ有毒藥ヲ故ラニ配伍シタル者ト誤テ配伍シタル者トテ問ハス概シテ之レヲ罰スベキヤ否ニ至リテハ或ル稅則(酒造煙草ノ如シ)ニ於テハ不論罪ヲ用ヒズトノ特例ヲ定メテ罰トナルベキ

○賣藥規則 ●本則第廿五條ト刑法第二百五十四條トノ關係○有毒藥ヲ配伍シ未ダ販賣セザル者○有毒藥配伍ノ故意ト誤失ノ別

事實ヲ知ラサル者及ヒ罰ヲ犯スノ意ナキ者ト雖皆之レヲ所罰シ
 毫モ寛假スル所ナシト雖本則中不諭罪ノ例ヲ用ヒズトノ特例ナ
 キノミナラズ刑法頒布以前ノ布告ナレハ不諭罪ノ例ヲ用ヒルノ
 特例ヲ定ム。能ハサルハ勿論之レヲ明治十四年第七十二號公布
 第五條ニ照ラスニ法律規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ再犯加重及
 ヒ數罪俱發ノ例ヲ用ヒストアルヲ以テ刑法ノ再犯加重 罪俱發
 ノ例ヲ除ク外ハ此刑法ノ總則ハ悉ク刑法頒布以前ノ法律規則ニ
 適用スルコトヲ得ベキナリ果シテ然ラハ故ラニ有毒藥ヲ配伍シ
 タル者ハ罰セザルベカラズト雖モ誤テ有毒藥ヲ配伍シタル者ハ
 罪トナルベキ事實ヲ知ラザル者ナレハ刑法第七十七條第二項ニ
 依リ其罪ヲ論セザルモノト信ズルナリ

〔參照〕

○刑法第七十七條第二項 罪ト爲ルヘキ事實ヲ知ラスシテ犯シ
 タル者ハ其罪ヲ論セス

〔解〕三〇又本條ノ場合ニ於テ若シ人ヲ死ニ至ラシメタル件ニ於テ
 ハ刑法第三百十七條或ハ第二百九十三條ヲ適用スヘキモノ、如
 シト雖情々法理ノアル所ヲ案スルニ抑モ有毒藥ヲ配伍スルノ罪
 ナ罰スル所以ハ已ニ其行爲ノ危險ナルヲ以テナリ故ニ仮令ヒ人
 ナ殺傷スルト否トニ均ハラス刑法ニ依ルヘキモノニアラザルナ
 リ

〔參照〕

○刑法第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタルモノハ謀
 殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

○全第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因

○賣藥規則 ●有毒藥ヲ配伍シ因テ人ヲ死ニ至ラシ
 メタル者。刑法摘要

テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
 〔解〕四○本條ニ該當若クハ本則第廿二條ノ違背ニ由テ營業ヲ禁止
 セラレタル者ニシテ藥味分量用法等稍異ナル同方名ノ賣藥營業
 ヲ更ニ出願或ハ他人ヨリ讓リ受營業セントスルモ之レヲ許可ス
 ルニ於テハ其嚮キニ禁止ヲ受ケタル賣藥ノ解禁セシモノ、如ク
 相見ニ取締上ニモ關係スベキヲ以テ是等ハ縱ヒ規則ニ明文ナキ
 モ許可スベカラザルモノト信ス又其紛ラシキ方名仮令ハ補神益
 氣湯ヲ補心益氣湯千金膏ヲ万金膏規鉄丸ヲ機鉄丸トスルガ如キ
 ニ至テハ其訴否固ヨリ主務官ノ見込ニアルベシ

第二十六條 以上ノ犯則者ヲ見届ケ訴出ル者アル時ハ
 事實取糺ノ上相違ナキニ於テハ其賞トシテ罰金ノ半
 高ヲ與フベシ

〔解〕○本條ハ第二十條乃至第二十五條ノ罪ヲ犯シタル者アリテ之
 ヲ告發シタル者ハ其事實ヲ取調ベ果シテ其者犯則ニ相違ナキニ
 於テハ其犯罪人ノ上納シタル罰金ノ半額ヲ賞與トシ告發者ニ與
 フベキ旨ヲ定メタルモノナリ蓋シ犯則者ノ生センコトヲ豫防セン
 トスルノ目的ニ外ナラザルベシ
 ○告訴ヲ受ケタル犯則者ニ於テ仮令ハ百圓ノ罰金ニ科セラレタ
 ルモ若シ貧困ニシテ全額ヲ上納スル能ハサルヲ以テ僅ニ四十圓
 ヲ徴収シタルキハ其半額乃チ二十圓ヲ告發者ニ與フベシ(但シ此
 場合ニ於テハ不納罰金一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ乃
 チ刑法第二十七條ニ據ル)

〔參照〕

○司法省丙第一號達 明治十三年
 二月二十日

○賣藥規則 ●禁止ノ賣藥ト同名ノモノハ再ビ營業ヲ
 許サズ。告發者ノ賞與。罰金ノ半額

諸罰中違犯者ヲ見届ケ訴出ル者ハ其賞トシテ科料又ハ罰金ノ半高ヲ給附スト之アルハ其違犯者無力ニシテ科料又ハ罰金ノ全部ヲ完納スル能ハサル者ハ實地徴収セシ金高ノ半額ヲ給附スル義ト可心得此旨相達候事

但シ本文ニ抵觸セル従前ノ伺指令ハ總テ取消候事

諸罰中違犯者ヲ見届ケ訴出ル者ハ其賞トシテ科料又ハ罰金ノ半高ヲ給附スト之アルハ其違犯者無力ニシテ科料又ハ罰金ノ全部ヲ完納スル能ハサル者ハ實地徴収セシ金高ノ半額ヲ給附スル義ト可心得此旨相達候事

但シ本文ニ抵觸セル従前ノ伺指令ハ總テ取消候事

○第二款 賣藥 紙稅規則
 明治十五年十二月廿七日
 ○第五十一號布告

賣藥印紙稅規則左ノ通相定來明治十六年一月一日ヨリ施行ス

○賣藥印紙稅規則

第一條 賣藥ニハ必ス定價ヲ附記シ其定價ニ從ヒ營業者ニ於テ左ノ割合相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一定價壹錢迄	印稅 壹厘
一全 貳錢迄	全 貳厘
一全 三錢迄	全 三厘
一全 五錢迄	全 五厘
一全 十錢迄	全 壹錢

以上総テ五錢迄毎ニ五厘ヲ増加ス

〔解〕○本條ノ賣藥トハ賣藥規則ニ依リ免許ヲ受ケ製造發賣スルモノヲ云フ而シテ其賣藥ニハ必ス定價ヲ記入シ營業者ニ於テ本條印紙稅ノ割合ヲ以テ相當ノ印紙ヲ貼用シタル上ニアラザレハ販賣スルコトヲ得ベカラズ但シ印紙稅ハ凡ソ定價ノ十分一ノ比例ニ當ルモノ、如シト雖其定價ノ都合ニヨリ之レニ超過スルコトアルベシ仮令ハ定價壹錢ノ賣藥ニハ一厘又五錢ナレハ五厘ノ印紙ヲ貼用スベシト雖若シ五錢以上ナル片ハ十錢トヒ十錢ニ至ラザルモ一錢ノ印紙ヲ貼用スベシ又十錢以上ハ五錢迄毎ニ五厘ヲ増加ストアルヲ以テ茲ニ十二錢ノ賣藥アラシキハ乃チ一錢ト五厘(五厘三枚ヲ用ユルモ可ナリ)ノ印紙ヲ貼用スベシ若シ十分ノ一ト心得一錢ト二厘ノ印紙ヲ貼用スル片ハ本則第五條ノ印紙不足ニ處罰

スベシ

○例ハ定價十錢ノ賣藥アリ僻遠ノ地方へ遞送スルニ非常ニ運搬費用ヲ要スルヲ以テ請賣者ニ於テ之ヲ十五錢ニ販賣セント欲シハ豫メシノ營業者ニ於テ其定價外ノ見積金額ヲ附記シ通算(乃チ定價ノ増加ナリ)シテ相當印紙ヲ貼用スルコトヲ得ベシト雖請賣者ハ之レヲ爲スコトヲ得ベカラス

○本條ハ賣藥タルノ故ヲ以テ印稅ヲ定メタルモノナレハ施藥又ハ贈物トナスモノト雖價格相當ノ印紙ハ必ス貼用セザルヲ得サルベシ

○膏藥ヲ紙片ニ延シ一枚ノ代價一錢以下ニ販賣スルモノト雖每片必ス定價ヲ附記シ一厘ノ印紙ヲ貼用スベシ

○從來煉藥ト稱ベク蜂蜜等ヲ以テ調製シタルモノアリ之レヲ小器

○賣藥印紙稅規則 ●定價ノ增加施藥ノ印紙。定價一錢以下賣藥ノ印紙。煉藥分器

ニ盛り時へ置クハ日月ヲ經ルニ從ヒ乾燥微濕ノ憂ヒアルニ因
 リ請賣者ニ於テハ豫シメ多量ヲ容ルベキ大器ニ買ヒ置キ乾燥微
 濕ヲ防キ自用者ノ求メニ應シ其都度小器ニ移シ販賣スルノ習慣
 アリシト雖本條ノ營業者ニ於テ云々トアルヲ以テスレハ必ス自
 用者ニ賣與フベキ適宜ノ器物ニ藥味ヲ容レ相當印紙ヲ貼用スベ
 キモノナルベシ

○仮令ハ自製ノ藥劑ヲ以テ藥湯營業ヲ爲スモノ、如キハ印紙貼
 用ノ限りニアラズト信ズ如何トナレバ法律ニ於テ印紙貼用ヲ命
 シタルモノハ乃チ之レヲ貼用スルヲ得ベキモノニ向テ命シタ
 ルモノナルベシ抑モ藥湯ノ如キハ如何ナル方法ヲ以テスルモ決
 シテ之レニ印紙ヲ貼用スルヲ得ベカラサルナリ故ニ是等ハ本條
 ノ例外ト爲スベシ又暑中批把藥湯杯ト唱へ露店ニ於テ需用者ノ

アルニ任カセ之レヲ茶碗ニ盛り販賣スルノ類モ同一ノ理ナリ

第二條 印紙種目ハ左ノ如シ

壹 厘	淡黑色	貳 錢	綠色
貳 厘	青色	三 錢	濃青色
三 厘	黄色	四 錢	橙黄色
五 厘	茶褐色	五 錢	紫色
壹 錢	赭色	拾 錢	深紅色

〔解〕本條ハ賣藥ニ貼用スベキ印紙ノ種類ヲ制定シタルモノナリ而
 シテ其見本ハ別個ノ布達ヲ以テ示シタリ乃チ方形ト長方形ノ二
 種ニシテ長方形ノ印紙ハ壘瓶壺等ノ口又ハ蓋ニ貼用スベシ但シ
 方形ト交互代用スベカラザルナリ

〔參照〕

○賣藥印紙稅規則 ●藥湯ト印紙ノ關係 ●印紙種目

○第二十八號布達 明治十五年十月二十一日

今般第五十一号ヲ以テ賣藥印紙稅則布告候ニ付テハ印紙別紙見

本ノ通相定ム (見本 零ス)

右布達候事

第三條 印紙ハ藥品ノ容器又ハ包紙等ニ貼用シ營業者

ニ於テ消印スヘシ

但シ印紙面ノ中心ヨリ他所ヘ掛ケ消印スヘシ

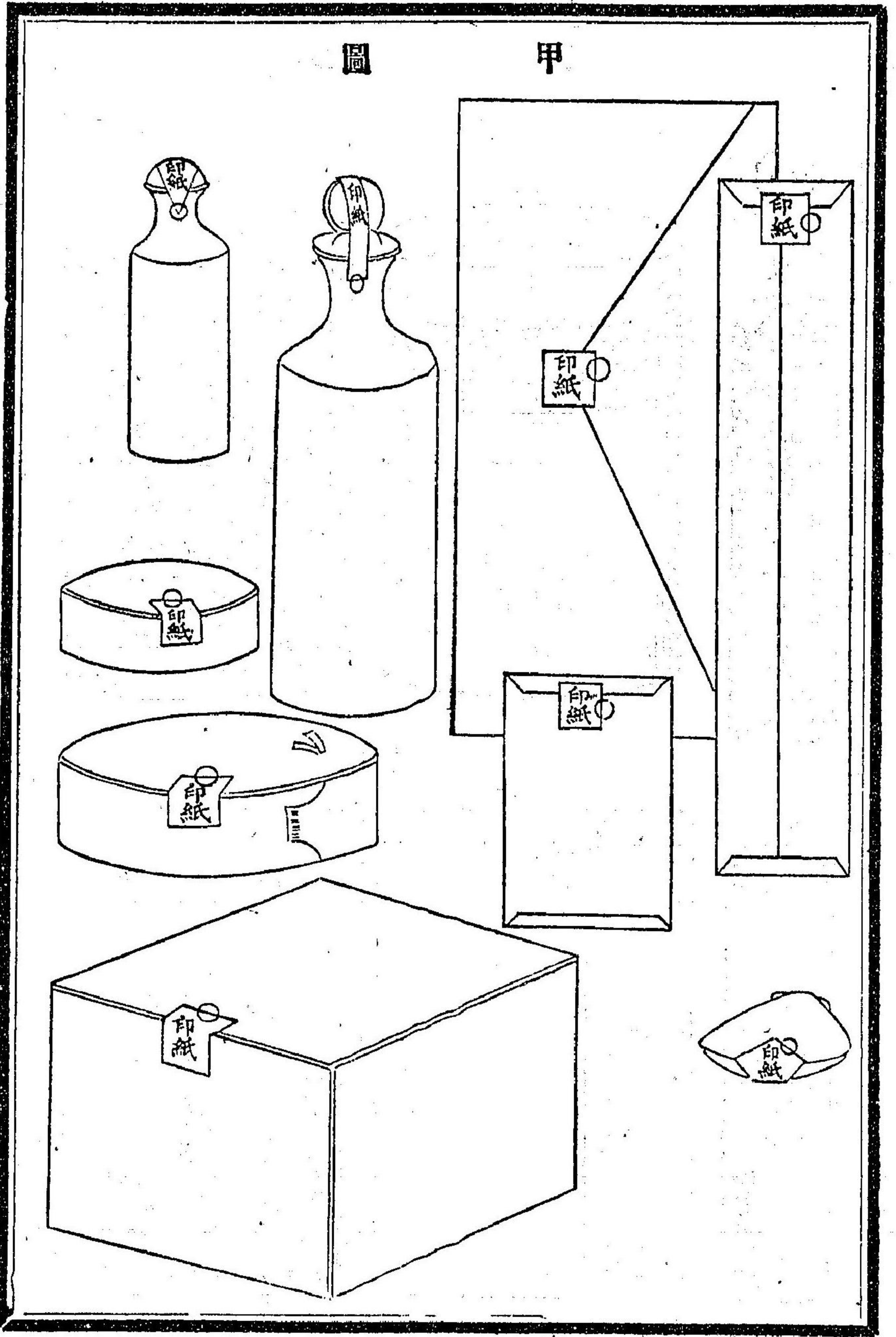
[解]○本條ハ藥品ノ容器ニ從ヒ其印紙ノ貼用方ヲ示シタルモノニ

テ凡ソ印紙ハ營業人ニ於テ左ノ圖式ノ如ク入器又ハ包紙ノ要部

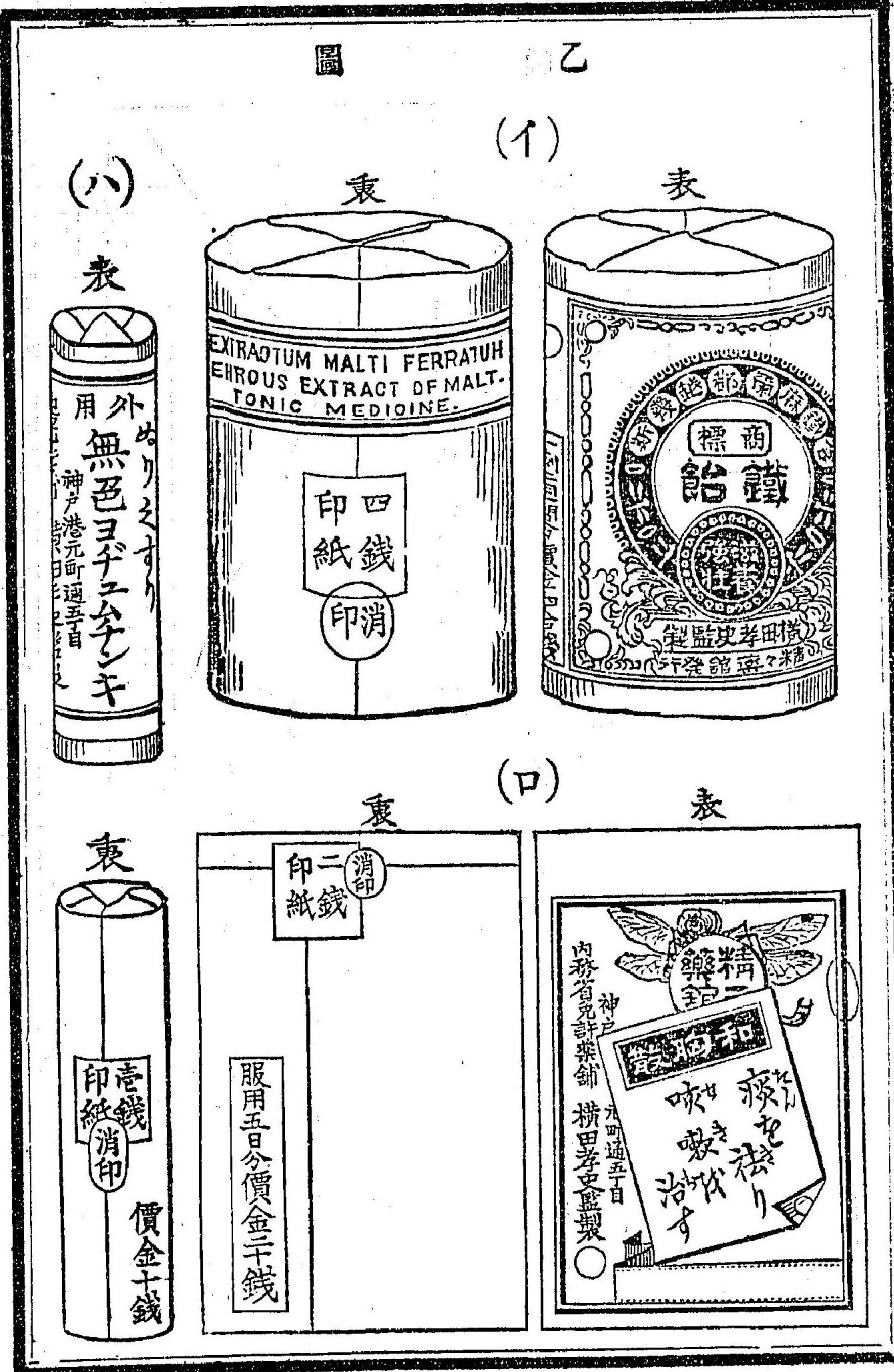
ニ貼用シ印紙面ノ中心ヨリ他所エ掛ケ實印又ハ店印ヲ以テ消印

スベキモノトス若シ會社ナレハ社長或ハ代理人若クハ該社印ヲ

用ユヘシ



○賣藥印紙稅規則 ●印紙貼用方并ニ圖式



○前甲圖ハ本條ニ附屬セル雛形ニシテ印紙ハ必ス其容器ノ要部ニ貼用スベキヲ示シタルモノナリ尙ホ圖中罐詰ノ式見ヘザレモ之ハ瓶具類ニ準スベシ但シ此類ハ外部滑カニシテ消印スルモ其容器ニ係ルノ印影ハ判然ナラズシテ且ツ消滅シ易スキガ故ニ包紙ヲ以テ封シタル上其要部ニ印紙ヲ貼用スベシ又乙圖ハ乃チ參考ノ爲メ實物ヲ模寫シタルモノニシテ其(イ)符ハ罐詰(ロ)符ハ袋(ハ)符ハ瓶詰ナリ將タ定價ハ成ベク見易スキ樣記入スベシ

○本條消印ニ用ユル印肉ノ制規ナシト雖モ烟草稅則ノ如キハ特ニ黒肉ト限レリ蓋シ賣藥印紙モ亦其彩色トノ關係ニヨレバ乃チ黒肉適當スベシ

第四條 賣藥印紙ハ官ノ許可シタル賣捌所ニ限り賣捌クモノトス

〔解〕○本條ハ賣藥ニ貼用スル印紙ハ官許ヲ得タル賣捌所ニ限り賣捌シベキヲ定メタルモノニシテ若シ其他ニ於テ之ヲ賣捌キ又ハ買受ケタルモノハ本則第八條ニ依テ處罰セラレベシ但印紙ノ賣捌ヲ爲サント欲スル者ハ明治十七年第九号布達ニ據ルベシ

〔參照〕

○第九号布達撮録 明治十七年 四月廿二日

印紙類賣捌規程左ノ通相定メ明治十七年六月一日ヨリ施行ス但從前ノ印紙類賣捌手續ハ總テ同日ヨリ廢止ス

右布達候事 (印紙類賣捌規程零ス)

○大藏省第十九号達撮録 明治十八年 四月廿九日

明治十七年(五月)當省第二十九号達印紙類賣捌規程取扱手續左ノ通改正ス

右布達候事 (印紙類賣捌取扱手續零ス)

第五條 營業者ニシテ無印紙ノ藥品ヲ發賣シタル者ハ貳圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處シ印紙不足ノ藥品ヲ發賣シタル者ハ貳圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔解〕○本條ハ本則第一條ニ對スル制裁ヲ定メタル者ニシテ營業者ハ必ス其賣藥ニ定價ヲ附記シ之レニ相當スル印紙ヲ貼用スヘキノ義務アルモノナリ然ルニ營業者ニ於テ無印紙又ハ不足印紙ノ藥品ヲ發賣シタル者ハ乃チ營業者タルノ義務ヲ盡サス連稅ヲ圖リ以テ私利ヲ營マントスルモノナレハ皆本條ニ依リテ之ヲ罰スルモノナリ若シ營業者無印紙ノ藥品ヲ所持シ未タ之ヲ販賣セサル者ハ決シテ之ヲ罰スルノ限リニ非サルナリ何トナレハ本條ニハ發賣シタル者トアリ此發賣シタル者トハ乃チ過去ノ詞ニシテ

既ニ無印紙又ハ不足印紙ノ賣藥ヲ販賣シ送ケタル者ヲ云フヘシ
抑モ本條ノ罪ハ無印紙又ハ不足印紙ノ賣藥ヲ販賣シタルト同時
ニ成リ立モノニシテ之レヲ法理ニ照シテ推考スルモ營業者ハ乃
チ賣藥ヲ製造スルト同時ニ印紙ヲ貼用シ置クヘシトノ制限アラ
サルヲ以テ其販賣セントスルニ臨ミ之レヲ貼用スルモ固ヨリ其
權内ニ在ルモノナレハ仮令營業者が無印紙又ハ不足印紙ノ賣藥
ヲ所持スルモ本則中之レヲ所持スルコトヲ得ストノ明文ナキ以上
ハ乃チ之レヲ罰スルコトヲ得サルノ理由明カナリ
○前段ノ理由ナルヲ以テ仮令ヒ之レヲ店頭ニ陳列スルモノト雖
モ未ダ罰スヘキモノト云フヘカラス然レモ余ガ營業者ニ向ツテ
望ム所ハ乃チ其賣藥ヲ製造シタルモ當リ猶豫スルコトナク直チ
ニ印紙ヲ貼用シ以テ豫シメ過失ノ憂ヒナキ様注意アルベシ

〔參照〕

○刑法第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰ス
ルコトヲ得ス

○同第一百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ
未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其
刑ヲ科セス

(解二)○營業者ハ自分ニ印紙ヲ貼用スヘキ義務アルヲ以テ若シ之
ヲ爲サス無印紙又ハ不足印紙ノ賣藥ヲ請賣者ニ賣渡シタル者ハ
仮令ヒ請賣者ニ於テ印紙ヲ貼用シタルモ營業者ハ其罪ヲ免カル
ハ、得サルナリ而シテ其請賣者ハ之ヲ罰スルヲ得ヘキヤ否ハ第
六條ニ移リ論究スル所アラントス又營業者ニ於テ無印紙又ハ不
足印紙タルコトヲ知リテ販賣シタル者ハ勿論之ヲ罰セサルヘカ

ラスト雖モ若シ知ラスシテ販賣シタルモハ之ヲ罰スルコトヲ得
 スト云フヲ以テ適當ノ解釋ナラント信スルナリ何トナレハ其無
 印紙若クハ不足印紙ナルコトヲ知ラスシテ販賣シタル者ト雖モ
 幾分カ疎虞懈怠ノ罪ヲ免ル、コトヲ得サルカ如クナレモ罪トナ
 ルヘキ事實ヲ知ラスシテ犯シタルモノナレハ本則中不諭罪ノ例
 ヲ用ヒストノ特例ナキ以上ハ刑法總則第七拾七條第二項ニ依リ
 其罪ヲ論スルヲ得サルモノナルベシ

〔參照〕

○刑法第七十七條第二項 罪トナルヘキ事實ヲ知ラスシテ犯シ
 タル者ハ其罪ヲ論セス

第六條 請賣者行商者ニシテ無印紙ノ藥品ヲ所持シ若
 クハ之ヲ販賣シタル者ハ貳圓以上百圓以下ノ罰金ニ

處シ印紙不足ノ藥品ヲ所持シ若クハ之ヲ販賣シタル
 者ハ貳圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

〔解〕○本條ハ請賣者行商者ニ對スル制裁ヲ定メタル者ヨシテ即チ請
 賣者又ハ行商者ニ於テ無印紙若クハ印紙不足ノ賣藥ヲ販賣シタ
 ルモハ印紙稅逋脫ノ媒介ヲ爲シタル者トシ又仮令之ヲ販賣セザ
 ルモ所持スルニ於テハ販賣ヲ爲スノ恐レアルヲ以テ本條之ヲ罰
 金ノ刑ニ處スルモノナリ

○本條ニ於テ請賣者又ハ行商者ニシテ無印紙若クハ不足印紙ノ
 賣藥ヲ所持シ又ハ之ヲ販賣シタル者ヲ罰スル所以ノモノハ營業
 者ヲ補ケテ逋稅ノ媒介ヲナスヲ罰スルニ外ナラス然ルニ無印紙
 或ハ不足印紙ノ賣藥ヲ買受ケタルモ自カラ其非ヲ悟リ規則ニ從
 ヒ定價相當ノ印紙ヲ貼用シタル時ハ其營業者ヲ補ケテ逋稅ノ媒介

チ爲スカ如キ意ナキヤ明カナリ此場合ニ於テハ本則第五條ニ依リ營業者ヲ罰スルハ至當ナルモ請賣者及行商者ヲ罰スルノ限リニ非サルナリ或論シテ曰ク本條ニハ所持シ若クハ之ヲ販賣シタル者ハ云々トアリ仮令請賣及ヒ行商者ニ於テ印紙貼用シタルニセヨ一日無印紙又ハ不足印紙ノ藥品ヲ所持シタル以上ハ既ニ本條ノ罪ヲ成立スルモノナレハ後ニ貼用シタルニ曩ノ罪之レカ爲メニ消滅スルノ理アラサレハ請賣者及ヒ行商者ハ其罪ヲ免ルコトヲ得サルモノナリト嗚呼何ソ夫レ誤解ノ甚シキヤ抑モ法律ノ之ヲ所持スルコトヲ禁スル所以ハ動モスレハ無印紙不足印紙ノ儘販賣シテ逋税ノ媒介ヲ爲スヲ以テナリ然ルニ請賣者及ヒ行商者ニ於テ自ラ印紙ヲ貼用シタル以上ハ毫モ逋税ノ媒介ヲ爲スノ理由アラサルナリ豈法律上之ヲ罰スヘシト云フヲ得ベキヤ若シ

論者ノ説ノ如ク一旦之ヲ手ニ入ル、ヤ直チニ其罪ヲ成スモノトセハ請賣及ヒ行商者ハ無印紙又ハ不足印紙タルコトヲ知ラスシテ賣藥ヲ買取り後チ其無印紙不足印紙ナルコトヲ發見シ直チニ之ヲ營業者ニ返却シタル場合ト雖モ尙ホ一旦所持セシチ以テ罰スヘキ者ト言フカ論者ト雖モ豈何ソ罰スヘシト言フヲ得ンヤ然ラハ成規ノ如ク請賣者カ印紙ヲ貼用シタルト營業者ニ還付シタルト其間幾許ノ差アリヤ其手段異同アルモ更ニ成法ニ從ヒタルノ點ニ至リテハ敢テ異ナルコトナシ之レ罰スヘカラスト言フ所以ナリ又請賣者ノ貼用シタル印紙モ其貼用及ヒ消印等ノ成規ニ背カサル以上ハ之ヲ無効ナリト云フヘカラス夫レ印紙稅ナルモノハ賣藥ニ課スル所ノ間稅ナリ故ニ印紙貼用ノ規則ニ從ヒ之レニ納稅シタル以上ハ其納稅ノ無効ニ歸スヘキノ理ナシ況ンヤ本

則中請賣者行商者ニ於テ印紙ヲ貼用スヘカラス若クハ其印紙ハ無効ナリトノ法文アルヲ見サルナリ畢竟第一條ニ於テハ印紙ヲ貼用スヘキノ義務ハ營業者ニ在ルコトヲ示シタルニ過キサルトナリ余ハ尙ホ持論ノ適當ナルヲ証明セシカ爲メ一例ヲ舉ケンニ彼ノ罰金科料ノ如キハ犯人ノ財産ニ對スル刑罰タルニ非スヤ然ルモ本人之ヲ納ムル能ハサル場合ニ於テハ親戚故舊ノ代テ之ヲ納ムルモ敢テ法律ノ禁スル所ニ非ス又証券印紙ノ如キハ均シク之レ印稅ナリ而シテ之ヲ貼用スルノ義務ハ明治十七年第十一號布告第五條ニ(印紙ハ証券ノ差出人又ハ帳簿主ニ於テ証券ハ授受ノ前帳簿ハ使用ノ前ニ貼用シ云々)トアリ之レ全ク証券差出人ノ貼用スヘキ義ハ照然タリ而シテ同布告第十八條ニ(此規則ヲ犯シ脫稅ニ係ルモノハ處罰ヲ受クルノ後証券帳簿ノ受取人ニ於テ相

當ノ印紙ヲ貼用スルコトヲ得)トアリテ証券受取人之レヲ貼用シタルモ有効ナルヲ判然タリ是レ獨リ賣藥印紙ニ限リ請賣又ハ行商者ノ貼用セシ印紙ハ其効ナシトスル理由ナキコトヲ斷シテ信スル所以ナリ

○若シ營業者ニシテ行商ヲ兼ル者アリ其行商中無印紙若クハ不足印紙ノ賣藥ヲ販賣シタル時ハ本則第五條ノ罰ニ處スヘキモノ如シト雖モ其行商ヲ爲スノ際ハ即チ行商者ノ資格ヲ有スル者ニシテ營業者ト言フヲ得ス故ニ第六條ニ依リテ之ヲ罰スヘキモノナリ

第七條 貼用印紙ニ消印セサル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

〔解〕○本條ハ印紙ニ消印セサル者ノ制裁ヲ定メタルモノニシテ若シ

之レニ消印セサル時ハ再貼用ヲナスノ恐ノアルヲ以テ罰スベシト定メタルモノナリ

○本條ニ於テハ單ニ消印セサルモノトアリテ何人ノ消印スヘキ義務ナリヤ判然セサルカ如シト雖モ本則ハ第三條ニ印紙ハ藥品ノ容器又ハ包紙等ニ貼用シ營業者ニ於テ之ヲ消印スヘシトアルヲ以テ印紙ニ消印スルノ責ハ乃チ營業者ニ在ルヤ明カナリ故ニ請讀者又ハ行商者ガ無消印ノ賣藥ヲ所持スルトモ他ニ罰スヘキ正條ナキヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得サルナリ

○茲ニ少シク注意ヲ要スベキコトアリ即チ營業者ハ何時其印紙ニ消印スヘキヤ本條ニ依ルニ啻消印セサル者トアリテ其消印スヘキ期限アラスト雖モ遲クモ其販賣スルニ際セハ之ニ消印シテ賣渡サヘルヘカテサルヤ必セリ然レモ賣藥調製ニ際シ一時ニ多

數ヲ調製スルモノ、如キハ直チニ之レニ消印スヘシト命スルモ實際行ハレ難カルヘシ故ニ營業者ハ無消印ノ賣藥ヲ所持スルト言フヲ以テ直チニ罰スヘキモノト解セハ實ニ誤マレルノ甚シキモノナレハ無消印ニテ販賣シタルトキノ外ハ決シテ罰スヘキモノニ非ラスト信スルナリ

第八條 印紙賣捌所ノ外ニ於テ印紙ヲ賣捌ク者ハ貳圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其品ヲ沒收ス其情ヲ知リテ之ヲ買受ケタル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其品ヲ沒收ス

(解)○本條ハ印紙賣捌所ノ外ニ於テ之レヲ賣捌キ若クハ其情ヲ知リテ之ヲ買受ケタル者ノ制裁ヲ定ムル者ニシテ即チ本則第四條ニ賣藥印紙ハ官ノ許可シタル賣捌所ニ限り賣捌ク者トストアリ

○賣藥印紙稅規則ニ消印ノ責。消印ノ時期。印紙ヲ賣捌所外ニ於テ賣買スル者處方 九十三

又明治十七年第九号布達印紙類賣捌規程第五條ニ印紙類賣捌所
ハ一人一ヶ所ニ限リ許可スルモノトストアリ之ニ依テ印紙類ノ
賣捌ヲ爲サント欲スル者ハ官ノ許可ヲ得テ其賣捌所ヲ定メ其他
ニ於テ支店ヲ設ケ或ハ行商ヲ爲ス等ノ義ハ決シ許可セサルモノ
ナリ若シ其賣捌所外ニ於テ賣捌ヲ爲ス者ハ官ノ免許ヲ受ケタル
者ト否ラサル者トヲ問ハズ本條ニ依リ罰スヘキモノナリ其情ヲ
知リテ之ヲ買受クル者モ亦同シ但シ印紙ハ賣捌所ノ外ニ於テ賣
捌ヲ得スト定メタル理由ハ他ナシ商賣品ニ非サルヲ以テナリ

附記

○大藏省第十七號達 明治十六年 四月七日
客年第五十一号ヲ以テ賣藥印紙稅規則布告相成候ニ付テハ主任

官ヲ派出シ實地ニ就キ周密檢査可致尤檢査手續ノ義ハ適宜ノ方
法相立可届出此旨相達候事

○第四十三号布告 明治十六年 十二月廿日

酒造稅則醫藥營業稅則賣藥印紙稅則煙草稅則ニ關シ租稅官吏ニ
於テ犯則アリト認知シ若クハ思料スルトキ、其場所ニ立入り犯
則ノ證據取調ノ處分ヲ爲スコトヲ得但其官吏ハ主任タルノ證據
ヲ携帯スベシ

右奉 勅旨布告候事

○大藏省第七十七号 明治十六年 十二月廿一日

本年四十三号布告ニ依リ人民ノ家宅内ニ立入り証憑取調ノ處分
ヲ爲スハ日出後日没前ニ於テシ其地戶長若クハ用掛隣佑ノ内ヲ
シテ立會ハサシメ候様取計フヘシ此旨相達候事

○賣藥營業並ニ請賣營業者諸帳簿記載方

○吾國ノ商家帳簿ノ記載方乃チ簿記法ニ於テハ曾テ一定ノ法式ナク不規律千万ナルモノニシテ其記スル處畢竟自家ノ備忘録タルニ過ギス時ニ臨ンテ之レガ調査統計ヲ要スルニ當リテハ忽チ不便ヲ感シ其精確ヲ得ルヲ甚ダ難カルベシ例之ハ賣藥家ノ如キハ時々印紙稅檢査ヲ要スベキ等ナルガ故ニ其營業ニ關スル諸帳簿ハ最モ明瞭ニ記載シ置クベシ乃チ余ガ商店ニ於テ平常實行スル處ノモノヲ茲ニ掲出シテ聊カ參考ノ一助ニ供セントス

第一 原藥仕入帳 要領藥名買入高。代金事由買請先

第二 賣藥印紙買入帳 要領印紙ノ種類。仕拂金賣捌人名

第三 賣藥製造明細帳 要領方名原藥量目合計量製劑數定價金高印紙種類員數

第四 賣藥製造附込帳 要領方名類別製造高一個ノ定價貼用印紙印紙ノ數

第五 發賣本帳 要領方名類別員數定價金割引原價金請賣人名

第六 發賣支帳 要領請賣人名方名類別員數原價割合代金事由

第七 賣藥印紙買入使用月計表 要領印紙ノ種類買入高前月越高合計消費高残り高

第八 賣藥製造發賣月計表 要領方名類別製造高前月越高合計發賣高残り高

以上賣藥營業ニ關スル帳簿

第九 賣藥仕入明細帳 要領營業人名方名類別仕入高原價割合代金事由

第十 賣藥仕入附込帳 要領方名類別仕入高代價金營業人名取次名

以上賣藥請賣營業ニ關スル帳簿

○其雛形左ノ如シ但シ其了解シ易スカラン爲メ粗ホ實名ヲ以テ記入ス

(三第)

十八年七月一日製造	此製劑數	何百何十瓶
方名 無色ヨザユムチンキ	此一個ノ定價金	十錢
原藥量目	此印紙(壹錢)	何百何十
沃 頗 何 程		
次亞硫酸ナトリウム		
餾 水		
苛性アンモニア水		
酒 精		
合 計 量		
○賣藥製造明細帳		
精々藥館		

(附)帳簿式

百

(四第)

月 日	方 名	類別	製造高	一個ノ定價	貼用印紙	印紙ノ數
一七	ヨザユムチンキ	中瓶	何千	十錢	壹錢	何程
九全		小瓶	何千何百五	錢五	厘何千何百	
十二	鐵 飴	大器	何百四十	錢四	錢	
十四	無色ヨザユムチンキ		千何百十	錢壹	錢	
十七	鐵 飴	小器	何百何十廿五	錢五	二厘錢各	
十八	和 胸 散	分一日	何千五	錢五	厘	
廿全		分五日	何百廿	錢二	錢	
廿五	鐵 飴	大器	千何百四十	錢四	錢	
○賣藥製造附込帳						
精々藥館						

(附)帳簿式

百一

(五第)

月日	方	名	類別	員數	定	價	金	割引	原	價	金	請	賣	人	名
一五	鐵	餡	☆器	何百	何十	何圓	何々	若干	圓	本	林	平	三	郎	
、	、	色無		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	岩	浪
、	、	ヨギユムチンキ		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	藏	
、	六	鐵	餡	小	器	、	、	、	、	、	、	、	、	近	久
、	、	和	胸	散	分	五	日	、	、	、	、	、	、	全	人
、	、	全	分	一	日	、	、	、	、	、	、	、	、	谷	口
、	、	ヨギユムチンキ	中	瓶	、	、	、	、	、	、	、	、	、	長	谷
、	七	鐵	餡	大	器	、	、	、	、	、	、	、	、	松	野
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	双	松
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	堂	
○發賣本帳													精々藥館		

(六第)

月日	方	名	類別	員數	原	價	割	台	代	金	事	程	現	金	請	取	濟	由	
一十八	和	胸	散	分	一	日	幾	許	何	々	何	程	現	金	請	取	濟	由	
、	、	鐵	餡	大	器	若	干	、	、	、	、	何	々	、	、	、	、	、	々
、	、	全	小	器	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	色無			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	ヨギユムチンキ			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
○發賣支帳													精々藥館						

(七第)

明治十八年		賣藥印紙(種類)		買入月計表		營業人		橫田孝史	
月	買入高	前月越シ高	合	計	消費高	残り高	月	何千	何百
一月	何千	何百	何千何百	何千何百	何千何百	何百			
二月	、	、	、	、	、	、			
三月	、	、	、	、	、	、			
四月									
五月									
六月									

(八第)

明治十八年		方名(類別)		製造月計表		營業人		橫田孝史	
月	製造高	前月越高	合	計	發賣高	残り高	月	何千	何百
一月	何千	、	、	、	、	、			
二月	、	、	、	、	、	、			
三月									
四月									
五月									
六月									

第三款 賣藥區域外劑藥ノ事

○賣藥區域外(或ハ規則外ト云ヒ又部外ト云フ)劑藥トハ乃チ其目的人畜ノ治病ヲ主トセサルモノヲ云フナリ而シテ從來其檢查禁許等ノ取締方ハ一般管轄廳ノ適宜ニ出ツルヲ以テ仮令ハ甲府ト乙縣ノ間ニ於テモ多少其趣旨ニ異同アルベシト雖モ今或二三地方廳ノ制定セルモノヲ見聞スルニ其方法手續乃チ出願ノ手續検査ノ模様請賣行商ノ方法等概テ先ツ賣藥規則ニ準スルモノ、如シ余ハ暫ク茲ニ區域外ニ屬スベシト仮定スル事項ヲ記述シテ他日是等ノ法律規則ノ發布ヲ俟ツ

○防臭飲食物ノ防腐澄清及ヒ鼠蠅蚊虱蚤其他蟲類ノ塵殺驅除等ヲ目的トシ調製發賣スルモノハ總テ區域外ニ屬スベシ

○鼠取蠅取藥類ハ固ヨリ區域外タルベシト雖動物ヲ殺ス毒藥ト

ルヘキヲ以テ誤テ人命ヲ傷害スルノ憂ナキ様營業者ニ於テ最モ注意スベシ

○數種ノ芳香藥品ヲ配伍シ或ハ之ヲ携帯シ或ハ之ヲ煙草ニ混和シ喫烟セシメ啻其佳香ヲ取ルノ目的ニ出テ素ヨリ治病ニ關係ナキモノハ賣藥區域外ニ屬スベシ

○無害ノ薰草藥種ノ類ヲ調合シ袋入或ハ紙包トナシ惡臭防遮等ノ目的ヲ以テ販賣スルノ類ハ乃チ區域外トナシ差支ヘナカルベシト雖モ惡疫除等ノ名目ヲ附スルヲ得ス

○專ラ滋養ヲ目的トスルモノ若クハ化粧水又ハ飲料齒磨粉等ノ如キハ仮令一二ノ功能ヲ附記スルモ固ヨリ治病ノ主意ニアラサル以上ハ賣藥區域外トナスベシ

○撒里矢見酸ヲ以テ酒類食物等ノ防腐藥トシ其功能用法等ヲ公

○藥賣區域外劑藥ノ事

告發賣セントスルカ如キハ例之効驗用法ノ記載アルモ治病ノ目的ニアラサルヲ以テ區域外ニ屬スベシ

○尋常ノ浴湯營業者ニシテ其臭氣ヲ掩ハンカ爲メ無害無効ノ芳香アル藥品ヲ混和或ハ浸出スル者ハ區域外タルベシト雖モ藥湯ノ名義ヲ附スヘカラサルモノナリ

○鑛泉又ハ海水ヲ汲取浴場ヲ開キ病客ヲ浴セシムルモノ、如キハ買藥區域外ニ屬スルモノナラン然レモ鑛泉中ノ固形物則チ湯ノ花ノ如キモノ或多或少ノ鑛泉ヲ加ヘ又ハ他ノ藥品等ヲ混和シ原質ヲ變セシメ之レニ醫治効用ヲ付シタル場合ニ在テハ無論賣藥規則ニ依ルヘキモノトス

○藥湯溫度ハ人身体温ヨリ超過スルモ妨ナシ然レモ豫メ之ノカ定度ヲ設ケザレハ健康ヲ害スルノ恐レアリ宜シク注意スベシ

○鑛泉(乃チ炭酸泉ノ類)ヲ酌ミ藥瓶又ハ樽桶ノ類ニ盛り用方功能ヲ記シ治病ノ目的ヲ以テ販賣スルモ賣藥規則ニ依ルノ限リニアラスシテ區域外ニ屬スベシ

〔參照〕

○第四百十二號布告 明治五年五月三日

鼠取或ハ蠅取藥ト唱ヘ礬石ノ類ヲ調合致シ世間ニ賣買致來候處自今令禁止候事

○内務省乙第三十六号達 明治十年三月廿三日

從來燐製ノ鼠取藥ヲ以テ賣藥トナシ候義聞届鑑札下渡候向有之候處右ハ毒藥ニシテ到底民間誤用ノ虞ナキヲ免レス殊ニ本年太政官第二十号毒劇藥取扱規則(明治十三年第一号布告)ヲ以テ改正セリ公布相成取締上ニモ關係候ニ付自今一切禁止候條右營業者

○賣藥區域外劑藥ノ事

有之府縣ハ其旨相達速ニ鑑札返納可取計此旨相達候事

但請賣藥ノ者モ同様賣藥規則ニ照シ禁止ノ處分可相達事

○静岡縣伺 酒類防廢藥又ハ變酒濁下藥ト唱ヘ數味藥品ヲ調和

シ製造許可願出候者有之右ハ明治九年御省乙第五十四号達ニ照

準シ御省ヘ進達可致義ニ候哉○内務省指令 明治十六年 伺之趣其

縣限リ適宜取計フ儀ト可心得事 (官報抄錄)

○函館縣伺 耕作物害蟲驅除ノ賣藥願出ルキハ家畜牛馬等ノ賣

藥ト同様聞届差支ナキヤ○内務省指令 明治十六年 耕作物害蟲驅

除ノ目的ニテ販賣スル藥品ハ賣藥規則外トナシ御縣限リ便宜御

處分相成然ルヘシ候 (官報抄錄)

○兵庫縣甲第五十九號布達 明治十七年 七月十一日

賣藥區域外劑藥取締規則別冊ノ通相定ム (別冊零之)

第二編 醫藥

○第一款 藥品取扱規則

明治十三年一月十七日 第号一布告

藥品取扱規則左ノ通相定來ル二月十五日ヨリ施行シ明

治十年^二月第二十号布告毒藥劇藥取扱規則ハ右同日限相

廢候條此旨布告候事

第一條 凡ソ藥品中最注意シテ精選スヘキモノヲ第一

類^{注意}藥 トシ其性効峻烈ニシテ僅少ノ分量ト雖^正直ナ

ニ生命ヲ傷害スルニ足ルヘキモノヲ第二類^毒藥 トシ其

性効第二類ノ如ク峻烈ナラサルモ用量ニ因テ容易ニ

危害ヲ來スヘキモノヲ第三類^劇藥 トス其類目別表ノ如

シ

但新タニ發見及ヒ舶齎シタル藥品ハ先ツ最寄司藥場

ニ出シテ試験ヲ受ケ其告示スル所ニ從フヘシ

〔解〕○凡ソ醫藥用ニ供スヘキモノ此三類表目ノ外尙ホ夥多ナリト
 ス是實緊要ナルモノ、ミチヲ掲ケタルモノナリ而シテ其第一類中
 已ニ掲載セルモノニシテ複々第二或ハ第三類中ニ重記シアルハ
 乃チ第一類ハ精粗眞贋ヲ鑑別シ且ツ貯藏法等ニ於テ注意スヘキ
 モノニシテ敢テ性能ノ緩劇ヲ問ハス第二及ヒ第三類ニ在テハ專
 ハラ性能ノ劇毒ニ據テ區別シタルモノナリ例之沃土加里ノ如キ
 ハ日光ニ觸レテ變化スルノ性アルヲ以テ暗所ニ貯フヘク(藥品貯
 藏法ヲ附記ス宜シク參觀スヘシ)且ツ其價格ノ不廉ナルヲ以テ贗
 造或ハ他ノ類似品(臭素加里ノ如キモノ)ヲ混合スルモノアリ乃チ
 本業ニ從事スルモノ賣買上若クハ貯藏ノ際最モ注意ヲ要スヘキ
 カ故ニ第一類中ニ編入セリ且ツ其性能猛毒ナラスト雖モ若シ服

量ヲ誤ルルハ忽チ「ヨゲウム」中毒症ヲ發スル恐レアリ是レ復々第
 三類中ニ重出セル所以ナリ

○此三類表目ノ外新ニ發明シタルモノ及ビ舶來シタル新藥ハ先
 ツ衛生局試験所(舊稱司藥場)へ持出シ検査ヲ受ケ其告示スル所ノ
 成跡ニ據リ本條ニ準シ取扱フベシ若シ其手續キチ爲サトルモノ
 ハ本則第六條ニ依ツテ處罰スベキモノトス

〔參照〕

○内務省甲第八号告示

明治十六年
五月五日

當省所轄東京横濱大坂ノ三司藥場自今左ノ通改稱候條此旨告示候事
 ○衛生局東京試験所○衛生局大坂試験所○衛生局横濱試験所

第二條 第一類藥品ハ其性効ノ緩劇ニ拘ハラズ若シ精
 良ナラサルトキハ醫師ノ目的ヲ誤リ以テ人命ヲ危フ

スルカ故ニ粗製品（故意ニ他物ヲ混シタルニ非ス化學製造上或ハ採收ノ際其法疎漏ニシテ純精ヲラサルモノ）ハ之ヲ藥用トシテ販賣スベカラズ

但藥舖ニ於テ自ラ其良否ヲ鑑別シ能ハサルトキハ最寄司藥場ニ請ヒ試驗ヲ受クルコトヲ得（但書本行請ヒテ其ノ五字アリシヲ明治十七年九月廿九日第廿五号布告ヲ以テ削除セリ）

〔解〕○已ニ前條ノ解釋ニ述フルガ如ク第一類中ノ藥品ハ治病ニ關スル重要ノモノナレハ其粗製品ハ必ス醫用トシテ販賣スルコトヲ許サズ若シ本條ニ違フキハ其故意ニ出ツルト否ニ均ハラズ處罰ヲ免カレザルナリ仍ホ本則第六條以下ヲ參觀スヘシ

○第一類中ノ藥品仮令精良タルモ其第二類或ハ第三類中ニ重録セルモノハ勝手ニ賣買スルコトヲ得ズ必ズ本則第四條ノ手續キニ據ルベシ

○又藥舖或ハ藥種商ニ於テ第一類ニ屬スル藥品ノ性質効分ノ如何ヲ見分ルコト出來難キ場合ニハ地方ノ衛生局試驗所（舊司藥場）ニ試驗ヲ請フコトヲ得ヘシ

第三條 第一類中粗製品ト雖モ仍ホ學術上工職上等ノ用ニ供スルニ足ルモノハ粗製ノ字ヲ其器ニ明記シ之ヲ販賣スルコトヲ得

〔解〕○第一類中ノ藥品ヲ醫用ニ供スルニ於テ精製ヲ要スルハ勿論ナレモ若シ之ヲ化學用或ハ製作用ニ供スルコトヲ得ル片ハ購求者ニ事實ヲ告ケタル上販賣スルコトヲ得ヘシ然シ此場合ニ於テハ其藥品ヲ盛リタル器物（瓶ノ類）ニ粗製ノ二字ヲ判然記入スベシ

第四條 第二類第三類ノ藥品ハ醫師ノ處方書ニ據テ調合スルノ外醫師藥舖化學者製藥者工職者等ヨリ品名

數量需用ノ目的年月日及住所姓名ヲ詳記シタル証書ヲ以テスルニアラサレハ決シテ販賣或ハ授與スヘカラス

但シ証書處方書ハ之ヲ保存シ臨時ノ點檢ニ供スヘシ且本條ノ手續ニ依ルモノト雖モ幼稚ノ者其他不安心ト認ムルモノニハ一切交附スヘカラス

〔解〕○本條ノ第二類第三類ハ即チ毒藥劇藥ニシテ其性能ノ峻烈ナリ素ヨリ漢藥ノ如キ比類ニ非ラズ又分量ノ微小ヲ以テ死テ起シ生ヲ斃ス實ニ忽ニスヘカラス藥品ナレハ之ヲ取扱フコトハ醫師ノ處方箋ヲ持參スル者ニ限リ藥舖ハ相當ノ分量ヲ調合スルコトヲ得其他ハ醫師藥舖化學者製藥者工職者等何レモ免狀或ハ鑑札ヲ所持スル人ニシテ其要スル藥品ノ名稱量數及ヒ使用ノ目

的并ニ年月日買受人ノ住所氏姓ヲ悉ク記載シタル証書ヲ持參シタル者ニ限リ販賣若クハ授與スルコトヲ得ヘシ其手續キヲ爲サハル者ニハ決シテ販賣又ハ授與スヘカラス

○仮令ハ茲ニ陳フル手續キヲ爲ス者ト雖モ小兒或ハ白痴瘋癲者者等總テ不安心ト認ムル者ニハ一切附與スヘカラス

○且ツ其受取リタル証書或ハ醫師ノ處方箋ハ平常之ヲ保存シ置キ臨時官吏ノ出張シテ檢査スルコトアレハ其節之レヲ點檢ニ供スヘシ且又本條ノ本文若クハ但書ニ違犯シタル者ハ本則第六條ニ依リ夫々處罰スベキモノナレバ茲ニ從事スルモノ宜シク本條ノ意義ヲ了知シ苟モ疎漏ノ取扱ヲ爲スヘカラス

○近來摺付木(マツチ)製造ニ黃燐(毒藥)ヲ使用スルモノアリ衛生上危險ノ恐レアリトテ内務省ハ禁止ノ沙汰ニ及ビタリ

〔參照〕

○內務省乙第十号達 明治十三年三月十七日

本年一月太政官第一号ヲ以テ藥品取扱規則公布相成候ニ付テハ
繪具染草等モ第二類并ニ第三類表中ニ掲載有之モノハ該規則ニ
照シ賣買可致等ニ候條心得違ノ者無之様可取計此旨相達候事

○第二十三号布告 明治十三年五月十五日

石炭酸其他劇藥ハ本年一月第一号布告藥品取扱規則第四條ニ照
シ可取扱ノ所傳染病流行ノ際ハ內務省布達ニ從ヒ消毒藥ニ調製
候分ニ限リ藥舖ニ於テ販賣差許候條販賣望ノ者ハ其管轄廳ニ可
願出此旨布告候事

○內務省甲第一号達 明治十八年一月廿八日

摺附木製造ニ黃燐ヲ用ヒ候義ハ自今禁止候様可致此旨相達候事

第五條 第二類第三類ノ藥品ヲ販賣スルトキハ其器若

クハ包紙ヘ必ス普通ノ名稱ヲ記シ且第二類ハ毒ノ字
第三類ハ劇ノ字ヲ明記スベシ

但醫師ノ處方書ニ據ラスシテ封緘ヲ開キタル第二
類第三類ノ藥品ヲ小賣若クハ授與スルトキハ本文
ノ外更ニ適應ノ器ニ入レ密閉封印スヘシ

〔解〕○第二類第三類即チ毒藥劇藥ヲ前條ノ手續ニ據ツテ販賣スル
トキハ其器物(瓶若クハ罐)或ハ包紙ヘ必ス其藥品ノ普通名ヲ讀ミ
易キ様記載シ又第二類藥ハ毒ノ字第三類藥ハ劇ノ字ヲ明ラカニ
書キ置クベシ

○又醫師ノ處分箋ニ據ラス前條ノ證書ヲ以テ第二類第三類ノ藥
品ヲ賣渡スコトヲ得ヘキ者即チ醫師藥舖化學者製藥者工職者等
官許ヲ受ケタルモノニシテ劇毒藥ヲ要スル業体ノモノニ封緘ヲ

○藥品取扱規則 ●繪具染草取扱方。消毒藥販賣方。
黃燐ノ禁。劇毒藥販賣方。

開ラキ小賣若クハ授與スルトキハ本條ノ手續ヲ爲シタル上仍ホ相當ノ器物ニ入レ其口ヲ密閉シ且ツ封印ヲ捺スベキモノトス但

シ本條ニ違フモノモ亦本則第六條ニ仍テ罪ヲ論ズベシ
第六條 第二條第四條本文ニ背戾シ又ハ贋品(故意ニ他ノ物品ヲ

本品ト混合シテ其容量重量ヲ増スモノ若クハ他ノ物品(總テ以テ本品ニ擬シ或ハ名箋ヲ變換スルモノ、類ヲ言フ)敗品(酸敗風化或ハ潮解シ若クハ黴醜ヲ生シ陳敗ニ傾ク等ニ因リ其藥品本性ノ効力ヲ變シ或ハ其効力ヲ失スルモノ、類ヲ言フ)

ヲ販賣スルモノハ其贋敗品ヲ没入シ三十圓以上五百圓以下ノ罰金若クハ一月以上一年半以下ノ懲役第一條但書第四條但書及ヒ第三條第五條ニ背戾スルモノハ壹圓以上貳拾五圓以下ノ罰金若クハ一日以上二十日以下ノ懲役ヲ科シ又ハ罰金懲役ヲ併セ科スベシ

〔解〕○本條ハ藥品取扱規則ニ違背シタル者ノ制裁ヲ定メタルモノナリ乃チ本則第二條及ヒ第四條ニ背キ或ハ贋敗不純ナル藥品ヲ販賣シタルモノ(第三條ノ手續キニヨルモノ)ハ格別(其害ノ及ブ所大ナルヲ以テ之レヲ重キニ處シ又第一條但書第四條但書及ヒ第三條第五條ニ違フモノ)ハ其害少ナキガ故ニ輕キニ問フ蓋シ刑ノ適用ハ罰金若クハ懲役ノ範圍内ニ於テ罪狀ノ如何ニ因ルベキハ素ヨリ一般ノ通則ナリ仍ホ各條下ノ解釋ト參觀スベシ
○明治十四年第七十二号布告(第六條)ニヨレハ法律規則中罰例アリト雖モ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依テ處斷ストアリ而シテ刑法第二百五十四條ニハ規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ストアリ本則第四條手續キヲ爲サズ劇毒藥ヲ勝手ニ販賣シタルモノハ乃チ本條ニ依ラス刑

法ニ依テ論スルヲ得ヘキ乎大審院檢事堀田氏(刑法釋義)ノ説ニ
 其(藥品取扱規則)第四條ハ毒藥劇藥ノ販賣ニ關スル規則ヲ定メタ
 ルモノナリト雖モ右取扱規則ハ明治十三年一月十七日附ノ布告
 ニ係レハ若シ規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタルモノハ本條
 (刑法第二百五十四條)ニ依リ之ヲ罰スベク同則(藥品取扱規則)ニヨ
 リ之ヲ處斷スルヲ得サルヤ明ラカナリ然ラハ同則第六條ニ定メ
 タル刑ト本條ニ定メタル刑トハ大イニ其輕重ヲ異ニスルヲ以テ
 毒藥劇藥ノ販賣ニ非サル他ノ違犯事件ニ適用スヘキ藥品取扱規
 則第六條ト本條トハ全ク其權衡ヲ失スルノ恐レアリ故ニ本條ヲ
 改正スルカ或ハ同則第六條ヲ改正セサルヘカラス余思ニ規則違
 犯事件ニ懲役ノ刑ヲ適用スルハ能ク其當ヲ得タルモノニアラサ
 レハ寧ロ藥品取扱規則第六條ヲ改正スル方蓋シ允當ナルヘシト

信スト云フニアリ然ルニ明治十六年十月三十日附乃チ古刑法頒
 布后ニ係ル大審院宣告書ニシテ藥品取扱規則ニ違犯シタルノ件
 ナ審察セシモノヲ見ルニ(前略)爰ニ大審院ニ於テ專任判事ノ報告
 及ヒ立會檢事ノ意見ヲ聽キ之レヲ審察スルニ明治十三年第壹號
 布告藥品取扱規則云々(中略)弟二類第三類ニ列記シアル(劇毒)
 ニ該レハ同則第四條ノ手續キヲ爲サ、レハ販賣スルヲ得サル
 モノナリ若シ之ニ違フ者ハ同則第六條ニ從ヒ處罰スヘキハ勿論
 云々ト彼此全ク相反對セリ乃チ是レ同一ノ犯則者ニシテ甲ハ十
 圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スヘシ(刑法該條ニ據ル)ト云ヒ乙ハ三
 十圓以上五百圓以下ノ罰金若クハ一月以上一年半以下ノ懲役ヲ
 科スベシ(本條ニ依ル)ト云フ蓋シ堀田氏ノ説大ニ理アルモノ、如
 シト雖亦大審院ノ判決ニシテ苟モ錯誤アルヘキノ理ナキヲ如何

セシ又或論者ノ云ク夫レ刑法ハ所謂普通法ニシテ社會一般ニ對シテ其罪ヲ定メタルモノナレド本則ハ單ニ藥舖ニ對シ藥品取扱上ノ心得方ヲ示シタル者ニシテ一般人民ニ於テハ更ニ關係ナキモノトス故ニ本條ノ如キモ管藥舖ノ犯則者ヲ罰スヘキ特別法ニ外ナラザルベシ抑モ藥舖ナル者ハ醫師ト相須テ貴重ナル人命ヲ保護スヘキ責任アル者也然ルニ業務上ノ失錯或ハ懈怠ニ因テ人ヲ害スルガ如キハ必ズ相當ノ處分ヲナサザルヘカラズ是レ刑法第二百五十四條ト本則第六條ノ間ニ於テ差別アル所以也又藥種商ハ藥舖ノ如キ責任アルニアラスト雖依之衣食スルモノナレハ固ヨリ本則ヲ遵守スヘキノ義務アルモノナリト此說亦タ採ルベキニ似タリト雖彼ノ宣告文ニハ犯罪人岡田清七ナルモノハ賣藥營業者トアリテ藥舖或ハ藥種商タラサルモノ、如クナルヲ以テ

論者ノ說モ或ハ凡上ノ空論タルニ過キサルナリ故ニ本則第四條ノ手續キヲ爲サズ劇毒藥ヲ妄リニ販賣シタルトキニ於テハ其業體ノ藥舖(若クハ藥種商)タルト否トヲ問ハス概シテ本條ニ依テ論スヘキモノナリト解セザルヲ得サル也果メ然レハ刑法第二百五十四條ハ抑モ如何ナル場合ニ於テ適用スルヲ得ルカ余ノ淺學非才百方考察スルモ容易ニ法意ノ在ル所ヲ知了スル能ハサルナリ暫ラシ茲ニ疑ヲ記シ以テ江湖ノ識者ニ質シ併セテ他日ノ考案ニ拱スト云爾

(參照)

○第七十二號布告撮錄

明治十四年十月二十八日

明治十五年一月一日ヨリ刑法施行候ニ付法律規則中罰例ニ係ルモノハ左ノ例ニ照シテ處斷スヘシ

第一條 凡懲役ハ十一日以上ヲ重禁錮ニ處シ十日以下ヲ拘留

ニ處ス

第三條 凡罰金及ヒ科料ハ二圓以上ヲ罰金ニ處シ二圓未満ヲ五錢以上壹圓九十五錢以下ヲ科料ニ處ス

第六條 法律規則中罰例アリト雖モ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依テ處斷ス

○刑法第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

○大審院宣告 明治十六年十月三十日 藥品取扱規則ニ違背シタルノ件

○宣告書

大坂府大和國宇陀郡松山萬町

平民賣藥營業

岡田清七

明治十五年十月
四十二年

右清七カ被告事件ニ付明治十五年十月二十五日奈良輕罪裁判所ニ於テ被告ハ明治十五年五月六月ノ兩度ニ同國吉野郡柳村藤田平造中谷兵七等ニヨリテ明治十三年第一號布告藥品取扱規則第四條ノ本文ニ違背シ販賣シタル罪同規則第六條ニ依リ罰金三十圓ニ處シ裁判費用金三圓納完スルヲ命スルモノナリト言渡タル裁判ニ對シ被告及ヒ檢察官ニ於テ上告シタル要旨ハ左ノ如シ

第一被告岡田清七ニ於テ藤田平造并中谷兵七ニ賣渡タル「ヨヂウ」ハ明治十三年第一號布告藥品取扱規則第二條ニ掲グル第一類藥品ニシテ且精良品ナリ而シテ同條ニ(若シ精良ナラサルトキハ醫師ノ目的ヲ誤リ以テ人命ヲ危フスルガ故ニ粗製品ハ

○藥品取扱規則

販賣スヘカラストアル明文ニ依レハ精良品ハ販賣スルヲ得テ
粗製品ハ販賣スルヲ得ストノ意ニシテ則チ被告清七ニ於テ
精良品ノ「ヨヂウム」ヲ販賣シタルハ前記藥品取扱規則ニ觸ル
コナキニ因リ原裁判所ガ同規則第四條ニ違背シタルモノトシ
同規則第六條ニ依リ罰金三十圓ニ處シ裁判費用トシテ金三圓
ヲ完納セシムル旨言渡シタルハ不當ノ裁判ナリト云フニアリ
第二檢察官御坐中治ニ於テハ被告岡田清七カ藥品取扱規則ニ
背キ藥品ヲ販賣シタルハ二次ナリ故ニ其二次ノ所爲ハ各自ニ
刑ヲ科スヘキニ原裁判所カ販賣二次ノ所爲アリト認メナカテ
其一次ノ刑ノミヲ科シタルハ擬律錯誤ナリ又刑ノ言渡ヲ爲ス
ニハ之カ理由ヲ明示スヘキ法律アルニ原裁判官ガ該裁判言渡
ニ事實及ニ法律ノ理由ヲ明示セサルハ不法ノ裁判ナリト云フ

ニ在リ爰ニ大審院ニ於テ專任判事ノ報告及ヒ立會檢事ノ意見
ヲ聽キ之レヲ審案スルニ明治十三年第一號布告藥品取扱規則
第二條ニ第一類藥品ハ其性効ノ緩劇ニ拘ハラス若シ精良ナラ
サルハ云々之ヲ藥用トシテ販賣スヘカラストアルハ第一類
中ノ藥品精良ナレハ之ヲ勝手ニ賣買スルヲ許ストノ意ニアラ
ズシテ粗製品ニ係レハ之レヲ藥用トシテハ販賣ヲ禁スルトノ
精神ナリ而シテ其第一類中ニアル精良品ナリトモ第二類第三
類ニ列記シアル藥品ニ該レハ同則第四條ノ手續キヲ爲サレ
ハ販賣スルヲ得サルモノナリ若シ之ニ違フ者ハ同則第六條ニ
從ヒ處罰スヘキハ勿論ナリ本案被告カ販賣セシ「ヨヂウム」ハ即
チ同則第三類中「ヨヂウム」及ヒ其製劑トアルハ「ヨヂウム」ニ該當
スルヲ以テ被告カ上告ハ該則ノ精神ヲ誤解シタル論告ニシテ

○藥品取扱規則 ●大審院宣告續

上告ノ原因ト爲スニ足ラサルモノトス因テ治罪法第四百二十
七條ニ依リ被告カ上告ハ之ヲ棄却スルモノナリ
檢察官上告中事實ノ理由ヲ明示セストノ論告アルモ原判文ヲ
閱スルニ被告カ犯罪ノ事實ハ充分ニ認ムルニ足ルヘキ理由ヲ
舉示シアルヲ以テ此點ニ至ツテハ破毀ノ原由ト爲ヌチ得スト
雖モ法律適用ノ點ハ其論告スルカ如ク明治十四年第七十二號
布告第五條ニ法律規則ヲ犯シタル者ニハ再犯加重及ヒ數罪俱
發ノ例ヲ用ヒスト特別法ノアルアリテ被告カ所爲ハ原判官ノ
確認スル處ニ依ルニ明治十五年五月六月ノ兩度ニ藤田平造中
谷兵七ハ販賣シタル者ナレハ同罪ヲ再度ニ犯シタルハ明瞭ニ
シテ即チ該布告ニ從ヒテ二罪共ニ併科スヘキモノナリ然ルニ
之ヲ併科セサリシハ法律適用ヲ誤リタル不當ノ裁判ナリトス

因テ治罪法第四百二十九條ニ依リ本院ニ於テ直ニ裁判スル左
ノ如シ
岡 田 清 七

右ノ理由ナルヲ以テ被告カ犯罪ノ事實ハ原裁判官ノ認定スル
處ニ依リ明治十三年第一號布告藥品取扱規則第四條ニ背キ第
三類ニ係ル藥品即チ「ヨザウム」ヲ販賣シタル二次ノ罪ハ同規則
第六條ニ依リ一罪三十圓宛即チ六十圓ノ罰金ヲ併科スルモノ
也

但裁判費用金三圓ハ完納スヘシ
大審院ニ於テ檢事林三介立會宣告ス

裁判長判事以下署名

(官報抄錄)

第七條 右ノ罰則ヲ再犯スルモノハ其本則ノ最多限ニ
二倍以下ノ罰金ヲ科シ三犯スル者ハ本罰ノ最多限ニ

三倍以下ノ罰ヲ科スベシ

〔解〕○本條中其本罰ノ最多限ニ二倍以下トアルハ例之ハ其刑一圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ當ルモノハ乃チ一圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處スルヲ云ヒ又三倍以下トハ其一圓以上七十五圓以下ニ處スヘキヲ云フナリ然シ本條ハ此規則ヲ再犯若クハ三犯シタルモノ、加重法ヲ定メタルモノナレトモ明治十四年第七十二號公布第五條ニ法律規則ヲ犯シタルモノニハ刑法ノ再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒストアルニ因レハ本條ハ既ニ消滅ニ屬シ實際之ヲ用フルコトヲ得サルヘシ余該公布第五條ノ意ヲ按スルニ夫レ刑法以外ノ法律規則中ニ定ムル所ノ刑多クハ過失懈怠ヲ罰スルニ過キス抑モ刑法ニ於テ再犯加重ノ法ヲ設ケタル所以ハ何ソヤ其初犯ノ刑ハ以テ犯罪者ヲ懲戒シ遷善ノ功ヲ奏スルニ足ラザリシガ

故ニ再度罪ヲ犯スニ至リタルモノナレハ其再犯ノ罪ヲ罰スルニ若シ初犯ノ刑ト同一ナルカ或ハ之ヨリ輕キモノヲ以テセハ犯者ハ其惡事ヲ爲スニ慣レテ刑ヲ恐レヌ乃チ刑罰其目的ヲ達セサルカ故ニ更ニ其刑ヲ加重シ以テ遷善ノ効ヲ促スニ在リ故ニ犯者惡事ヲ爲スニ慣ル、ト云ヘハ必ス有意犯ナラサルヘカラス無意犯即チ過失若クハ懈怠罪ノ如キハ決シテ惡事ヲ爲スニ慣ル、ノ理由アラサレハ從テ再犯加重ノ法ヲ設ケル更ニ其効ヲ奏スルニ足ラサルヤ明ナリ

〔參照〕

○第七十二號布告撮録

明治十四年
十二月廿八日

第五條 法律規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ再犯加重及ヒ數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

○第一類注意藥表

- 印度大麻葉及其製劑 製劑 ○印度大麻 製劑 ○全丁幾
- 莨菪葉并根及其製劑 製劑 ○橫唐 ○行唐 ○オミキ草 ○ハンリド
- コロ製劑 ○莨菪 越幾私 ○全丁幾
- 麥奴及其製劑 製劑 ○麥角 ○裸麥奴 ○了葛 製劑 ○麥奴越幾私類 ○全丁幾
- 蕃木鼈子及其製劑 製劑 ○馬錢(前)子 ○苦實杷豆 ○火失刻杷都 ○吐子 ○福實茄實 製劑 ○蕃木鼈越幾私類 ○全丁幾
- 乳酸鐵 製劑 ○酸化鐵 ○乳酸亞鐵
- 百布失涅
- 吐根 製劑 ○乙百格 製劑 ○亞那 ○乙囉略

- 吐酒石 製劑 ○達爾荅律越點的 ○他他嘔散 ○酒酸銻加里 ○他他嘔散 ○銻礆葡嘔散
- 礮砂精 製劑 ○液 ○流動安母尼亞 ○水 ○苛性安母尼亞 ○腐蝕安母尼亞 ○礮砂加里精 ○礮砂加里精
- 灰精 ○阿摩呢 亞水 ○輕淡水

○實荳答利斯葉及其製劑 製劑 ○毛地黃 製劑 ○實荳答利私越幾私 ○全丁幾類 ○全醋 ○全軟膏

○加刺拔兒豆及其製劑 製劑 ○加喇巴豆 ○神豆 製劑 ○加刺拔兒豆越幾私 ○全丁幾

○肝油 製劑 ○魚肝油 ○レール油 ○調哥栗私亞設爾利油

○沃顛 製劑 ○沃素 ○沃度(沃土) ○沃實謨(沃陳) ○礮質 ○埃阿礮

○沃土加里 製劑 ○沃土化剝篤叟母 ○沃土化加里烏母 ○徹度里剝篤亞斯 ○鋏礮

○沃土鐵舍利別 製劑 ○鐵礮糖煉

○藥品取扱規則。注意藥表

- 第一沃土汞 〔異名〕○黃色沃汞 ○綠沃汞 ○ヨイドク # ツキ ○青汞 砒
- 第一格魯兒汞 〔異名〕○甘汞 ○亞鹽化水銀 ○カルメル ○ドリヒス ○汞綠鹽 水銀 ○ソツヒルマート
- 第二格魯兒汞 〔異名〕昇汞 ○猛汞 ○鹽化
- 炭酸諸謨尼亞 〔異名〕○過半(一半)炭酸安母尼亞 ○礪砂華 ○礪砂揮發花 ○精製(純精)鹿角鹽 ○炭養阿摩隱 ○揮發羅尼鹽
- 老利爾結兒私水 〔異名〕并苦扁桃水 〔異名〕杏仁露
- 蔓陀羅華葉及其製劑 〔異名〕○山茄子葉 ○醉仙桃葉 ○朝鮮朝顏 ○キナガヒナス ○佛(風)茄兒 〔製劑〕 ○蔓陀羅葉越幾 私 ○全丁幾
- 葯刺巴脂并球根及其製劑 〔異名〕○渣笠脂 〔製劑〕 ○葯刺巴越幾私 ○全丁幾 ○全石鹼
- 芫菁 〔異名〕○斑猫 ○マンダラムシ ○カンタリス ○龍耗 ○班耗 ○班蝥蟲 ○青娘子

- 格魯々坊兒謨 〔異名〕○迷朦水 ○第三格魯兒メチール水素 ○呀囉坊密
- 格魯羅兒比度羅篤 〔異名〕○含(抱)水コロラール ○綠養冰
- 格魯失屈謨實及其製劑 〔製劑〕○格爾失鳩母酒 ○全丁幾 ○全醋(慈姑醋) ○全醋密
- 格魯董篤實及其製劑 〔異名〕○呀枝噤 〔製劑〕 ○製格魯董篤
- 亞篤魯比涅鹽類 〔異名〕○ベラドンナ ○了力邊 〔製劑〕 ○硫酸鹽酸 アトロヒチ
- 阿片製劑 〔製劑〕○阿片越幾私類 ○全丁幾 ○舍電華謨阿片液(阿片加泊夫藍耐又セイデンナムラウダニウム) ○阿片加安息香耐(阿片龍腦丁幾又鎮靜越里幾失兒) ○阿片水 ○全酒 ○全舍利別 ○全膏類 ○全醋(阿芙蓉酸) ○全密劑 ○挖歇兒散(阿片吐根散) ○的里亞加 ○齒痛丸
- 珊篤尼涅 〔異名〕○攝綿鹽 ○珊篤尼酸 ○山道連

○醋酸諸謨尼亞水異名○動醋酸安母尼亞精(民精)○硫酸

○薩爾撒根異名○沙口把列

○撒里失兒酸及鹽類異名○水楊酸○真性酸化安息酸

○機那皮異名○黃褐赤色ノ三種アリ

○規尼涅鹽類異名○機那鹽○純規尼涅異名○硫鹽規尼涅異名○金雞納霜

○規尼涅○鞣酸規尼涅○緬草酸規尼涅○拘櫟酸鉄規尼涅○規諾乙

○綿馬根及其製劑異名○綿馬油

○硝酸銀異名○刺必斯○地獄石○銀丹○銀淡養

○失鳩答草及其製劑異名○格紐謨劑○謨落製劑○失鳩答越幾私○

○結晶硝酸銀及溶化硝酸銀ノ二種アリ

膏軟

○漆酸攝留母異名○鐵

○臭素加里異名○剝篤亞斯○蒲化加里○鈹溴

○英的兒異名○亞的兒○硫酸依的爾○酸化エチ

○鹽基性硝酸蒼鉛異名○蒼鉛白○鈹養淡養

○菲沃私葉異名○闊羊花

○蓖麻子油異名○リチ子油○カ

○莫爾比涅鹽類異名○麼啡鹽類○硫鹽酸莫爾比涅○醋酸モ

○水素還元鐵異名○キウ

○第二類毒藥表

○磷

○カンタリヂー子 〔異名〕○芫菁素

○クラール 〔異名〕○失毒

○亞砒酸其製劑及砒抱合物 〔異名〕○白砒石○礬石○ア。ル。セ。ニ。ツ

砒酸加里水(福烏列爾氏砒石水)○全曹達水(ペールン水)○沃頓永
加砒石水(ドノウアン水)○沃砒頓石抱合物○雞冠雄黃雌黃類

○揮發苦扁桃油 〔異名〕○杏仁油○ベン

○有毒性アルカロイド并其鹽類 ○尼格質涅(煙草鹽又菸霜)○寶

莖答利私ノ主効分○納爾爾世乙涅(擊葛底)○阿片中ニ含有スル一性分○
莖刺篤里涅●白藜蘆ノ主効分○武爾失涅●番木鱉子ニ含有スル一性

分○格尼涅(謙落霜)●失鳩答ノ主効分○格埕涅●阿片中ニ含有ス
ル一性分○亞篤魯非涅●莨菪ノ主効分○亞格尼質涅(烏頭素)●烏
頭及附子ノ主効分○依蔑質涅●吐根ノ主効分○非沃私亞蜜涅●
非沃私ノ主効分○莫爾非涅●阿片ノ主効分○斯篤里規尼涅(主効
年)●番木鱉子ノ主効分○

○猛劇汞劑 ○白降汞(安母尼亞)○第一沃汞(前ニ出ツ)○第二沃汞(赤
化汞又酸化水銀又三仙丹又紅汞養又ペレンシヒタ)○硝酸亞酸化汞
(汞硝強丹)○青酸汞(臙化汞又臙水素酸汞)

○生々乳

○青酸及其製劑 〔異名〕○臙水素酸○普魯士酸○輕炭淡酸〔製劑〕○青酸
加里○黃色(赤色)青酸加里○青酸銀○稀青酸○洋酸

○第三類劇藥表

○印度大麻葉及其製劑 〔製劑前
ニ出ツ

○莨菪葉并根及其製劑 〔異名〕製劑 (前=出ツ)

○番木鱉及其製劑 〔異名〕製劑 (前=出ツ)

○巴豆及巴豆油 〔異名〕○巴菽○剛子○老陽子○アシモノマメ

○麥奴及其製劑 〔異名〕製劑 (前=出ツ)

○剝度非林 〔異名〕○布道非連●剝度非雷母ノ主効分

○ヘルレボル根及其製劑 〔異名〕○綠蒜●藜蘆○墨列僕利○山葱○葱菴○葱葵○豐蘆○チモトノ根 〔製劑〕

○綠蒜
蘆丁纒

○吐根及其製劑 〔異名〕前=出ツ 〔製劑〕○全舍利別○全錠○吐根丁纒○全酒○全舍利別○全錠○阿片吐根散

○吐酒石其他安質莫尼製劑 〔異名〕前=出ツ 〔製劑〕○酸化安質母尼○安質母尼散○硫化安質母尼

○金硫黃○複方安質尼丸
○安質母尼酒○全膏類

○毒蒿苳及其製劑 〔異名〕○的里答幾私○ドクササ製劑○毒蒿苳ハルス○全越幾私

○藤黃 〔異名〕海藤

○實芟答里斯葉及其製劑 〔異名〕製劑 (前=出ツ)

○硫酸 〔異名〕○綠礬油○火礬水○磺強水○磺養

○加刺拔兒豆及其製劑 〔異名〕製劑 (前=出ツ)

○苛性加里 〔異名〕○腐蝕加里○含水加里○苛性剝篤亞斯○腐蝕石○水酸化加里烏母○礫砂

○苛性曹達 〔異名〕○腐蝕曹達○含水耶篤倫○水酸那篤留母○礫養

○芥子油及芥子精

○甘汞カウヨウ乃第一格魯兒汞（前ニ出ツ）及輕粉ケイフン○和甘汞○水銀粉○汞粉（異名）○汞粉汞

灰散（異名）○銀灰散○汞藍丸（異名）○青汞丸○水銀丸（異名）○汞藍丸

○沃顛謨及其製劑（異名）沃陣水○沃度加里軟膏○稀沃陣水素酸○沃

度安母尼亞○全曹曹母曹達○沃陣澱粉

○沃度加里（異名）（前ニ出ツ）

○沃顛謨鏡（異名）沃度鐵（異名）○沃化鐵

○沃度防兒謨（異名）水素（異名）○第三沃度化メチール

○雙鸞菊球根及其製劑（異名）雙鸞菊越幾私（異名）○全丁幾

○老利爾結兒私水并苦扁桃水（異名）（前ニ出ツ）

○ウエラトリ根（異名）○白藜蘆根（異名）○白匪鐸稔

○過酸滿俺酸加里及曹達（異名）里烏母那篤倫（異名）○過錳酸加

○葯刺巴脂并球根及其製劑（異名）（前ニ出ツ）

○蔓陀羅華葉及其製劑（異名）（前ニ出ツ）

○芫菁及其製劑（異名）全丁幾（異名）○全哥羅地翁（異名）○發胞紙

○結列阿曹篤（異名）

○蒲魯密烏謨（異名）○臭素○貌素

○格魯謨酸（異名）○灰金酸○格魯繆母酸（異名）○第三酸化格魯繆

○格魯失屈謨實并根（異名）（前ニ出ツ）

○格魯董篤實及其製劑 〔異名〕製劑 (前ニ出ツ)

○嗎囉防噉 〔異名〕前ニ出ツ 迷朦水

○格魯頭格魯刺兒比度刺篤

○格魯刺爾比度刺度 〔異名〕前ニ出ツ

○格魯々打尹 ●原ト英國ノ賣藥ニシテ近來内國ニ於テ擬製スル者甚ク多シ

○格魯密謨酸加里及重格魯密謨酸加里 〔異名〕黃(赤)色格魯謨酸加里烏母(剝篤亞私)

○阿片及其製劑 〔異名〕阿芙蓉○鴉片 〔製劑〕前ニ出ツ

○亞鉛華其他亞鉛製劑 〔異名〕酸化亞鉛〔製劑〕○亞鉛○硫酸亞鉛(皓礬)○乳酸亞鉛○炭酸亞鉛(純精燼)

眼石○格魯兒亞鉛(鹽化錳珠)○沃度亞鉛○醋酸亞鉛(醋強錳珠)○草酸亞鉛(甘松錳珠)○青酸亞鉛○單寧酸亞鉛○亞鉛花膏

○薩昆那葉及其製劑 〔異名〕西填製劑○薩昆那越幾私○全軟膏

○醋酸鉛其他鉛製劑 〔異名〕鉛糖○醋強鉛○鉛白霜〔製劑〕○酸化鉛(金密陀)○炭酸鉛(白鉛)○沃頓鉛○硝酸鉛

○鞣酸鉛醋酸鉛水(鉛酸)○鉛水○護烏刺爾度水○鞣酸鉛泥(破腮糊劑)○鉛軟膏○官粉軟膏○歇貌刺氏若幾龍軟膏○鞣酸鉛軟膏○單方密陀硬膏(單方若幾龍硬膏又護謨硬膏)○官粉軟膏○軟性密陀硬膏○赤色鉛丹硬膏○赭色硬膏(鉛丹硬膏)○龍腦硬膏

○珊篤尼涅 〔異名〕前ニ出ツ

○次醋酸銅其他銅製劑 〔異名〕綠青(結晶綠銅)〔製劑〕○酸化銅○丹礬(純硫酸銅)○醋酸銅○安母尼亞銅

(礪銅)○黑酸化銅○硝酸銅○礬土銅(神効石又明礬銅)○炭酸銅○沃度化銅○格魯兒化銅

○硝酸 〔異名〕硝石精○硝強水(硝強酸)○火硝油○淡養酸

○硝酸銀 〔異名〕前
=出ツ

○失鳩答葉及其製劑 〔異名〕製劑
前=出ツ

○臭素加里 〔異名〕前
=出ツ

○鹽酸 〔異名〕海鹽精
○鹽化水素酸
○鹽強水
○皇強水

○鹽化金那篤留母化 〔異名〕鹽化金曹叟母
○鹽化金加曹達
○鹽酸金鹽

○鹽酸重土其他重土製劑 〔異名〕鹽化核留母
○鹽化重土
○鹽酸

○炭酸重土
○硫酸重土
○重土水

○鹽基性硝酸蒼鉛其他蒼鉛製劑 〔異名〕前=出ツ
〔製劑〕
○炭酸蒼鉛
○次炭酸蒼鉛
○齒草酸蒼鉛
○鞣酸蒼鉛
○枸橼酸蒼鉛
○安母尼亞
○マジストリ
○蒼鉛
○第一

○三酸化蒼鉛
○蒼鉛錠

○エウボルビウム及其製劑 〔異名〕龍骨木
○キリンカク
〔製劑〕
○全膏

○石炭酸 〔異名〕水酸化ベノヅ
○フエノール
○加播匿酸

○瑞香皮

○須侃母尼脂

○編者云表中藥品普通名稱ノ外尙ホ異名尠カラズ且ツ其製劑及
ヒ鹽類抱合物等ノ品名記入ナキヲ以テ凡ソ藥品取扱一從事スル
モノ詳カニ辨知セザルニ於テハ或ハ不慮ノ犯則ニ陷イルノ憂ヒ
ナシト云フベカラズ故ニ余ノ聊カ胸裡ニ記憶スル所ノモノヲ加
記シテ以テ参考ノ一助ニ供セント欲ス蓋シ遺漏或ハ誤謬ナキヲ
保証セズ宜シク注意アラソフナ

○藥品取扱規則(附記)○毒藥劇藥服量及極量表

○又[異名][製劑][種類][化合物]等注解ノ如ク割書シタルモノハ乃チ篇者ノ加記スル所ナリ但特ニ○点ヲ附スルモノニ限り公文ノ指定スル所ニ係ル

附記

○左表ハ内務省衛生局雜誌ニ就キ抄出スル處ニシテ搜索ノ便ヲ圖リ前記毒藥劇藥表ノ藥名順序ニ依リ變更記載セリ

○毒藥劇藥服量及極量表

○毒藥

燐	一日ノ極量一氏	亞砒酸	(粉劑溶液トシテ用フ六十分氏ノ一ヨリ十二分氏ノ一ニ至ル)
カンタリヤイ子	其性過劇ニシテ且高價ナルヲ以テ藥用ニ供セス	亞砒酸カリ水	(二滴ヨリ六滴ニ至ル一日ノ極量四十滴)
シラ	六十分氏ノ一ヨリ三十分氏ノ一ニ至ル	有毒性アルカロイド並其鹽類	(六十分氏ノ一ヨリ廿分氏ノ一ニ至ル)

丸舎利別トシ或ハ混劑トシ或ハアルコールニ溶シ用フ六十分氏ノ一ヨリ三十分氏ノ一ニ至ル又軟膏トナシ一氏ヲ三考ニ混ス

ナルセイシ	六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル	アトロピチ	百廿分氏ノ一ヨリ六十分氏ノ一ニ至ル
ヴェラトリチ	四十分氏ノ一ヨリ十二分氏ノ一ニ至ル一日ノ極量半氏	硫酸アトロピチ	全上
ブルシチ	十分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル	アユニチ	六十分氏ノ一ヨリ十五分氏ノ一ニ至ル一日ノ極量半氏
コニ	百廿分氏ノ一ヨリ六十分氏ノ一ニ至ル一日ノ極量半氏	エメチチ	十二分氏ノ一ヨリ六分氏ノ一ニ至ル
コデイ	四分氏ノ一ヨリ六分氏ノ一ニ至ル	ヒヨスシアミチ	外用ノミ
		モルヒチ	十分氏ノ一ヨリ半氏ニ至ル一日ノ極量二氏
		醋酸モルヒチ	同前
		鹽酸モルヒチ	同前
		硫酸モルヒチ	同前
		ストリキニーチ	廿分氏ノ一ヨリ六分氏ノ一ニ至ル
		硝ストリキニーチ	廿分氏ノ一ヨリ六分氏ノ一ニ至ル一日極量半氏

(附)○毒藥劇藥服量及極量表

猛劇汞劑	白降汞	第一沃汞	第二沃汞	昇汞	赤降汞	硝酸亞酸化汞	青酸汞	生々乳	青酸	青酸亞鉛	印度大麻	莨菪葉	莨菪根	全エキス
内服藥トセテ外用ニハ軟膏或ハ香水ニ混シ用フ	六分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量六氏	十二分氏ノ一ヨリ半氏ニ至ル一日ノ極量一氏半	廿分氏ノ一ヨリ半氏ニ至ル一日ノ極量一氏半	丸或ハ散トシ八分氏ノ一ヨリ二分氏ノ一ヲ用ヒ又外用トシ用フ	十分氏ノ一ヨリ四分氏ノ一ニ至ル一日ノ極量一氏	十二分氏ノ一ヨリ四分氏ノ一ニ至ル	稀青酸トシテ用フ一滴ヨリ三滴ニ至ル但稀青酸ハ百分中二ノ純青酸ヲ含メリ	稀青酸トシテ用フ一滴ヨリ三滴ニ至ル	半氏ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量五氏	二滴ヨリ十滴ニ至ル	六分氏ノ五ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十氏	六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル	六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量六氏	六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量二氏

○劇藥

此十誤字ナラノ原ヲ記シ疑ヒヲ存ス

莨菪チンキ	番木鱈子	水製番木鱈エキ	酒製番木鱈エキ	番木鱈チンキ	揮發番木鱈エキ	巴豆	全油	麥奴	麥奴素(エルゴチン)	ポトヒリオン	吐酒	吐石	アンチモニー酒	鹽アンチモニー水	毒葛昔エキス
三滴ヨリ二十滴ニ至ル一日ノ極量八十滴	六分氏ノ五ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量五氏	半氏ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十氏	六分氏ノ一ヨリ六分氏ニ至ル一日ノ極量十氏	三滴ヨリ十滴ニ至ル一日ノ極量三十滴	五滴ヨリ十五滴ニ至ル	巴豆油ヲ製スルニ用フ十分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量五氏	五氏ヨリ十五氏ニ至ル	一氏半ヨリ八氏ニ至ル	十二分氏ノ一ヨリ半氏ニ至下劑ニハ一氏ニ至	半氏ヨリ十氏ニ至ル一日ノ極量二氏	半氏ヨリ五氏ニ至ル一日ノ極量一氏	八分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル吐劑ニハ一刃ヲ用	十滴ヨリ三十滴ニ至ル	十滴ヨリ三十滴ニ至ル吐劑ニハ一茶ヒツ	半氏ヨリ十氏ニ至ル一日ノ極量二氏

(附) ○毒藥劇藥服量及極量表

チキタリス葉 {半氏ヨリ五氏ニ至ル一日ノ極量十五氏}

全 ユキス {半氏ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十二氏}

全 チンキ {五滴ヨリ四十滴ニ至ル一日ノ極量百二十滴}

揮發シキタリス {五滴ヨリ二十滴ニ至ル一日ノ極量六十滴}

チンキ {一日ノ極量六十滴}

チキタリス醋 {十滴ヨリ三十滴ニ至ル}

硫 酸 外用ノミ

カラバル豆 藥用ニ供セス

カラバル豆 エキス {十二分ノ氏一ヨリ三分ノ氏一ニ至ル一日ノ極量一氏}

苛性加里 {六分氏ノ一ヨリ二氏半ニ至ル}

全 ソーダ {溶液トシ外用トスルノミ}

芥子油 {十五分氏ノ一ヨリ四分氏ノ一ニ至ル}

全 精 {十滴ヨリ三十滴ヲ外用トス}

甘 汞 {六分氏ノ一ヨリ三氏ニ至ル}

輕 紛 末 詳

ヨシウム {十分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル}

ヨヂユムチンキ {一滴ヨリ六滴ニ至ル一日ノ極量二十四滴其他外用}

無色ヨヂユムチンキ 外用ノミ

ヨード 鉛 {一氏半ヨリ八氏ニ至ル}

ヨード 硫黄 {半氏ヨリ一氏半ニ至ル}

ヨードカリウム {一氏半ヨリ八氏ニ至ル}

ヨシウム 鐵 {六分氏ノ五ヨリ四氏半ニ至ル}

ヨードホルミウム {三分氏ノ一ヨリ三氏ニ至ル}

双鸞菊球根 {半氏ヨリ二氏半ニ至ル一日ノ極量十氏}

全 エキス {十分氏ノ一ヨリ十二分氏ノ五ニ至ル一日ノ極量一氏半}

ラウリール水 {五滴ヨリ三十滴ニ至ル}

苦扁桃水 {十滴ヨリ四十滴ニ至ル一日ノ極量百四十滴}

ウエラトリ根 {半氏ヨリ五氏ニ至ル一日ノ極量一刃}

過マンガン酸加里 {六分氏ノ五ヨリ八氏ニ至ル}

全 ソーダ {六分氏ノ五ヨリ八氏ニ至ル}

ヤーラツパ球根 {六分氏ノ五ヨリ五氏ニ至ル下劑ニハ半号ニ至ル}

ヤーラツパ脂 {半氏ヨリ三氏ニ至ル下劑ニハ三氏ヨリ十氏ニ至ル}

ヤーラツパチンキ {二十滴ヨリ四十滴ニ至ル}

蔓陀羅葉 {半氏ヨリ四氏ニ至ル一日ノ極量十五氏}

蔓陀羅華子 {三氏ヨリ三氏ニ至ル}

蔓陀羅華エキス {六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量六氏}

芫 菁 {四分氏ノ一ヨリ六分氏ノ五ニ至ル一日ノ極量二氏半}

芫菁コロゲウム 外用

ケレンチソート {六分氏ノ一ヨリ六分氏ノ五ニ至ル一日ノ極量三氏}

プロミウム {廿分氏ノ一ヨリ半氏ニ至ル}

(附) ○毒藥劇藥服量及極量表

(附)○毒藥劇藥服量及極量表

コローム酸 (五倍ヨリ廿五倍ノ水ニ和シテ外用ス)
 コロシウム實 半氏ヨリ一氏ニ至ル
 全 ナンキ (十滴ヨリ四十滴ニ至ル一日ノ極量百二十滴)
 全 酒 (五滴ヨリ四十滴ニ至ル一日ノ極量百二十滴)
 全 醋 (四十滴ヨリ二汚ニ至ル)
 コロシント實 (四分氏ノ一日ヨリ四氏ニ至ル)
 全 エキス (十分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量六氏)
 全 ナンキ (五滴ヨリ二十滴ニ至ル一日ノ極量六十滴)
 コロトシコロラルヒドレート (四氏半ヨリ一刃ニ至ル)
 コロラルヒドレート (十五氏ヨリ四刃ニ至ル)
 コロダイン (十滴ヨリ三十滴ニ至ル)

コローム酸加里 (六分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル)
 重コローム酸加里 (十分氏ノ一日ヨリ二氏半ニ至ル)
 阿片 (六分氏ノ一日ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量八氏)
 全 エキス (六分氏ノ一日ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量六氏)
 單阿片ナンキ (二滴ヨリ三十滴ニ至ル一日ノ極量ハ百滴其他外用)
 ラウダニウム (二滴ヨリ三十滴ニ至ル一日ノ極量ハ百滴其他外用)
 安息香阿片ナンキ (二十滴ヨリ六十滴ニ至ル)
 ドウブルス散 (一氏半ヨリ十五氏ニ至ル)

硫酸亞鉛 (十分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量五氏吐劑ハ一刃ニ至ル數回ニ分服セシム其他外用)
 鹽化亞鉛 (二十分氏ノ一日ヨリ四分氏ノ一日ニ至ル一日ノ極量一氏半其他外用)
 醋酸亞鉛 (半氏ヨリ四氏ニ至ル吐劑ハ一刃ニ至ル)
 乳酸亞鉛 (三分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量五氏)
 續草酸亞鉛 (三分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量五氏)
 硫石炭酸亞鉛 外用ノミ
 サピナ葉 五氏ヨリ十氏ニ至ル
 全 油 半滴ヨリ二滴ニ至ル
 全 エキス (半氏ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十五氏)

醋酸鉛 (八分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量六氏外用ノミ)
 鉛醋水 (外用ノミ)
 コーラルド水 外用ノミ
 炭酸鉛 外用ノミ
 サントニイチ (半氏ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量八氏)
 次醋酸銅 内服ニ供セス外用ノミ
 醋酸銅 (十分氏ノ一日ヨリ一氏ニ至ル)
 硫酸銅 收斂劑及強壯劑トシテハ四分氏ノ一日ヨリ二氏ヲ用ヒ吐劑トシテハ五氏乃至十氏ヲ丸散溶劑トナシ用フ外用ニハ一氏ヨリ十氏ヲ一汚ノ水ニ溶シ或ハ直チニ之ヲ用フ

(附)○毒藥劇藥服量及極量表

硝 酸 銅	十二分氏ノ一ヨリ八分氏ノ一ニ至ル	臭 素 加 里	一氏半ヨリ二十六氏ニ至ル
酸 化 銅	六分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル	鹽 化 金 ナトリウム	廿分氏ノ一ヨリ一氏ニ至ル一日ノ極量三氏
硫 アンモニア銅	六分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル	鹽 酸 重 土	四分氏ノ一ヨリ一氏半ニ至ル一日ノ極量廿四氏
硝 酸	五滴ヨリ二十滴ニ至ル 外用ノミ	硝 酸 重 土	藥用ニ供スルヲ至テ稀ナリ
王 水	外用ノミ	腐 蝕 重 土	藥用ニ供スルヲ至テ稀ナリ
硝 酸 銀	十二分氏ノ一ヨリ半氏ニ至ル一日ノ極量三氏	硝 酸 ビスミット	三氏ヨリ十五氏ニ至ル
含 硝 々 酸 銀	外用トス	エウホルピウム	外用ノミ
矢 鳩 苔	六分氏ノ五ヨリ五分ニ至ル一日ノ極量三十氏	ヒ ヨ ス 葉	半氏ヨリ五分ニ至ル一日ノ極量十五氏
全 エ キ ス	半氏ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十氏	全 エ キ ス 寶	六分氏ノ五ヨリ三氏ニ至ル
全 チ ャ ン キ	五滴ヨリ二十滴ニ至ル一日ノ極量六十滴	全 エ キ ス	六分氏ノ一ヨリ三氏ニ至ル一日ノ極量十五氏
鹽 酸	五滴ヨリ二十滴ニ至ル		

石 炭 酸 (六分氏ノ一ヨリ六分氏ノ五ニ至ル)

瑞 香 皮 エキス 外用ノミ

ス カ ン モ ー 脂 (六分氏ノ五ヨリ二氏半ニ至ル下劑ニハ十氏ニ至ル)

補 欠 其摘録スル處新量ト舊量ニ様アルハ乃チ原書ノマ、ナリ

藤 黃 (一回ノ極量〇、三一日ノ極量一、〇扶氏藥物學)

但近來醫藥ニ供スルハ抄シ給具用トナス

汞 灰 散 (水銀石粉散) 眼量二十氏乃至三十氏 但八氏中水銀三氏ヲ含ム(理氏藥物學)

藍 丸 (青汞丸) 服量催下ニハ五分乃至十五氏變質藥ニハ一氏乃至二氏ヲ反復ス 但二氏ノ丸水銀一氏ヲ含ム(全上)

コ ロ 、 フ オ ル ム 眼引法ニハ大約二十滴 其他外用(敏氏藥性論) 又内用ニハ三滴乃至二十滴(印東氏藥物要論)

亞 鉛 華 (服量〇、〇三乃至〇、二 其他外用(敏氏藥性論))

追 加 新撰獨乙局法ニヨリ新藥中最モ多ク用ヒラル、モノヲ摘録ス但新量ニ係ル

鹽 酸 アポモルヒチ (一回ノ服量〇、〇一一日ノ極量〇、〇五)

鹽 酸 ビロカルピチ (一回ノ服量〇、〇三一日ノ極量〇、〇六)

咖 啡 涅 (一回ノ服量〇、二一日ノ極量〇、六)

サ リ シ ー ル 酸 ヒ (一回ノ服量〇、〇〇一一日ノ極量〇、〇〇三)

鹽 酸 コカイン 未詳

ヒドロヒノオン 未詳